

# 北海道議会時報

第30卷第4号

特集 昭和53年第1回定例道議会



(表紙写真説明)

## エゾエンゴサク

早春の原野を色どる北海道に多いケシ科の多年草。花莖に房状にむらがりつき、長い穂のようになる小さい花は、空色、紫がかった青色、赤紫色などがあり、時には、白い花もみることができる。

山菜として人気があり、その根についている小指の先ぐらいの形をした球（塊莖）がアイヌイモと呼ばれ、アイヌの食糧だったことが知られている。エンゴサクは中国原産のもので、「延胡索」と書き、薬用植物として渡ってきて鎮痛剤や婦人病の薬に使われた。

## 第1回定例道議会

概 要	1
本 会 議	3
提 出 案 件	19
意 見 書	23
請 願・陳 情	27

## 委 員 会 の 動 き

議会運営委員会	32
常 任 委 員 会	37
特 別 委 員 会	42
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
予算特別委員会	

## 資 料

第1回定例道議会において議決を経た条例の 公布調	59
-----------------------------	----

## 3 月 の メ モ

# 議 会 日 誌

## ▶ 2 月

- 24日 議会運営、各常任、石炭対策特別、北方領土対策特別各委員会  
25日 (第1回定例会開会)  
議会運営委員会  
本会議 (会期決定<33日間>、道政執行方針及び提案説明、教育行政執行方針、意見案1件可決)

## ▶ 3 月

- 3日 議会運営委員会  
本会議 (代表質問<2人>)  
4日 議会運営委員会  
本会議 (代表質問<2人>)  
7日 議会運営委員会  
本会議 (特別委員補欠選任、一般質問<3人>)  
8日 議会運営委員会  
本会議 (一般質問<2人>)  
9日 議会運営委員会  
本会議 (一般質問<1人>)  
10日 議会運営委員会  
本会議 (日程延期)  
11日 議会運営委員会  
本会議 (一般質問<2人>)  
13日 議会運営、総務各委員会  
本会議 (追加提案、一般質問<3人>)

- 14日 議会運営、総務、公害対策特別各委員会  
本会議 (追加提案、一般質問<3人>、予算特別委員会設置)  
予算特別委員会 (正副委員長の互選、3分科会設置)  
予算第1、第2、第3各分科会 (正副分科委員長の互選)  
15日 議会運営、総務、文教林務各委員会  
本会議 (特別委員補欠選任、各委員長報告、修正案否決、補正予算等可決、意見案1件可決)  
予算特別委員会 (先議案件審査、意見調整)

- 17日 }  
18日 } 予算各分科会 (各部所管審査)  
22日 }  
25日 }  
27日 }  
28日 議会運営委員会  
本会議 (請願、陳情審査)  
予算特別委員会 (各分科委員長報告、総括質疑、意見調整)  
29日 議会運営、各常任、総合開発調査特別、公害対策特別、決算特別各委員会  
本会議 (各委員長報告、組替え動議否決、議案等可決、有珠山噴火災害対策特別委員長中間報告、意見案5件可決、請願審査)  
30日 各常任委員会

# 第1回定例道議会

## 大型新年度予算成立

### ▶環境影響評価条例案は継続審査◀

#### 概要

① 第2期堂垣内道政の最後の政策予算などを審議する第1回定例道議会は、2月25日招集され、まず会期を3月29日までの33日間と決定の後、景気浮揚を最重点とした総額1兆2,474億3,700万円（一般会計1兆1,460億500万円、特別会計1,014億3,100万円）の昭和53年度当初予算並びにこれに関連する議案61件が上程され、知事から道政執行方針及び提出案件に関する説明、教育長から教育行政執行方針及び北海道寿都高等学校の火災に関する報告があり、ついで、「昭和53年度の畜産物価格等に関する要望意見案」を可決して、議案調査のため2月27日から3月2日まで休会した。

② 休会あけの3月3日から代表質問、7日から一般質問に入ったが、7日には苫東厚真火発建設用地の使用貸借に係る資料提出をめぐり、9日には不規則発言をめぐりそれぞれ審議が中断され、11日からようやく審議が軌道に乗り一般質問を継続、13日には、総額68億1,300万円の昭和52年度補正予算並びにこれに関連する議案等16件、14日には、北海道環境影響評価条例案及び北炭に対する緊急融資を行なう2億円の補正予算案がそれぞれ追加提案され、14日午後、一般質問を終結して、52人からなる予算特別委員会を設置のうえ、議案の各委員会付託を行った。

翌15日には、公害対策特別委員の補欠選任の後、先議案件の補正予算案等について、予算特別委員長報告の後社会、公明、共産3党共同による予算修正案の趣旨説明、起立採決の結果これを否決、知事提案を原案のとおり可決し、各委員会付託案件について、各委員長報告のとおり原案可決又は承認議決、次に、「日ソ漁業協力交渉の促進に関する要望意見案」を可決して、各委員会における付託議案審査のため3月16日から27日まで休会した。

③ 代表質問、一般質問において論議された問題は、53年度予算編成の考え方と道財政の見通し、長期財政計画の樹立、地方財源対策の充実、道縁故債金利のあり方と他府県の実態など財政問題。発展計画、新北海道総合開発計画及び三全総の関連、石油備蓄基地の受入れと苫東開発の進め方、北電苫東石炭火発の用地無償貸与問題、道内の工業団地の実態など開発問題。公共事業執行の進め方と消化見通し、地元中小建設業者の受注機会拡大、中小企業倒産防止共済制度の普及、拘束性預金の解消、建設資材の安定供給、造船業対策など不況、中小企業問題。身障者及び中高年齢者の雇用確保対策、労働部の機構整備、漁業離職者対策、積寒給付制度の活用状況など雇用問題。地域別稲作経営のあり方、畑作物の価格流通安定対策、ジャガイモシスト線虫対策、加工原料乳限度数量超過対策、水田転作に係る土地基盤整備の進め方と転作農家の営農指導のあり方、畑作輪作体系の確立、新規就農青年対策、転作に係るペナルティー制度の撤回要請、米の消費拡大策など農業問題。200海里水域内の資源漁場開発、漁業権再編の進め方、増養殖技術の確立、本道近海における韓国漁船対策など水産業問題。造林事業及び間伐事業の推進方策、カラマツ林業総合対策、外材輸入問題、営林局及び署統廃合への対応など林業問題。老人医療無料化拡大制度の実施状況と対象範囲拡大の考え方、身障者福祉村運営のあり方、乳幼児医療費無料拡大の実施時期、国民年金制度のあり方、精薄施設の今後の方向、母子医療無料化拡大の実施時期、市町村立病院への助成強化、保育所整備の見通し、成人病対策など福祉医療問題。高校木造校舎改築の進め方、高校総合選抜制実施の見通し、養護教育の義務化に伴う就学指導体制の整備、青少年の非行対策、主任制度の実施状況と主任手当に係る人事委勧告のあり方、米飯給食の進め方など教育問題。国鉄貨物取扱集約化計画への対処、千歳空港国際化の日途など交通問題。公営住宅建設の見通し、職住近接志向への対応、既設公営住宅の建て替え推進、持家建設の促進策など住宅問題。石炭備蓄の提言方、第7次石炭政策の確立、北炭経営危機への対処、原子力発電の安全性と経済性などエネルギー・石炭問題

環境アセスメント条例の制定と国の動向、過疎地域振興対策と広域観光ルートの整備、理美容師養成学校の通信教育への指導、十勝太ロランC基地に係る電波障害対策、道庁舎管理の適正化、地震防災体制の確立、覚せい剤事犯の取り締り対策などの諸問題が主に取りあげられた。

- ④ 予算特別委員会は、3月14日、正副委員長の互選を行い、3分科会を設置のうえ、翌15日には、昭和52年度補正予算案に対する先議を行い、同日質疑を終結し、直ちに意見調整に入ったが、意見の一致を見るに至らず、社会、公明、共産3党共同の修正案が提出され、採決の結果、これを否決、知事提案を原案のとおり可決することに決定した。ついで、3月17日から、3分科会において昭和53年度予算案に対する各部所管審議に入り、各分科会とも順調に審議が進み、27日までの7日間に、第1分科会20人、第2分科会21人、第3分科会20人の質問が行われ、28日には、各分科委員長報告の後、知事に対する総括質疑を行い、翌29日、意見調整に入ったが、意見の一致を見るに至らず、社会党から、法人事業税の超過課税、雇用基金の創設、原発対策費の削除、老人医療無料化制度の対象拡大などを骨子とする予算組み替え及び撤回を求める動議が提出され、趣旨説明の後、起立採決の結果これを否決、知事提案をいずれも原案可決と決定した。
- ⑤ 再開日の3月28日は、請願8件について、委員会決定のとおり採択と決定。翌29日の最終日には、あらかじめ会議時間を延長、夜に至り本会議を再開、まず、昭和53年度当初予算案等に対する予算特別委員長報告及び各委員会付託議案に対する各委員長報告の後、社会党提出に係る一般会計予算案など3議案の撤回と組み替え、関連4議案の撤回を求める動議について、趣旨説明、討論、採決の結果これを否決、知事提案をいずれも原案のとおり可決。次に、有珠山噴火災害対策特別委員長の間接報告の後、「乳幼児医療費公費負担制度の確立に関する要望意見案」ほか4意見案を可決、引き続き、請願2件について、委員会決定のとおり採択と決定の後、議案第76号及び前会より継続審査中の昭和51年度決算について閉会中継続審査と決定のうえ、閉会中の請願・陳情審査及び事務調査の件を決定して、議案第76号及び前会より継続審査中の報告第1号を除きすべて議了。議長から閉会のあいさつがあつて、開会以来33日目の3月29日夜閉会した。
- ⑥ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	議 決 の 状 況					計
		原案可決	否 決	承認議決	継続審査	報告のみ	
知 事	79	76	—	1	2	1	80
議 員	8	7	1	—	—	—	8
計	87	83	1	1	2	1	88

注 提出件数と議決件数が符合しないのは、閉会中継続審査案件が1件あったためである。

# 本 会 議

○2月25日（土） 午前10時56分開議、佐々木豊議長、昭和53年第1回定例会の開会を宣し、引き続き、**日程第1会議録署名議員の指定**を行い、諸般の報告（知事から提出のあった議案第1号ないし第59号並びに報告第1号及び第2号、議員から提出のあった意見案第1号、請願陳情審査の結果報告、議案第20号について人事委員会に対し意見要求、説明員の委任通知、監査並びに例月出納検査の報告、請願第210号ないし第212号の関係委員会付託、請願第95号、第133号、第153号及び第159号の取下げ、本日の会議録署名議員）の後、**日程第2会期決定の件**を議題とし、今期定例会の会期を、本日から3月29日までの33日間と決定。

次に、**日程第3議案第1号ないし第59号及び報告第1号**を議題とし、知事から道政執行方針及び提出議案に関する説明並びに教育長から教育行政執行方針及び北海道寿都高等学校の火災に関する報告の後、

ついで、**日程第4意見案第1号**を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。

次に、議案調査のための休会についてはかり、異議なく、2月27日から3月2日まで休会、3月3日再開することに決定して、午後零時10分散会。

## 道 政 執 行 方 針

昭和53年第1回北海道議会定例会の開会にあたり、道政執行に関する私の所信と基本的な方針について申しあげ、道議会ならびに道民のみなさんのご理解とご協力をいただきたいと存じます。

私は、知事に就任以来、8年目を迎えました。

未来に向って、たくましく歩み続ける北海道の歴史のなかで、道民の負託を受け、道政をお預かりする知事として、私は、その責任と使命の重大さを肝に銘じ、道政の推進につとめてまいりました。

とくに、再選されてからの3年間は、激動する内外の諸情勢のなかで、長期にわたる不況、200海里や米の生産調整の問題、さらには有珠山噴火など、幾多の困難な問題が生じ、農・漁家や中小企業の方がたをはじめ道民の生活に大きな影響を与えたのであります。私は、これらの対策に懸命の努力を傾けてまいりましたが、なお解決すべき多くの課題を抱えております。

私は、いま改めて、職責の重さを深くかみしめ、当面する課題に全力をあげて取り組むことはもとより、未来を切り開く道政の推進につとめ、道民の期待と信頼にこたえる決意であります。

さて、わが国の経済は、石油危機以来、激しく揺れ動く

国際情勢のなかで、貿易収支の黒字幅の是正を強く迫られ、また、国内的には需要が停滞し、今なお低迷を続けております。とくに、昨年秋以降の円高問題は、輸出関連産業や構造不況業種などに大きな打撃を与え、企業経営や雇用情勢は、厳しい状況におかれています。

この難局を切り抜け、1日も早く国民生活に明るさを取り戻すことは、極めて緊要な課題であります。今日、わが国の経済は、安定成長への新しい秩序を求めて模索の過程にあり、その回復をより難しいものにしております。

これからの時代は、量より質の豊かさが、物質的な繁栄より精神的な充実がいっそう重視される時代であり、発想の転換が強く求められております。

私たちは、これまでの惰性を排し、新しい時代に即応して何をなすべきかを真剣に考え、行動していかなければならないと思います。

また、今日のような混迷のなかであって、将来に対する自信と希望を失いがちな傾向がみられます。

私は、このようなときこそ、道民のみなさんとともに、本道の将来を描いてみたいと考え、北海道110年を契機として、若い人たちを中心に、郷土北海道の21世紀のビジョンづくりをすすめております。

また、昨年、私は、広く道民のみなさんの意見をきいて昭和62年度を目標とする「北海道発展計画」を作成しましたが、国においても、道の意見をもとに「新北海道総合開発計画」を策定し、本道の発展を国の立場から強力に推進することにしております。

私は、道民のみなさんとともに、将来に対する大きな希望をもって、今日の難局を一つひとつ打開し、道政の着実な前進につとめてまいる考えであります。

本年は、「北海道発展計画」が発足する年であり、また、私の2期目の任期も余すところ、あと1年であります。

これらの情勢をふまえ、53年度は、引き続き厳しい財政事情にありますが、私は、道民生活の安定向上につとめるとともに、道民のみなさんにお約束した政策についても、その実現を期することといたしました。

このため、当面する緊急課題である「景気対策」はもとより、「健康と福祉の増進」、「教育・文化の振興」、「産業の振興と体質強化」、「連帯感に満ちた地域づくり」を重点とし、これらを中心に各般の施策をすすめます。

以下、私が、とくに重視している事項について順次申しあげます。

まず、景気対策についてであります。

本道の経済は、全国的な景気の低迷のなかであって、依然として停滞を続けており、私は、これまでも、景気回復を道政の重点課題として、積極的に取り組んでまいりました。

政府は、本年、いわゆる「15カ月予算」を編成し、公共投資を中心とした内需拡大により、景気の回復と雇用の安

定をはかることにしております。

この結果、本道の公共事業費は、大幅な増加をみるようになったのでありますが、公共事業の拡大は、財政支出の比重が高い本道にとって、景気の浮揚に大きな役割を果たすことが期待されるとともに、社会資本を充実し、道民生活の向上をもたらすものであります。

このような観点から、私は、公共事業の完全消化をはかるとともに、道の各種施設の整備についても、積極的にすすめることといたしました。

また、事業の執行にあたっては、本庁および支庁に推進本部を設け、用地や資材の価格の動向に留意しながら、早期発注につとめるほか、雇用の確保や中小企業の受注機会の増大、さらには、遺産資材の活用などを通じ、各分野に広く効果が及ぶよう努力してまいります。

雇用情勢は、依然として厳しい環境のもとにおかれておりますが、雇用の安定をはかるためには何よりも産業活動を活発化することが必要であります。

このため、私は、景気対策の推進につとめるほか、失業の防止と離職者の再就職を促進するための各種制度の積極的な活用をはかるとともに、職業訓練をいっそう強化し、雇用の安定に最善の努力を傾けてまいります。なお、中小企業の従業員に対して生活資金の貸付けを行うなど、労働福祉の充実をはかります。

物価については、最近、比較的安定した基調で推移しておりますが、なお警戒が必要であります。私は、今後とも、物価の動向について細心の注意をばらうとともに、とくに、道民生活にかかわりの深い冬野菜や灯油、プロパンガスなどについては、引き続き、生産の拡大、流通の改善、価格の監視・指導の強化などをはかり、需給と価格の安定につとめてまいります。

次は、健康と福祉の増進についてであります。

近年、健康づくりに対する関心が高まり、日常生活にスポーツを取り入れるなど、自らの健康管理に取り組む人がとがふえる傾向にあることは喜ばしいことであり、私は、健康づくりをさらに道民の間に浸透させたいと考えます。

このため、昨年、「健康づくり」をテーマに開催した地域道民会議の結果などをふまえ、病気の予防や治療はもとより、健康教育や体力づくり、スポーツ振興などの施策を総合的に推進いたします。なかでも、スポーツは強じんな体力をつくるのに役立つばかりでなく、生活に明るさをもたらすものでもありますので、スポーツのいっそうの普及をはかるため、体育研修総合センターの建設をはじめとした施設の整備や指導者の養成などにつとめます。

また、最近、余暇の増大に伴い、レクリエーション活動が活発になってきておりますので、本道の雄大で美しい自然を生かした観光レクリエーション施設の整備をはかります。

医療については、道内のどの地域に住んでいても、必要

な医療が受けられることを目標に努力しておりますが、地域によってなお格差がみられます。

私は、道内の大学をはじめ医療関係者と十分協議し、地域における医師の確保をはかるとともに、救急・夜間診療体制の充実など、医療体制の整備にいっそうつとめてまいります。また、地域の保健医療に大きな役割を果たしている保健所や道立病院の整備をはかるほか、札幌医科大学附属病院の改築を計画的にすすめます。

衛生大学構想の推進については、当面、教員の養成など必要な準備をすすめてまいります。

福祉については、老人、心身障害者、母子家庭など社会的に弱い立場にある方がたが安定した生活が営めるよう、今後とも、施策の強化につとめます。

とくに、お年寄りにとっては、生きがいのある生活がもっとも大切なことであります。

私は、1人ひとりのお年寄りが、仕事やスポーツ、趣味などに、生きがいを見いだすことができるよう対策の推進をはかる考えであります。

また、老人医療費の公費負担制度については、これまで、国にその拡大を強く要請してまいりましたが、見通しが困難でありますので、私は、本年2月から、市町村などの協力のもとに、福祉的観点にたち、その対象範囲を拡大いたしました。さらに、ねたきり老人をお世話する家族に対し、介護手当を増額するなど、施策の充実をはかります。

懸案であります乳幼児や母子家庭の医療費の公費負担制度についても、関係者との協議をすすめて、その充実につとめます。

福祉施設については、特別養護老人ホーム、保育所、重度障害者施設などの増設をはかります。

とくに、重度身体障害者の福祉村については、昭和54年に、1部開所ができるよう整備を急ぐとともに、からだの不自由な子供たちのために、総合療育センターの計画的な整備や養護施設の建設をすすめます。

次は、教育・文化の振興についてであります。

教育は、人格完成のための基本であり、また、豊かな社会を形成するための基盤ともなるものであります。私は、心身ともに健康で創造性豊かな道民が育つことを心から願っております。

このような考え方にたつて、教育委員会との緊密な連携のもとに教育の充実につとめてまいります。

なかでも、学校教育は、人間形成にとって重要な役割を果たしておりますので、知育・徳育・体育の調和のとれた教育が行われるよう、教育環境の積極的な整備に努力を傾けます。

とくに、高等学校については、公私立を通じて希望者の全員入学を目標に、道立高校の新增設を積極的にすすめます。また、働きながら通信制で学ぶ方がたの母校である有朋高校については、この4月から定時制を併置するなどい



っそうの整備、充実をはかります。

さらに、養護学校については、昭和54年度からの義務化にそなえて、校舎の整備を急ぐとともに、公立幼稚園については、その設置を促進してまいります。

なお、道立高校の授業料については、国の動向や負担の公平などを勘案し、改定いたしますが、定時制課程については、とくにすえ置くことといたします。また、奨学金などの増額をはかります。

私立学校については、近年、経営が困難な情勢にありますので、高等学校や幼稚園などに対する道の援助を強化し、また、私立学校の生徒を対象とする奨学金制度を拡充するなど、経営の安定と父母負担の軽減につとめます。

最近、青少年や婦人の方がたの地域活動が活発になりつつあることを心強く思います。

とくに、将来を担う青少年が、自らの郷土を自分たちの手で築きあげるという意識を高め、積極的に地域づくりに参加することは極めて大切であります。

私は、青少年の自主的な活動を助長するため、「北海道青少年基金」の創設に対して積極的に援助するほか、新たに「青少年の森」の建設に着手いたします。また、青年や婦人の海外研修を引き続き実施し、指導者の養成につとめます。

婦人の地位を高め、社会参加を促進することは、本道の発展にとって重要なことであります。

本年は、北海道の婦人行動計画が、他府県にさきがけて発足いたしますが、私は、市町村や婦人団体なども協力し、この計画の着実な推進をはかってまいりたいと考えます。

昨年、道立近代美術館を開館いたしました。これを機会に、道民の芸術文化に対する関心が次第に高まってきており、私は、今後とも、道民の文化活動の奨励、すぐれた芸術を鑑賞する機会の増大、文化財の保護などを促進し、北方風土に根ざした個性ある文化の創造につとめます。

次は、産業の振興と体質の強化についてであります。

国民の食糧を安定的に確保することは、いつの時代であっても、重要な課題であります。

国土が狭いわが国にあって、北海道は、国民食糧の最大の供給地であり、私は、将来とも、本道の農業、水産業の果たす役割が高まっていくものと確信しております。

しかしながら、最近における農産物需給の不均衡や200海里時代の到来など、いまや、わが国の農業、水産業をめぐる情勢はまことに厳しく、このような情勢に的確に対処することが求められています。

農業については、大幅な水田の転作や農産物の輸入拡大に対する諸外国からの要請など、大きな試練にたたされております。

とくに、稲作については、国から示された転作目標は極めて厳しいものであり、これまで嘗々と励んでこられた農

家の方がたはもとより、本道稲作の将来にとって、まことに深刻な事態であります。私は、本道の稲作がおかれている実情を直視し、今後、関係者と力をあわせて、この事態を乗り切っていかなければならないと考えます。

このため、当面の措置として、転作の実施に必要な経営条件の整備や営要指導などの対策をきめ細かくすすめ、農家の経営安定につとめてまいります。また、米の消費拡大対策をすすめるほか、将来に向けて、わが国の主要な稲作地帯としての地位を固めるため、米の品質改善や生産性の向上に最善の努力を傾けます。

畜産にあっては、中核的役割を担う中小規模農家の施設の整備と生産の組織化をはかるとともに、新酪農村や畜産基地の建設を促進し、生産性の高い畜産経営の育成につとめます。また、牛乳に親しむ食生活の普及にも力を入れてまいります。

畑作については、耕土改良を促進するとともに、てん菜、小麦、大豆などの生産を拡大し、輪作を基本とする安定した経営づくりをすすめます。また、野菜の価格安定制度の強化につとめます。

本道農業が当面する課題は、極めて多岐にわたっておりますが、この難局を乗り越えるため、私は、北方にふさわしい強じんな体質をもった農業の確立をめざし、すぐれた担い手の確保や土地盤の整備などの施策を着実に推進し、関係者一体となって、明るい将来の展望を切り開いていく決意であります。

水産業については、200海里時代に即応した体制を固めることが何よりも緊要な課題であります。

昨年来行われている日ソ漁業協定、あるいは日米加漁業条約の交渉にみられるように、北洋に大きく依存してきた本道の水産業は、非常に厳しい環境におかれており、まさに、重大な転機にたたされております。

本道水産業の安定した発展をはかるためには、ソ連邦をはじめ、米国、カナダなどの漁業水域における実績を十分考慮しながら、新しい海洋時代の秩序を確立することが必要でありますので、私は、今後とも、本道の実情を関係諸国に深く認識させ、また、幅広い漁業外交をいっそう推進するよう、強く国に働きかけてまいります。

それと同時に、私は、漁場環境の保全に配慮しながら、本道周辺海域の漁場の見直しを行い、沿岸漁業、栽培漁業の積極的な振興をはかるとともに、新漁場の開発や漁業基地の整備などを促進いたします。

また、水産資源の有効な利用をはかるため、加工技術の研究や指導の体制を強化して、新しい製品の開発と実用化をすすめるほか、生産施設の整備、流通の合理化、金融制度の拡充などの施策を講じ、水産加工業の振興につとめてまいります。

200海里時代は、これからが正念場を迎えるものと思っておりますが、私は、本道水産業のおかれている現実を厳しく受

けとめ、今後、漁業ならびに水産加工業の経営安定に努力し、関係者のみなさんとともに、この難局を乗り切っていく覚悟であります。

林業については、本道が、わが国における枢要な森林地帯であり、また、国土の保全などに果たす森林の公益的機能も重視しなければなりませんので、私は、造林の促進、林道網の整備、森林組合の育成強化などをはかります。

また、林産業の体質改善、木材流通の合理化などをすすめてまいります。とくに、カラマツについては、その高度利用につとめます。

商工業については、産業構造の高度化と流通の近代化をすすめるため、いっそうの振興をはかることが必要であります。

本道の商工業は、ほとんどが中小企業であります。近代化の遅れがみられ、しかも長期にわたる不況のなかで苦しい経営を余儀なくされており、その体質強化が強く求められております。

このため、中小企業については、経営の合理化をはじめ、設備の近代化、事業の共同化、協業化をすすめるとともに、金融対策をいっそう充実し、その育成をはかってまいります。

商業については、主要都市に卸売機能の充実をはかるとともに、商店街の近代化をすすめ、また、大型店進出に対しては、地元小売店との調整を指導するなど、卸・小売業の経営の安定につとめます。

また、地場工業については、新たに「地場製品開発基金」の創設をはかるほか、技術指導体制を拡充強化するなど、いっそうの振興策をすすめます。とくに、厳しい経営環境にある輸出関連企業や構造不況業種の下請企業などについては、きめ細かな指導、相談を行うとともに、経営安定のための資金措置を講じます。

また、長期的展望にたつて、苫小牧東部工業基地、石狩湾新港地域、空知中核などの内陸工業用地の開発を促進し、これらを核として、本道工業の発展をはかり、道民所得の向上と雇用機会の増大を期してまいります。

同時に、これと関連する新規企業の導入については、経済界や市町村と一体となった企業誘致体制を整備し、積極的に誘致活動をすすめます。

次に、連帯感に満ちた地域づくりについてであります。

道民のみなさんが、道内のどの地域に住んでいても、充実した生活ができるようにすることが、私の念願であります。

このため、私は、地域の特性に応じた産業を育成し、就業機会の確保と所得の向上をはかるとともに、教育、医療、福祉や交通など、住民の生活に必要な機能を整備し、地域の安定性を高めるようにつとめます。とくに、過疎地域、離島などについては、特別対策事業などのきめ細かな振興策を講じ、地域の均衡ある発展につとめてまいります。

また、地域づくりにあたって、何よりも大切なことは、私たち一人ひとりが、社会の一員としての自覚を深め、地域連帯の精神に支えられた自主的な活動をすすめていくことであります。

最近、道民の間に、コミュニティやボランティア活動に対する関心が次第に高まってきております。私は、市町村と協力して、コミュニティセンターをはじめ必要な施設の整備をすすめるなど、これらの地域活動がいっそう促進されるよう施策の充実につとめます。

本年は、地域づくりの指針となる広域生活圈計画の策定をすすめる年であります。私は、地域のみなさんの意欲と創意により、それぞれの地域の特性を生かした、素晴らしい計画ができあがることを期待し、その作成および推進に積極的に協力してまいります。

地域づくりの基本は、郷土愛に裏打ちされた地域のみなさんの自主的な盛りあがりです。私は、この盛りあがりの芽を育てながら、みなさんとともに連帯感に満ちた地域づくりに積極的に取り組んでまいります。

次は、環境問題についてであります。

私たちが、快適な生活を続けていくためには、豊かな自然を守るとともに、望ましい環境を整えることが必要であります。

このため、長期的な観点にたつて、総合的な自然保護計画の策定をすすめてまいります。また、うるおいのある環境をつくるため、緑化を積極的に推進します。

私は、環境汚染の未然防止をはかるため、かねてから、環境アセスメント条例の立案につとめてまいりましたが、国の法制化の動向をみながら、今定例会の会期内に提案をいたしたいと考えております。

また、公害の防止については、監視の強化につとめるほか、防除施設の整備を促進するため、融資制度の充実をはかります。

さらに、生活環境の向上をはかるため、秩序ある土地利用につとめ、公園や緑地、街路、上・下水道などを計画的に整備するほか、持家建設の促進や北国に適した住宅の研究開発をすすめます。

次は、エネルギー問題についてであります。

資源有限時代を迎え、将来にわたるエネルギーの安定的な確保は、本道産業経済の発展と道民生活の向上にとって欠くことのできない課題であります。

私は、エネルギーの自給力を高めるため、本道の貴重な資源である石炭の重要性を、今後とも、国に主張し、積極的な石炭振興策の実施を強く求めるとともに、道としても、できる限りの努力をいたします。

また、本道に多く賦存する地熱、天然ガスなどについて、さらにその開発と利用を積極的にすすめます。

電力については、電源開発の遅れが目立っておりますが、私は、電力需給の長期的な展望にたつて、道民のコンセン

サスを得ながら、火力、水力とともに原子力などの発電所の建設を促進し、電力の供給確保につとめます。

次は、交通事故など災害の防止についてであります。

昨年、本道におきましては、交通事故や火災、海難などによる事故が多発し、多くの尊い人命が失われました。とくに、関係者の懸命の努力にもかかわらず、交通事故死全国一を返上できなかったことは、まことに遺憾であります。

私は、心を新たにして、交通事故防止のため、あらゆる機会を通じて安全教育の徹底をはかるとともに、交通安全施設の整備、充実につとめます。

さらに、火災や海難などの事故についても、人命尊重に徹し、市町村や関係機関との十分な連携のもとに、事故防止対策を推進してまいります。

これらの事故を防ぐには、一人ひとりの自覚と努力にまつ面が大きいですので、私は、広くその啓発につとめ、みなさんの積極的な協力のもとに、事故のない安全な社会をつくるため、最善の努力をしてまいります。

次は、北方圏交流の促進についてであります。

北方圏構想に対する理解が次第に深まり、交流の輪が広がりつつあることは喜ばしいことでもあります。

申しあげるまでもなく、北方圏諸地域は、将来に向けて発展の可能性を秘めており、なかでも北方圏の要衝にある本道は、わが国における交流拠点として大きな期待が寄せられております。

本年、11月には、カナダのブリティッシュ・コロンビア州においては天然資源会議が開催されますので、この会議に出席し、北方圏諸地域との交流をいっそう推進してまいります。

また、北方圏構想の中心的な推進機関となる北方圏センターの設立をはじめ、北方圏交流基金の創設など、構想の具体化に向けて、大きく前進しようとしております。本年も、医学研究者やスポーツ指導者などの交流をすすめますが、私は、今後とも、北方圏諸地域との交流をいっそう深めながら、その成果を、道民の生活文化や産業技術などの改善に役立て、北国にふさわしい個性豊かな北海道づくりをすすめます。

なお、北方圏交流の促進にあたっては、国際航空路の開設が是非とも必要でありますので、千歳空港の国際化に積極的に取り組んでまいります。

次は、北方領土の問題についてであります。

本年早々、日ソ外相会議が開催され、平和条約の締結をはじめとする両国間の懸案事項が協議されましたが、領土返還をめぐる情勢は、いっそう厳しいものとなり、まことに残念というほかありません。

私は、これまでも経済、文化、スポーツなど、ソ連邦との交流の拡大につとめてまいりました。

しかし、北方領土の返還なくして、真の友好関係を確立することはできないと考えます。

私は、この機会に、全国各地での運動の展開を働きかけ、国民世論が、いっそう高まるようにつとめるとともに、対ソ外交が強力に推進され、北方領土の復帰が早期に実現するよう、今後とも、ねばり強く努力してまいります。

私は、これまで「生活優先」、「道民主体」、「中道・公平」を基本として、道政の推進につとめてまいりました。

今日、社会の変動が激しく、道民の意識は一般と多様化し、道政に対する期待はますます多岐にわたり、従来にもまして、道政の真価が問われているときであると考えます。

私は、道政はあくまでも道民のものであるとの考えにたつて、各地域の方がたとの話しあいをいっそう深め、道民がいま何を求めているか、将来の本道の発展に何が必要かを、的確に判断し、必要な施策については、勇断をもって実施してまいります。

また、私は、職員ともども綱紀の厳正な保持を心に誓い、道民の期待と信頼にこたえる道政の確立につとめます。

さらに、国や市町村との緊密な連携をはかるとともに、道民の立場にたつて、国に対して主張すべきことは強く主張してまいります。

私は、今後とも、この姿勢を貫き、道民主体の道政を確固たるものにしていく考えであります。

以上、道政執行に関する私の所信と基本的な方針について申し述べたのでありますが、今日、道政は重大な試練に直面しております。

私は、540万道民の先頭に立って、今日の難局を乗り越え、「みんなの温かい心が通いあう福祉社会」の建設に向けて邁進する決意であります。

道議会議員ならびに道民のみなさんの心からなるご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

## 教育行政執行方針

昭和53年度の北海道教育委員会所管行政に関する執行方針について申し述べます。

北海道教育委員会は、道民の教育に対する期待がますます増大している今日、その責務の重大さを認識し、心身ともに健全な人間の育成をめざし、道民の付託にこたえるため諸般の施策を遂行いたします。

まず、学校教育におきましては、人間性豊かな児童生徒の育成を期して、創意に富む教育活動の推進に努めます。

このためには、教員ひとりひとりの自発的、創造的な教育実践を期待する一方、その専門性を高めるため、研修の充実に努めてまいります。

特に、学習指導要領の改訂にともない、その趣旨の徹底を図ってまいります。

また、最近における児童生徒の非行や交通事故の増加にかんがみ、その健全育成や安全指導には、特に意を用いてまいります。

次に、教育諸条件の整備についてであります。幼児教育につきましては、関係機関との連携を密にして、その充実を図るとともに、公立幼稚園の設置を促進いたします。

小中学校につきましては、教職員定数改善5か年計画を今年度をもって完全に実施いたしますほか、危険校舎の改築など、施設の整備を促進するとともに、へき地教育の振興に努めます。

高等学校につきましては、進学希望者の増加に対し、新たに、北広島高等学校をはじめ6校を開校いたします。

また、引き続き新設校の校舎整備を計画的に行うとともに、老朽校舎等の改築を促進いたします。

さらに、かねてから整備を進めておりました通信制の有朋高等学校に、新たに、定時制課程を設けて、通信制教育との併修を行い、勤労青少年の教育の振興に努めることといたします。

特殊教育につきましては、養護学校の義務化に対応して、児童生徒の適正な就学を図るため、新たに、「特殊教育就学相談機能」を整備するとともに、精神薄弱児の養護学校2校を開校し、引き続き4校の新設を計画どおり進めます。

さらに、肢体不自由児の養護学校の新設に着手するほか、盲、聾学校等の校舎改築、屋内体育館、寄宿舎の整備をとり進めます。

次に、社会教育におきましては、生涯教育の充実を図り、道民の自主的な学習と実践活動をとおして、豊かな地域づくりが促進されるよう、その条件整備に努めてまいります。

このため、婦人の社会参加を進めるための学習など、各種社会教育学級の充実を図るとともに、社会教育が、本来、民間主体で行われるべきものでありますので、ボランティア活動や個人学習の助長に力を入れてまいります。

さらに、社会教育施設の整備につきましては、公民館、図書館、博物館の増設を促進するとともに、道立少年自然の家を整備を図ります。

次に、スポーツの振興についてであります。道民の健康づくりを推進するうえから、生活の中にスポーツを定着させることが、きわめて重要なことと考え、その拠点となる公共スポーツ施設の整備拡充を図ってまいります。

また、「道民皆スポーツ」をめざして、水泳や歩くスキーなどの普及、スポーツクラブの育成に努めるとともに、開道110年を記念して、道民スポーツ全道大会を開催いたします。

さらに、スポーツ振興の中核となる指導者の養成確保と研修の場として、道立体育総合研修センターの設立に着手するほか、スポーツ団体と提携して、指導体制の充実と競技力の向上に努めてまいります。

次に、芸術文化の振興についてであります。優れた芸術文化に接する機会を広く道民に提供するため、移動芸術祭、巡回小劇場などを実施するほか、新たに、昨年開館した道立近代美術館による移動美術館を実施いたします。

また、道民の芸術文化活動を奨励し、その振興を図るため、道民芸術祭を援助するほか、各芸術文化団体の活動に対し助成をいたします。

さらに、貴重な文化財を保護するために、指定文化財の保存整備、天然記念物や埋蔵文化財の調査に努めるとともに、民俗文化財の積極的な保存を進めてまいります。

以上、昭和53年度の教育行政執行方針を申し述べましたが、北海道教育委員会は、道民の意向を、より広く、よりの確には掘し、市町村教育委員会はもとより、教育関係者との連携のもとに、本道の教育、文化の振興に最善の努力を傾注する考えであります。

よろしくご理解とご協力をお願い申し上げます。

○3月3日(金) 午前11時7分開議、諸般の報告(人事委員長から議案第20号に関し意見書の提出、請願第213号の関係委員会付託、本日の会議録署名議員)の後、日程第1議案第1号ないし第59号及び報告第1号を議題とし、代表質問に入り、

西尾 六七議員(自民)から、①道政執行の基本姿勢に関し、「明日」の本道の発展に取り組む決意と抱負、

②財政問題に関し、53年度予算編成の基本的考え方と道財政の見通し、道財政の構造上の問題と関連して、財政の運営のあり方と長期財政計画樹立に対する考え方、公共事業の執行促進についての市町村に対する指導と地方負担額の増加に対する財源措置、

③北海道発展計画と新北海道総合開発計画に関し、三全総における定住圏構想と地方自治体の自主性との関連、発展計画、開発計画及び三全総の調和についての考え方、地域総合環境圏構想の進め方と地域住民及び地元市町村への配慮道新幹線の建設及び国立医大の新設等の施策に係る発展計画と開発計画との表現の違い並びに今後の対処方針、資金調達の見通し、

④環境アセスメント条例に関し、同条例の提案時期、環境アセスメントの制度化による開発事業推進への影響、

⑤経済問題に関し、本道経済の現状と見通し、公共事業の四半期別消化割合、職員の欠員補充と執行体制の整備、三六協定改定と時間外勤務要請の考え、建設資材の不足、価格の高騰及び技能労働者の確保等と事業消化との関連、地元中小建設業者の受注機会拡大と共同企業体に対

する指導強化、下請業者の保護と指導強化、中小企業に対する金融対策、地場工業の振興対策と地場製品開発基金制度の役割、企業誘致に当たっての考え方と精密機械工業の育成策、雇用失業情勢の現状認識、失業の予防対策、離職者の再就職対策、公共事業等の執行による雇用機会の拡大効果と雇用確保への取組み、

⑥水産業をめぐる諸問題に関し、本道の200海里水域内における資源及び漁場の調査並びに開発の促進についての考え方、漁業指導取締体制の強化方、日ソ漁業協力協定交渉に対する決意北方地域の旧漁業権補償問題についての考え方

⑦農業問題に関し、農業生産地域指標の受けとめ方並びに発展計画との違いの調整、食糧供給基地としての今後に臨む所信、地域別稲作経営のあり方、田畑輪換及び複合経営の育成等の転作農家に対する指導、畑作振興対策の基本的姿勢畑作物の価格流通安定対策の進め方、ジャガイモシスト線虫対策の取組み方、加工原料乳限度数量の超過分についての対処策、加工原料乳の53年の保証価格決定に臨む姿勢、

⑧林業問題に関し、造林事業及び間伐事業の推進方策、林業労働に対する所見、

⑨福祉、医療問題に関し、福祉行政の基本的考え方、老人医療給付特別対策事業の実施状況と対象人員及び対象範囲拡大についての考え方、老人の生きがい対策、ボランティア活動に関して行政の果たすべき役割と将来展望、

⑩教育問題に関し、今後の高校新設及び校舎改築の進め方、スポーツ指導者の育成と体育大学の設置の必要性、芸術大学の具体的構想と今後の見通し、児童生徒の非行等教育の荒廃に対する見解と今後の取組み等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後1時45分休憩、午後3時1分再開。ついて

**新村 源雄議員（社会）**から、①知事の政治姿勢に関し、老人医療給付特別対策事業の受給対象者見込み数の推計誤りに対する見解、同制度を撤回し提案し直す考え、苫東の石油備蓄基地建設問題に関連して、企業立地の遅れ等苫東計画の「破綻」に対する責任、備蓄基地受入れに当たっての防災環境保全対策並びに地元市町村及び住民の理解に対する考え方、中国産原油分解装置の苫東設置についての事前連絡の有無、

プロパンガスの北海道価格解消に対する責任と効果的な対策の必要性、

②環境アセスメント条例に関し、条例制定の遅れに対する責任並びに国の動向との関連、環境アセスメント法案の素案内容とのかかわり合い北海道経済連合会からの要望書に対する見解、環境保全に対する基本的考え方、

③経済問題に関し、地方自治体の景気浮揚対策に対する政策理念、公共事業の経済効果、公共事業発注に当たっての末端業者への配慮、地元業者に配慮した発注方法のあり方、雇用問題に関連して、就労拡大事業の実施、労働債権確保のための指導強化、雇用基金の創設、各種給付金の活用及び市町村における雇用対策協議会の設置等に対する見解、公共事業の執行による雇用機会の拡大効果とその方策、

④農業問題に関し、転作の本道農業及び経済に与える影響とこれを防止する施策、転換作物の価格保証及び流通等に対する施策、農業生産の長期計画見直しについての考え方、酪農振興策並びに加工原料乳の限度数量増枠の見通し、稲作の生産調整について田畑輪換可能面積と転作目標面積との関連、転作に関する罰則規定の除外と計画加算金の基本価格への合算についての要請方、減反に伴う農家負担の増加に対する具体策、米の消費拡大方策、

⑤福祉問題に関し、福祉施設のあり方、身障者福祉村に関連して、「分類収容」の妥当性

⑥財政問題に関し、53年度予算の補正予想及びその財源構成、54年度の道財政の見通し、中期財政計画に係る作業の進捗状況、中期財政計画の試算に当たっての発展計画の資金計画等との調整方法、

⑦教育問題に関し、道立高校の授業料値上げ問題及び公私立間の父母負担格差是正に対する見解、高校教育と父母負担に関する基本的な考え方、高校の総合選抜について、改正試案の発表時期、実施案の確定までの見通し、総合選抜制の導入範囲、学区再編の考え方、教育予算のあり方、「ゆとりのある教育」の推進に当たっての基本的見解、児童生徒の自殺及び非行等を防ぐ学校、家庭及び社会の一体的取組みの推進方策、私学及び職業高校に係る当面の諸問題の把握とその具体策、今日の教育課題に取組む決意、

⑧覚せい剤事犯の取締りに関し、覚せい剤事犯抑止のための啓蒙活動の進め方、再犯防止対策、覚せい剤と暴力団組織との関連等について

質問があり、知事、教育長及び道警本部長から答弁。新村議員から再質問、知事及び教育長から答弁、新村議員から発言（自席）があって、午後6時21分延会。

○3月4日（土） 午前10時58分開議、諸般の報告（本日の会議録署名議員）の後、日程第1議案第1号ないし第59号及び報告第1号を議題とし、代表質問を継続、

村本 三郎議員（道政）から、①雇用対策に関し、本道の雇用の現状認識と今後の見通し、中高年齢者の雇用対策、職業訓練対策及び再就職促進対策、国の高年齢雇用安定給付金制度に係る給付期間及び助成率等改善についての見解、労働部の機構整備の進め方、

②景気対策に関し、公共事業の執行体制の充実強化の必要性、地元企業への優先発注方策、

③中小企業の育成と企業誘致に関し、小規模企業の経営安定対策と大型店進出対策、企業誘致に係る抜本的対策の必要性、企業誘致推進機構の新設整備に対する所見、

④大規模工業基地問題に関し、大規模工業基地開発に対する現状認識と今後の対処策、土地取得に係る金利負担の増高への対処策、

⑤交通運輸問題に関し、千歳空港の国際化達成の目途、空港と都市圏を結ぶ交通体系整備の考え方、

⑥200海里対策に関し、日ソ漁業協力協定交渉の円満な妥結への要請方、漁場開発と漁業権再編に対する所見、減船に伴う漁業離職者の実態と就業対策、

⑦農業問題に関し、農作物の輸入問題に対する認識と対処方針、肉用牛の生産振興対策、水田転作に関連する土地基盤整備の進め方、

⑧教育文化に関し、養護教育の義務制移行に伴う本道の就学児童の実態把握と就学指導体制の整備、養護学校施設の今後の整備計画、心身障害児の後期中等教育の振興方策、児童の非行防止への取り組み方、非行児童生徒に対する教師の課外指導の重要性、芸術文化団体の育成強化方、

⑨道民生活に関する諸問題に関し、インフルエ

ンザ流行の原因と予防策、学校体育施設の開放に対する見解と警備員、スポーツ指導員配置の考え、食品衛生の確保に係る指導方針、物価安定対策の推進方策、流通問題に対する今後の対処方針、試験研究の充実強化の必要性、

⑩防災対策に関し、地震に対する防災体制の確立方、住民避難個所の周知徹底対策等について質問があり、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後零時32分休憩、午後1時45分再開。ついて

高橋 鉦議員（公明）から、①開発計画に関し、新北海道総合開発計画と三期計画との相違点、地域総合環境圏構想についての内容把握、計画初年度としての53年度開発予算の評価と計画における政府資金確保の見通し、苫東石油備蓄基地受け入れ意思の理由、苫東開発計画見直しの必要性、

②不況及び雇用対策に関し、大型公共投資の景気回復効果、公共事業の早期発注の基本方針、地元中小企業への優先発注の考え方、公共事業の執行に当たっての職員配置のあり方、公共事業に伴う雇用拡大のための具体的方策、中高年齢者の失業予防、職業訓練及び再就職の促進への取り組み方、母子家庭における母親の雇用対策と特別立法制定の働きかけ方、

③産業の振興に関し、農業問題について、農業についての土地利用計画の作成と本道の位置づけの明確化、稲作の生産性向上及び品質向上等による道産米の消費拡大方、転作農家の営農指導のあり方、水産業問題について、沿岸漁業振興についての所信、定置及び区画漁業権の切りかえに当たっての考え方、水産加工業の経営改善対策の必要性、試験研究体制の整備拡充と増養殖技術の確立、林業問題について、本道の木材需給の見通し、木材輸入についての見解、カラマツ林業に対する総合対策、今後の造林計画の長期見直し及び造林対策、

④中小企業対策に関し、零細小規模企業に係る駆け込み的融資制度の加入促進、前掛け制度の活用についての検討方、中小企業の業種別、地域別のあり方と将来ビジョン策定の必要性、

⑤道民生活に関連する諸問題に関し、老人医療について、無料化拡大に係る対象者が当初見込みより下回ったことの受けとめ方と知事公約との関連、今回の特例範囲拡大による対象者数、

所得税非課税世帯を対象とした制度へ改善する考え、高額療養費支給制度に対する所信、へき地医療について、地域保健医療計画策定の考え方、地域センター病院の整備計画、機能発揮していない地域センター病院対策、消費者物価について、景気回復策に関連して、生活必需物資の需給及び価格への影響と対策、公共料金値上げの影響と対策、

⑥教育問題に関し、PTA活動及び社会教育活動において非行防止、健全教育等の推進方、職業教育のあり方、

⑦財政問題に関し、地方財源対策の充実、超過負担の早期解消等の働きかけ方と計画的財政運営と健全性の維持方等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。高橋議員から再質問、知事から答弁。議案調査のため3月6日は休会することに決定して、午後3時43分延会。

○3月7日(火) 午前11時3分開議、諸般の報告(笠島保議員の総合開発調査特別委員辞任許可、本日の会議録署名議員)の後、日程第1特別委員補欠選任の件を議題とし、異議なく青木延男議員(社会)を総合開発調査特別委員に補欠選任することに決定。

次に、日程第2議案第1号ないし第59号及び報告第1号を議題とし、一般質問に入り、

武部 勤議員(自民)から、本道の畑作振興対策とジャガイモのシスト線虫対策に関し、線虫発生圃場に対する対策、蔓延防止対策、合理的な輪作を組み入れた畑作経営の誘導策、畑地の地力培養対策、新規就農青年対策、農村の花嫁対策、住みよい農村建設に係る施策等について

質問があり、知事から答弁。ついで、

一野坪 勉議員(社会)から、①石炭問題に関し、第6次石炭政策に対する評価、発電計画における年間生産量1,300万トン達成見通しと達成のための具体的施策、石炭の政府備蓄の積極的な提言方、石炭火力発電所の新設並びに小口需要喚起対策、石炭公団実現への決意、第7次石炭政策確立への所信、新政策樹立委員会設置に対する見解、北炭の経営危機の受けとめ方と対処方針、

②共和・泊原子力発電所問題に関し、通産政務次官の発言に関連して、国の原発の安全性確保

の意味、原発の稼働率の状況と経済性との関連並びに原発計画中止の考え等について

質問があり、知事から答弁。一野坪議員から再質問及び再々質問、知事から答弁があって、議事進行の都合により午後零時22分休憩、午後2時8分再開。ついで

川崎 守議員(共産)から、①綱紀肅正問題に関し、松山支庁における職員の関係業者からの歳暮等受けとりの事実関係と対処内容、

②景気対策に関し、公共事業の執行による季節労働者等の吸収人員、公共事業の製造業及び3次産業等への波及効果、本道の予想経済成長率公共事業の推進体制及び事務処理の進め方、Cクラス以下業者の受注機会確保の考え方、継続工事の発注のあり方、業者の格づけに対応する工事の発注、

③住宅問題に関し、第3期住宅建設5カ年計画の公営住宅建設の計画達成についての考え方、52年度までの残戸数消化の考え方、道営住宅と市町村営住宅の建設比率のあり方、道営福祉住宅の譲渡代金の支払い方法改善の検討方、道営福祉住宅の家賃の是正方、

④労働問題に関し、中高年齢者等の雇用の促進に関する特別措置法に基づく特定地域の指定申請に当たっての考え方、退職者の退職手帳の発給期間の短縮方、就職指導手当及び訓練手当等改善の必要性、高年齢者雇用率未達成企業に対する指導方針、

⑤稲作転換問題に関し、転作目標未達成の場合のペナルティーについて、国への撤回要求方、道全体として目標を達成した場合の措置、道の転作特別事業に係る補助率引上げに対する見解、事業採択基準のあり方、

⑥福祉問題に関し、老人医療給付特別対策事業について所得税非課税世帯を対象として実施する考え、乳幼児医療費無料化拡大の範囲、実施時期及び給付方式、国民年金制度における無年金者対策に対する見解、

⑦開発問題に関し、原発問題について、53年度予算における原子力発電対策費の内容、大規模開発について、苫東第1段階計画の達成見通し北電苫東石炭火力発電所の用地を無償貸付している理由、今後の道費負担の見通し、開発に係る財政計画策定の検討状況、第3セクターに対する利子補給等の財政援助に対する見解、苫東

住宅団地用地について、地域振興整備公団への売却見通し、開発局の直轄工事について、地元業者の受注拡大及び季節労働者の雇用拡大等の要望方、

⑧教育問題に関し、学級編制並びに教職員定数改善への今後の取組み、高校授業料の値上げと父母負担の軽減に対する見解、授業料減免の実績と免除基準額の改善方、私立幼稚園の保育料据え置き等の指導方、私立幼稚園の経常費助成の拡大目標、障害児の幼児教育充実のための庁内プロジェクトチーム結成方、保育所及び私立幼稚園の障害児教育に対する助成推進と保母の研修機会の拡大策、障害児の公立幼稚園への就園促進方等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。川崎議員から再質問、知事から答弁の後、本間喜代人議員から、資料提出に関連して議事進行発言があり、あらかじめ会議時間を延長のうえ午後3時44分休憩、午後5時2分再開し、本日の会議はこの程度にとどめ延会することに決定して午後5時3分延会。

○3月8日(水) 午後1時50分開議、諸般の報告(本日の会議録署名議員)の後、日程第1議案第1号ないし第59号及び報告第1号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

副議長から、昨日の本会議における本間喜代人議員の措置要求の取扱いについて、議会運営委員会において措置した旨報告の後、川崎議員から再々質問、知事から答弁。ついて

川口 常人議員(自民)から、①福祉行政に関し、障害児教育の義務化に伴う精神薄弱児施設の今後の方向、

②公共事業の執行に関し、公共事業施行対策北海道地方協議会の役割、53年度大型公共投資の効果と54年度以降の見通し、建設関連資材に係る道民生活安定条例の運用の考え方、

③庁舎管理に関し、庁舎の秩序維持の適正化に対する見解等について

質問があり、知事から答弁。ついて

岩崎 守男議員(社会)から、①財政問題に関し、自主財源の割合の減少傾向に対する所見、地方交付税について、従来、基準財政需要額に算入されていた公共事業等の投資的経費の一部を地方債に振りかえる等の国の措置に対する見

解及び地方交付税法との関連、使用料及び手数料等引上げの算出根拠、道債の返還計画と関連して57年及び58年の道財政の見通し、道財政の収支試算する考え、低成長時代の財政政策のあり方、

②公共投資に関し、投資効果についての見解、インフレを招いた場合の責任、道及び市町村における公共事業の伸びと他の施策との関連、道の繰上債増加の影響と対策、道債の金利と他府県の実態、シジケート団を結成した理由、繰上債金利と公定歩合との関連、高利債の借りかえ措置に対する考え方、地方自治体金融公庫設立の要請方等について

質問があり、知事から答弁。岩崎議員から再質問及び再々質問、知事から答弁の後、議事進行の都合により午後3時24分休憩、午後5時53分再開し、知事から補足答弁、会議規則第57条ただし書の規定による発言許可の後、岩崎議員から発言があって、午後5時56分延会。

○3月9日(木) 午前11時12分開議、諸般の報告(本日の会議録署名議員)の後、日程第1議案第1号ないし第59号及び報告第1号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

波谷 澄夫議員(社会)から、①福祉問題に関し、老人医療給付特別対策事業に係る見通しの甘さに対する反省方、条件緩和措置を撤回し京都方式を採用する考え、条件緩和措置の影響と親子の別居増加のおそれ及びプライバシー確保との関連、市町村における対象者把握の実態に対する道の調査結果、

②農業問題に関し、稲作不安定地域の農家の経営安定に対する指導方針、転作に係る営農指導等が今年に間に合う可能性、中小規模酪農家への資金対策、転作大豆及び春まき小麦に係る指導のあり方、道産野菜の自給率を高める方策とその成果、大量貯蔵技術の研究開発状況、農家独自の貯蔵研究に対する助成措置の考え、

③森林行政に関し、森林行政に対する基本姿勢と国有林の評価、本道の4営林局の支局化についての道の対応、

④教育問題に関し、定時制課程の学級減の考え方、道民スポーツ大会における安全対策等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。波谷議員から再



質問及び再々質問、知事から答弁があって、議事進行の都合により午後零時27分休憩、午後4時47分再開し、本日の会議は、この程度にとどめ延会することに決定して、午後4時48分延会。

○3月10日(金) 午後4時27分開議、議事進行の都合によりあらかじめ会議時間を延長のうえ、午後4時28分休憩、午後8時再開。諸般の報告(人事委員長から教員給与の改善に関する意見の申し出、本日の会議録署名議員)の後、本日の会議は、日程を延期し、延会することに決定して、午後8時1分延会。

○3月11日(土) 午前11時2分開議、諸般の報告(本日の会議録署名議員)の後、日程第1議案第1号ないし第59号及び報告第1号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

木村 喜八議員(道政)から、①福祉問題に関し、母子家庭医療の無料化拡大についての考え方、在宅障害者対策の進め方、

②建築及び都市行政に関し、北方圏にふさわしい個性豊かな公共建築物の必要性、建築美術の育成発展の努力方、道民の職住近接志向に対応した住宅行政のあり方、都心と住宅圏を結ぶ交通体系整備の重要性、

③労働問題に関し、漁業離職者の職業訓練に対する配慮方、今後の労使関係の安定についての認識及びその対応策等について

質問があり、知事から答弁。ついで

保格 博夫議員(社会)から、①教育長期計画に関し、幼児教育について幼児教育体制の充実についての基本的見解、公立幼稚園整備の遅れに対する考え方と55年度の目標達成の見込み社会福祉長計の保育所設置目標の実現見通し、5歳児の保育所入所の実態、高校教育について後期実施計画における高校の必要間口の積算方法、高校新設調査費の提案趣旨と地域特定の有無、障害児教育について、教育条件改革への取組み、私学の奨学金問題について、貸付額増額の考え、特別奨学金の対象範囲を全学年対象方式にする考え、授業料の長期未納者の実態、奨学金の所得制限改善への取組み方、

②軍事基地十勝太朗ランC局に関し、工事修正の内容、電波障害についての考え方と障害防止

策、基地周辺の水質検査及び水産資源の検査結果の公表、基地拡張と北方領土返還との関係、

③主任手当問題に関し、主任制の実態に対する人事委の認識と実施状況に関する道教委の報告内容及び人事委独自の調査実施の有無、制度化の定着判断並びに低実施率と主任手当勧告の妥当性、主任手当に関する労使間交渉についての実態把握、自民党政審会長代行の発言と人事委の公正中立性との関連、勧告取り消しの考え、勧告内容の実施に当たっての労使間交渉のあり方教育現場における主任の定着化についての人事委の見解、主任の設置状況に関する道教委の把握内容と確認方法及び実態把握の不備についての見解、労使間交渉をせずに勧告要請したこと

の妥当性と今後の方針、  
④衛生問題に関し、理美容師養成学校の行う通信教育における面接指導について、面接指導の重要性、岩見沢高等理美容学校における面接指導を行わずに卒業認定した事実内容、道の調査内容と指導方法及び行政責任等について

質問があり、知事、教育委員長、教育長及び人事委員長から答弁。保格議員から再質問、知事、教育委員長及び人事委員長から答弁の後、議事進行の都合により午後零時55分休憩、午後3時40分再開。知事、教育長及び人事委員長から、補足答弁の後、保格議員から再々質問、知事、教育委員長及び人事委員長から答弁。あらかじめ会議時間を延長のうえ、議事進行の都合により午後4時3分休憩、午後5時20分再開し、教育委員長及び人事委員長から、補足答弁があり、会議規則第57条ただし書の規定による発言許可の後、保格議員から要望があって、午後5時29分延会。

○3月13日(月) 午前11時47分開議、諸般の報告(知事から提出のあった議案第60号ないし第75号、議案第68号ないし第72号について人事委員会に対し意見要求、本日の会議録署名議員)の後、日程第1議案第60号ないし第75号を議題とし、知事から提出議案に関する説明があり、日程第1にあわせ、日程第2議案第1号ないし第59号及び報告第1号を一括議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

岡本 栄太郎議員(社会)から、①農業問題に関し、本道農業の危機に対する考え方と対策、53年度畜産物価格に係る対策と所信、加工原料乳保証価格の算定方式改善についての考え方、

加工原料乳の限度数量問題に対する対策、水田転作未消化に対するペナルティー措置に対する見解、海外援助等米の消費拡大について根本的に考え直す必要性

②国民年金の当面する問題に関し、年金額引き上げの緊要性と支給開始年齢のあり方に対する見解、

③学校給食に関し、米飯給食促進への本年の対応、給食施設整備の今後の対策、週2回の米飯給食の実現時期、牛乳の土曜日給食の進め方等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。岡本議員から再質問及び再々質問、知事から答弁。会議規則第57条ただし書の規定による発言許可の後、岡本議員から質問、知事から答弁があって、議事進行の都合により午後1時10分休憩、午後2時51分再開。ついで

**藤井 虎雄議員（社会）**から、①交通問題に関し、国鉄の貨物取扱集約化計画に対する道の対処内容、同計画の発展計画に及ぼす影響と対策、総合交通体系の確立に向けての今後の具体的進め方、

②地域医療に関し、市町村立病院の不良債務急増の解決策、発展計画における不採算診療部門に対する助成強化の考え方、市町村立病院に対する助成の必要性、

③稲作転換に関し、転作促進特別対策事業の農家への周知徹底方、同事業の需要が予算オーバーした場合の考え方、土地条件の悪い水田の転作に対する対策、転作農家の経営安定対策、減反に伴う農協指導の進め方、

④発展計画に関し、新北海道総合開発計画における地域総合環境圏構想等に対する考え方、発展計画における4ブロック7区分を地域の実態に即し見直す考え、地域の均衡ある発展についての基本姿勢と53年度予算案における配慮等について

質問があり、知事から答弁。藤井議員から再質問、知事から答弁。ついで

**青木 延男議員（社会）**から、①雇用問題に関し、身体障害者及び中高年齢者の雇用状況の51年と52年の対比、雇用率達成のための計画作成方、雇用促進法に基づく雇用率を下回る企業への指導方針、身体障害者及び中高年齢者の雇用に係る最低賃金法違反等に対する対処方針、

身体障害者等の雇用確保に係る外的条件整備の考え方、季節労働者問題について、積寒給付金制度の利用見込み教と対象労働者数、利用実績が当初見込みを上回った場合の措置、賃金支給の実態把握、雇用保険90日復活の国への働きかけ方、新設の職業対策課の業務内容、

②中小企業問題に関し、今日の中小企業に対する現状認識、景気浮揚策の中小企業への反映方策、歩積み両建て等の拘束性預金に対する考え方、道の制度資金及び信用保証協会の保証融資における歩積み両建て等の有無、無担保無保証人保証制度の目的と取り扱い状況並びに審査基準、

③流通問題に関し、同問題に対処する道行政の執行状況等について

質問があり、知事から答弁。青木議員から再質問及び再々質問、知事から答弁があって、午後5時15分延会。

**〇3月14日（火）** 午前11時43分開議、諸般の報告（知事から提出のあった議案第76号、人事委員長から議案第68号ないし第72号に関し意見書の提出、本日の会議録署名議員）の後、**日程第1議案第76号**を議題とし、知事から提出議案に関する説明。

ついで、**日程第1**にあわせ、**日程第2議案第1号**ないし**第75号**及び**報告第1号**を一括議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

**松崎 義雄議員（道政）**から、過疎地域振興対策に関し、53年度における過疎地域振興計画事業の実現見込み、道の過疎地域振興特別対策事業の充実強化の必要性、過疎地域における観光振興に関連して、広域観光ルート整備のルート選定の方針、追分ソーランライン整備の考え方、青少年の健全育成の場としての道南地方の振興対策等について

質問があり、知事から答弁。ついで

**工藤 啓二議員（公明）**から、①工業団地をめぐる諸問題に関し、道内における工業団地の実態把握、工業団地の売却見通し、苫小牧東部工業基地への基幹工業立地の見通し、工業団地への具体的な企業誘導方策、

②住宅問題に関し、第3期住宅建設5カ年計画の達成見通し、53年度において景気浮揚効果の大きい住宅建設事業を減らした理由、既設公営住宅の建てかえの進め方、道の持ち家建設促進

特別対策資金貸付金制度の融資限度額引上げの考え、住宅金融公庫の融資限度額の引上げと償還期間の延長についての要望方、持ち家建設に係る用地取得費に低利、長期の融資制度創設の考え等について

質問があり、知事から答弁。工藤議員から再質問、知事から答弁があって、議事進行の都合により午後零時37分休憩、午後3時27分再開し、諸般の報告（知事から提出のあった議案第77号）の後、質疑並びに一般質問を継続、

柳谷 正一議員（公明）から、①福祉医療問題に関し、社会福祉長期計画に基づく保育所整備計画達成の見通し、今後の社会情勢の変動に伴う保育需要の増大への対応策、現行の保育所基準に対する所見、乳児及び障害児保育の充実への今後の対策と将来展望、無資格保母の解消対策、保母の研修強化の必要性、成人病対策について、循環器疾患の患者数とリハビリテーション施設の整備状況及び今後の対処策、循環器疾患対策の体系づくりの進め方、がん検診のこれまでの実績と結果及び他府県の検診体制、保健所及び道立病院等の活用を含めがん検診体制確立の考え方、医療施設整備の進め方、道立小児総合保健センターの整備強化の考え方、

②不況対策に関し、造船業及び関連下請企業の受注拡大のための具体的方策並びに新分野の開拓についての考え方、造船関連下請企業に対する金融対策、造船業関連離職者の雇用対策、

③水産問題に関し、本道近海における韓国漁船の操業問題について、被害漁民の実態と当面とるべき措置、取り締まり体制の現状と今後の強化策、日韓漁業協定及び漁業被害救済対策の実現見通し、韓国漁船に対する200海里水域法適用除外に対する見解等について

質問があり、知事から答弁。柳谷議員から再質問、知事から答弁の後、議事進行の都合により日程第1及び日程第2の議事を中止。ついで、日程に追加し、議案第77号を議題とすることをはかり、異議なくそのことに決定の後、直ちに追加日程議案第77号を議題とし、知事から提出議案に関する説明。

次に、日程第1及び日程第2にあわせ、追加日程を一括議題とし、質疑並びに一般質問を終結。

ついで、伊藤知則議員（自民）から、予算に関する案件について、本議会に52人からなる予算特別委員会を設置し、これらの案件を付託のうえ審査されたいとの動議が提出され、賛成あって動議成立、これをはかって異議

なくそのことに決定し、次の委員を議長指名（配付名簿のとおり）により選任のうえ、議案第1号ないし第17号第19号、第36号、第40号ないし第52号、第60号ないし第67号、第73号及び第77号を予算特別委員会に付託した。

次に、議案第54号については、総合開発調査特別委員会に、議案第76号については、公害対策特別委員会に付託することに決定の後、残余の案件について、議案第18号、第20号ないし第22号、第35号、第37号ないし第39号第53号、第68号及び第70号ないし第72号は総務委員会に議案第23号ないし第28号は厚生委員会に、議案第29号及び第55号ないし第59号は建設委員会に、議案第30号は農地開発委員会に、議案第31号ないし第34号、第69号、第74号、第75号及び報告第1号は文教林務委員会にそれぞれ付託して、午後4時40分散会。

#### ○予算特別委員

青木 延 男（社会）	米田 忠 雄（自民）
一野坪 勉（社会）	和田 勝 之（自民）
青山 正 男（自民）	伊藤 知 則（自民）
石山 直 行（自民）	岩本 政 光（自民）
岩田 德 弥（自民）	村本 三 郎（道政）
岩本 允（自民）	小笠原 孝（自民）
伊藤 豪（道政）	小沢 栄 吉（自民）
木村 喜 八（道政）	工藤 万砂美（自民）
松崎 義 雄（道政）	高木 正 明（自民）
川口 常 人（自民）	武部 勤（自民）
佐々木 利 昭（自民）	藤井 猛（自民）
佐藤 静 雄（自民）	水沼 徳一郎（自民）
高木 繁 光（自民）	村上 彗 明（自民）
寺崎 政 朝（自民）	吉田 政 一（自民）
中崎 昭 一（自民）	東 典 俊（自民）
岩崎 守 男（社会）	阿部 恵三男（自民）
渋谷 澄 夫（社会）	藤井 虎 雄（社会）
工藤 啓 二（公明）	星野 健 三（社会）
牧野 唯 司（公明）	山家 勇（社会）
柳谷 正 一（公明）	湯本 芳 志（社会）
舟山 広 治（社会）	本間 喜代人（共産）
吉田 英 治（社会）	砂原 清 治（社会）
池島 信 吉（社会）	野中 富 雄（社会）
中田 繁 夫（社会）	三上 勇（自民）
林 勝（自民）	天谷 平 信（自民）
平野 明 彦（自民）	堀田 毅（自民）

○3月15日（水） 午後4時9分開議、議事進行の都合に

よりあらかじめ会議時間を延長のうえ、午後4時10分休憩、午後5時53分再開。諸般の報告（予算特別委員会正副委員長の当選報告、高橋正四郎議員、西尾六七議員、高橋賢一議員の公害対策特別委員辞任許可、議案審査の結果報告、議案第60号及び第66号に関する修正動議の提出、議員から提出のあった意見案第2号、請願第214号ないし第217号の関係委員会付託、本日の会議録署名議員）の後、日程第1特別委員補欠選任の件を議題とし、異議なく岩本允議員（自民）、川口常人議員（自民）及び和田勝之議員（自民）を公害対策特別委員に補欠選任することに決定。

次に、日程第2議案第60号ないし第67号、第73号及び第77号を議題とし、堀田毅予算特別委員長（自民）から、委員会における審査の経過と結果について報告の後、舟山広治議員（社会）ほか34人から提出の議案第60号及び第66号に関する修正案について説明を行い、直ちに採決に入り、まず、議案第60号及び第66号に関する修正案を問題とし、起立採決の結果、起立少数（自民、道政反対）をもってこれを否決。次に、議案第60号及び第66号に関する修正案に係る原案部分を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。ついで、議案第60号及び第66号のうち、すでに決定した部分を除く残余の部分を問題とし、異議なく委員長報告のとおり原案可決。次に、日程第2のうち、残余の議案第61号ないし第65号、第67号、第73号及び第77号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり原案可決。

ついで、日程第3議案第72号、第74号、第75号及び報告第1号を議題とし、吉田英治総務副委員長（社会）から議案第72号について、野村権作文教林務副委員長（自民）から議案第74号、第75号及び報告第1号について、それぞれ委員会における審査の経過と結果について報告の後、異議なくいずれも委員長報告のとおり原案可決又は承認議決。

次に、日程第4意見案第2号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。

次に、各委員会付託議案審査のための休会については、異議なく3月16日から3月27日まで休会し、3月28日再開することを決定して、午後6時12分散会。

## 予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました案件のうち、ただいま議題となりました議案第60号ないし第67号、第73号及び第77号につきまして、その審査の経過と結果につきまして御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、3月14日設置され、今次

提案にかかわる昭和53年度各会計予算及び関連議案を含め32件並びに昭和52年度各会計補正予算等10件が付託されたのでありますが、本委員会といたしましては、同日、直ちに正、副委員長の互選を行いますとともに、議案審査の方法等について協議いたしました結果、ただいま議題となっております昭和52年度各会計補正予算及び関連議案につきましては、年度末も切迫しておりますことから、これを先議することに決定し、残余の案件につきましては、分科会方式により審査を行うこととし、3分科会の設置を決定した次第であります。

しかし、昭和52年度各会計補正予算及び関連議案につきましては、本日、委員会を開き、慎重に審議を行った次第であります。質疑の主なものを申し上げますと、

昭和52年度最終補正予算の基本的考え方と財政の見通し、小児総合保健センターの経費減額の理由と今後の見通し、物価安定資金の活用と設備資金貸付条件緩和の考え方、苫小牧東部工業基地関連住宅団地に係る諸問題、体育施設利用の基本的考え方、精養護護学校の新設費減額の理由と開設の見通し、新千歳空港用地の再買収に対する見解、除雪の実態と今後の考え方及び人身事故防止のための安全対策特別豪雪地帯の指定基準に対する見解、苫小牧港西埠頭岸壁工事の変位に係る問題、公共事業における労務賃金適正化に対する考え方、老人医療費無料化の拡大と市町村の国保財政に対する助成のあり方、道財政運営の基本的な考え方と市町村単独事業に対する助成のあり方、など予算編成及び道政執行上の諸問題について活発な論議が交わされた次第であります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図ってまいりましたが、議案第60号及び第66号につきましては、意見の一致を見るに至らず、本日の委員会において舟山広治君外17人から修正案が提出せられ、採決の結果、少数をもって否決、したがって、議案第60号及び第66号は、原案可決、その他の案件、議案第61号ないし第65号、第67号、第73号及び第77号は、全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、議案第60号及び第66号につきましては、少数意見が留保されておりますことを申し添えます。

以上、本委員会において先議いたしました議案の審査経過と結果を申し上げた次第であります。昭和53年度各会計予算及びこれに関連する議案につきましては、今後、速やかに審査を行い、後日、御報告申し上げたいと存じます。これをもって、私の報告を終ります。

○3月28日（火） 午後4時37分開議、諸般の報告（本日の会議録署名議員）の後、日程第1請願、陳情審査の件を議題とし、委員長報告を省略のうえ、異議なく委員会決定（採択8件）のとおり決定して、午後4時38分散会。

○3月29日(水) 午後4時10分開議、議事進行の都合によりあらかじめ会議時間を延長のうえ、午後4時11分休憩、午後9時42分再開、諸般の報告(議案及び請願審査の結果報告、議案第1号、第14号及び第16号について撤回の上、組替えを求めるとともに、議案第18号、第32号、第39号及び第41号の撤回を求める動議提出、議員から提出のあった意見案第3号ないし第7号、監査結果報告、議案第76号並びに前会より継続審査中の報告第1号について閉会中継続審査の申し出、請願第218号ないし第221号の関係委員会付託、請願・陳情の閉会中継続審査、閉会中事務調査の申し出、本日の会議録署名議員)の後、**日程第1議案第1号ないし第59号及び第68号ないし第71号**を議題とし、堀田毅予算特別委員長(自民)から議案第1号ないし第17号、第19号、第36号、第40号ないし第52号について、藤井猛総務委員長(自民)から議案第18号、第20号ないし第22号、第35号、第37号ないし第39号、第53号、第68号、第70号及び第71号について、村上彝明厚生委員長(自民)から議案第23号ないし第28号について、小沢栄吉建設委員長(自民)から議案第29号、第55号ないし第59号について、小野秀夫農地開発委員長(道政)から議案第30号について、原清重文教林務委員長(社会)から議案第31号ないし第34号及び第69号について、三上勇総合開発調査特別委員長(自民)から議案第54号について、それぞれ委員会における審査の経過及び結果について報告の後、湯本芳志議員(社会)ほか25人から提出の**議案第1号、第14号及び第16号**について撤回し、組替えのうえ再提出を求めるとともに、**議案第18号、第32号、第39号及び第41号**の撤回を求める動議について説明を行い討論に入り、伊藤知則議員(自民)から動議に反対、一野坪勉議員(社会)から動議に賛成、工藤啓二議員(公明)から議案第1号、第18号、第32号及び第39号に反対、本間喜代人議員(共産)から議案第1号、第14号ないし第18号、第32号、第39号、第41号、第68号ないし第71号に反対並びに動議に賛成の討論があって、採決に入り、湯本芳志議員ほか25人提出の動議を問題とし、起立採決の結果、起立少数(自民、道政、公明反対)をもってこれを否決。次に、議案第1号、第18号、第32号及び第39号を問題とし、起立採決の結果、起立多数(社会、公明、共産反対)をもって委員長報告のとおり原案可決。ついで、議案第14号、第16号及び第41号を問題とし、起立採決の結果、起立多数(社会、共産反対)をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第15号、第17号及び第68号ないし第71号を問題とし、起立採決の結果、起立多数(共産反対)をもって委員長報告のとおり原案可決。ついで、議案第2号ないし第13号、第19号ないし第31号、第33号ないし第38号、第40号及び第42号ないし第59号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり原案可決。

次に、**日程第2有珠山噴火災害対策に関する件**を議題とし、高橋辰夫有珠山噴火災害対策特別委員長(自民)から中間報告。

次に、**日程第3意見案第3号ないし第7号**を議題とし提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なくいずれも原案可決。

次に、**日程第4請願審査の件**を議題とし、委員長報告を省略のうえ、異議なくいずれも委員会決定(採択2件)のとおり決定。

次に、**閉会中議案第76号及び前会より継続審査中の報告第1号継続審査の件**について、異議なく公害対策特別委員長及び決算特別委員長から申し出のとおり閉会中継続審査に付することに決定。

次に、**閉会中請願・陳情継続審査及び事務調査の件**を議題とし、異議なく各常任委員長及び総合開発調査特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査又は調査に付することに決定して、議案第76号及び前会より継続審査中の報告第1号を除きすべて議了。佐々木豊議長から閉会のあいさつがあって、午後11時25分閉会。

## 予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案のうち、さきに御報告申し上げました先議案件を除く議案第1号ないし第17号、第19号、第36号及び第40号ないし第52号の32件につきまして、審査の経過と結果について御報告申し上げます。

これらの議案審査の方法等につきましては、去る3月14日の委員会におきまして協議の結果、各部所管に対する審査については分科会方式により、これを行うこととし、直ちに3分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、直ちに分科正、副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長伊藤知則君副委員長渋谷澄夫君、第2分科会は、委員長舟山広治君、副委員長石山直行君、第3分科会は、委員長工藤万砂美君副委員長野中富雄君を選出するとともに、審査の方法等について協議を行い、17日から各部所管の審査に入り、27日をもって一切の質疑を終了し、28日の委員会において、各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

御承知のとおり、今回付託されました案件は、昭和53年度一般会計及び特別会計を合わせ、総額1兆2,474億3,741万円余りに及ぶ予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に道政各般にわたり熱心な質疑応答が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます

本委員会におきましては、引き続き各分科会において質疑保留となった事項につきまして、昨日、総括質疑を行い、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。その総括質疑の事項について申し上げますと、

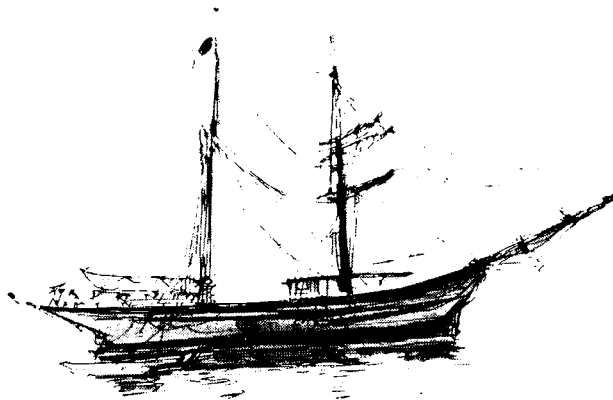
工事の発注にかかわる諸問題。縁故債発行にかかわる諸問題。老人医療にかかわる問題。道内営林局、署の統廃合に対する考え方。失業多発地帯雇用特別措置法の制定に対する見解。建設工事執行規則の改正についての考え方。などであります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして各案件について意見の調整を図ってまいりましたが、議案第1号、第14号ないし第17号及び第41号につきましては、意見の一致を見るに至らず、本日の委員会におきまして、湯本芳志君外13人から、議案第1号、第14号、第16号及び第41号につきましては、撤回並びに組み替えの上、再提出を求める動議が提出され、採決の結果、賛成者少数をもって否決せられ、議案第1号、第14号ないし第17号及び第41号につきましては、採決の結果、賛成者多数をもって原案可決、残余の議案第2号ないし第13号、第19号、第36号、第40号及び第42号ないし第52号につきましては、全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、議案第1号、第14号、第16号及び第41号につきましては、少数意見が留保されていることを申し添えます。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げたのでありますが、委員各位におかれましては、連日、慎重かつ御熱心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終わります。



## 第1回定例道議会において知事から提出のあった案件

### 議 案

提出月日	番号	件 名	付 託 委 員 会	議決月日	議事結果
2. 25	1	昭和53年度北海道一般会計予算	予算特別	3. 29	原案可決
同	2	昭和53年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計予算	同	同	同
同	3	昭和53年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	4	昭和53年度北海道寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	5	昭和53年度北海道小児総合保健センター事業特別会計予算	同	同	同
同	6	昭和53年度北海道農業改良資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	7	昭和53年度北海道林業改善資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	8	昭和53年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	9	昭和53年度北海道大麻団地開発事業特別会計予算	同	同	同
同	10	昭和53年度北海道地方競馬特別会計予算	同	同	同
同	11	昭和53年度北海道病院事業会計予算	同	同	同
同	12	昭和53年度北海道有林野事業会計予算	同	同	同
同	13	昭和53年度北海道北広島団地開発事業会計予算	同	同	同
同	14	昭和53年度北海道工業団地開発事業会計予算	同	同	同
同	15	昭和53年度北海道電気事業会計予算	同	同	同
同	16	昭和53年度北海道工業用水道事業会計予算	同	同	同
同	17	昭和53年度北海道有料道路事業会計予算	同	同	同
同	18	札幌医科大学条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	19	北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	同	同
同	20	北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	21	北海道土地開発基金条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	22	北海道空港条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	23	北海道青少年保護育成条例の一部を改正する条例案	厚 生	同	同
同	24	北海道保母修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	25	北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	26	北海道看護職員養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	27	精神衛生医鑑定医の報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	28	公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	29	北海道立都市公園条例の一部を改正する条例案	建 設	同	同
同	30	北海道有土地改良財産の譲与に関する条例の一部を改正する条例案	農地開発	同	同
同	31	北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	32	北海道高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	33	北海道公立高等学校生徒学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同

提出月日	番号	件名	付委託員託会	議決月日	議事結果
2. 25	34	北海道公立高等学校定時制課程及び通信制課程生徒学資金貸付条例の一部を改正する条例案	文教林務	3. 29	原案可決
同	35	北海道警察組織条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	36	北海道地方警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	同	同
同	37	北海道交通巡視員に対する被服支給及び装備品の貸与に関する条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	38	北海道公安委員会及び方面公安委員会の行なう許可等に関する手数料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	39	北海道自動車保管場所証明手数料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	40	財団法人北方圏交流基金（仮称）に対する出資の件	予算特別	同	同
同	41	石狩開発株式会社に対する出資の件	同	同	同
同	42	財団法人北海道ボランティア振興協会（仮称）に対する出資の件	同	同	同
同	43	石狩東部広域水道企業団に対する出資の件	同	同	同
同	44	北海道信用保証協会に対する出資の件	同	同	同
同	45	社団法人北海道中小企業振興基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	46	財団法人北海道農業開発公社に対する出資の件	同	同	同
同	47	社団法人北海道指定野菜価格安定基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	48	社団法人日本食肉格付協会に対する出資の件	同	同	同
同	49	社団法人北海道家畜産物衛生指導協会に対する出資の件	同	同	同
同	50	北海道漁業信用基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	51	漁業共済基金に対する出資の件	同	同	同
同	52	宝くじの発売に関する件	同	同	同
同	53	礼文空港（第3種空港）の設置及び管理に関する協議の件	総務	同	同
同	54	鹿ノ子ダムの建設に関する基本計画に対する意見の件	総合開発特別	同	同
同	55	北海道公営住宅のうち福祉住宅及び共同施設（集会所に限る）並びに北海道寡婦住宅に関する災害共済委託の件	建設	同	同
同	56	財産の処分（建物・釧路市武佐4丁目）に関する件	同	同	同
同	57	財産の処分（建物・苫小牧市字錦岡）に関する件	同	同	同
同	58	財産の処分（建物・小樽市最上2丁目）に関する件	同	同	同
同	59	財産の処分（建物・室蘭市東町4丁目）に関する件	同	同	同
3. 13	60	昭和52年度北海道一般会計補正予算（第12号）	予算特別	3. 15	同
同	61	昭和52年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第3号）	同	同	同
同	62	昭和52年度北海道小児総合保健センター事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	63	昭和52年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	64	昭和52年度北海道有林野事業会計補正予算（第5号）	同	同	同
同	65	昭和52年度北海道北広島閉地開発事業会計補正予算（第4号）	同	同	同
同	66	昭和52年度北海道工業団地開発事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	67	昭和52年度北海道電気事業会計補正予算（第4号）	同	同	同
同	68	北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	総務	3. 29	同
同	69	北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同



提出月日	番号	件名	付委員託会	議決月日	議事結果
3. 13	70	北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	総務	3. 29	原案可決
同	71	北海道職員等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	72	育児休業の許可を受けた職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案	同	3. 15	同
同	73	北海道信用保証協会に対する出資の件	予算特別	同	同
同	74	財産取得（土地、日梨郡羅臼礼文町9番3ほか4筆）に関する件	文教林務	同	同
同	75	財産取得（北海道札幌市白石高等学校ほか16校の用に供する土地）に関する件	同	同	同
同	76	北海道環境影響評価条例案	公害対策特別	3. 29	継続審査
同	77	昭和52年度北海道一般会計補正予算（第13号）	予算特別	3. 15	原案可決

## 報 告

提出月日	番号	件名	付委員託会	議決月日	議事結果
2. 25	1	専決処分報告につき承認を求める件〔財産の取得に関する件（札幌市東区東苗穂町882番1ほか12筆）1月11日専決処分〕	文教林務	3. 15	承認議決
同	2	専決処分報告の件〔損害賠償の決定1月12日4件、1月13日3件、1月24日1件、2月4日3件専決処分〕			報告のみ

## 前会から継続審査中の案件

## 報 告

提出月日	番号	件名	付委員託会	議決月日	議事結果
52.12.9	1	昭和51年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	3. 29	継続審査

## 議員から提出のあった案件

## 意見案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
2. 25	1	昭和53年度の畜産物価格等に関する要望意見書	大平秀雄君ほか 11人	2. 25	原案可決
3. 15	2	日ソ漁業協力協定交渉の促進に関する要望意見書	吉田政一君ほか 12人	3. 15	同
3. 29	3	乳幼児医療費公費負担制度の確立に関する要望意見書	村上舜明君ほか 9人	3. 29	同
同	4	筋拘縮症患者の医療給付制度の拡充に関する要望意見書	同	同	同
同	5	国鉄貨物取扱駅集約化計画の実施に関する要望意見書	藤井 猛君ほか 11人	同	同
同	6	北海道新幹線鉄道等の整備促進に関する要望意見書	三上 勇君ほか 25人	同	同
同	7	千歳空港国際化促進に関する要望意見書	同	同	同

## 修正動議

提出月日	件名	提出者	議決月日	議事結果
3. 15	議案第60号昭和52年度北海道一般会計補正予算（第12号） 議案第66号昭和52年度北海道工業団地開発事業会計補正予算（第1号）に関する修正動議	舟山広治君ほか 34人	3. 15	否 決

主な動議

提出月日	件名	提出者	議決月日	議事結果
3. 29	議案第1号昭和53年度北海道一般会計予算、議案第14号昭和53年度北海道工業団地開発事業会計予算及び議案第16号昭和53年度北海道工業用水道事業会計予算については撤回し、組替えのうえ再提出を求めるとともに、議案第18号札幌医科大学条例の一部を改正する条例案、議案第32号北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例案、議案第39号北海道自動車保管場所証明手数料条例の一部を改正する条例案及び議案第41号石狩開発株式会社に対する出資の件については撤回を求める動議	湯本芳志君ほか 25人	3. 29	否 決

# 意見書

## 意見案第1号

(大平秀雄君ほか11人提出)  
2月25日 原案可決

### 昭和53年度の畜産物価格等に関する要望意見書

国は「農産物の需要と生産の長期見通し」をもとに食糧自給率の向上を図ることとしているが、この目標を達成するためには、価格対策を始め諸般の施策の充実が重要な課題である。

特に、本道の畜産は寒地農業の柱として重要な地位を占めており、またわが国における最大の家畜畜産物の供給基地としてその重要性は益々増大している。

しかるに、酪農・畜産をめぐる情勢は農畜産物の輸入拡大等の外圧が強まるなど誠に厳しいものがあるので畜産農家の経営の安定を図るため、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

#### 記

#### 1. 昭和53年度の畜産物価格について

##### (1) 適正な加工原料乳保証価格の実現について

最近における本道の酪農は、経営合理化の進展、生産資材価格の鎮静化など一部に明るい面はあるが依然として厳しい環境にあるので、加工原料乳保証価格の決定に当たっては、第三次酪農近代化計画の円滑な推進を図り酪農の安定的発展を期し得る適正な価格となるよう措置すること。

##### (2) 指定食肉の安定価格について

本道の肉畜は、計画的な出荷体制の整備の進展と生産資材価格等の安定的な推移によって生産条件が改善されたこと、また、畜産農家の懸命な努力とが相まってようやく生産も上昇の傾向を示しているが、畜産農家の経営はなお厳しい情勢にあるので、指定食肉の安定価格の設定に当たっては、再生産が確保し得る適正な価格とすること。

#### 2. 加工原料乳限度数量枠の拡大等について

最近の生乳生産は酪農家の努力などにより順調に推移しており、52年度の限度数量枠を相当超過する見通しにあるが、加工原料乳地帯である本道酪農の健全な発展を期するため生産された全量に対し、補給金の交付などの措置を講ずること。

また、53年度も長期計画に即して生産の増加が期待されるので、加工原料乳限度数量の枠の設定にあたっては、生産並びに需要動向に即した適切な枠を設定すること。

#### 3. 畜産物の輸入抑制について

畜産物については、国内生産の実態から一部を輸入に依存せざるを得ない実情にあるが畜産農家の経営安定と生産意欲の向上を図り、畜産物の安定的供給体制を確立するため、牛肉、乳製品等畜産物の輸入に当たっては、畜産農家の経営に影響を来さないよう十分配慮すること。

#### 4. 畜産物の消費拡大について

食肉・牛乳・乳製品等の畜産物については、栄養価に富み、国民の食生活の改善のうえからも極めて重要な食品であり、かつ潜在需要が多いので新規需要の開発を含め消費拡大の施策を強化すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年 月 日

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通  
農林大臣

意見案第2号

(吉田政一君ほか12人提出)  
3月15日 原案可決

日ソ漁業協力協定交渉の促進に関する要望意見書

日ソ漁業暫定協定及び長期協定により、北洋漁業は大巾な漁業規制を受け、漁業はもとより水産加工業をはじめ水産関連産業あるいは、地域社会の経済に混乱をもたらし、本道関係者はこれに対応策の確立に懸命な努力を重ねているところである。

しかしながら、きたる4月末には20有余年続いた日ソ漁業条約がソ連側からの破棄通告により失効することになっている。

このたび、新たに北西太平洋における漁業資源の保存増大と最適利用をねらいとする日ソ漁業協力協定交渉がモスクワにおいて行われているところである。

とくに、本道漁業の中でも重要なさけ、ます漁業について、ソ連側から海上操業抑止という提案がなされており、交渉の結果によっては、本道の漁業及び関連産業に大きな影響を及ぼすものであり、関係漁業者はもとより全道民がこの交渉の成り行きに重大な関心を寄せている。

従って、今次交渉においては、多年にわたって築きあげてきた北洋さけ、ます漁業の実績を確保し、従来どおりの操業が出来得る様最善の努力をされたく要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年 月 日

北海道議会議長 佐々木 豊

内閣総理大臣、外務大臣 } 各通  
農林大臣

意見案第3号

(村上幹明君ほか9人提出)  
3月29日 原案可決

乳幼児医療費負担制度の確立に関する要望意見書

乳幼児の健康の保持及び増進を図るため、母子保健の理念に基づき、保健指導、健康診査等の施策が行われているところである。

一方乳幼児期の疾患が将来に及ぼす影響の大きいことから、その早期治療の促進、更に医療費負担の軽減を図るため、北海道では、昭和48年度から、3歳未満児の医療費の無料化を実施してきたところである。

しかしながら、乳幼児の健全育成は、国の施策にまつところが大きいので、国において乳幼児医療費公費負担制度の確立と必要な財政措置を早期に講ぜられるよう要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年 月 日

北海道議会議長 佐々木 豊

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通  
厚生大臣

#### 意見案第4号

(村上馨明君ほか9人提出)  
3月29日 原案可決

#### 筋拘縮症患者の医療給付制度の拡充に関する要望意見書

筋拘縮症患者の医療費は、児童福祉法に基づく育成医療制度の適用があるが、所得、年齢給付内容等に制限があるので、筋拘縮症に適應した制度内容に拡充するなど、患者が安心して必要な医療が受けられるよう、次の事項について所要の措置を講ぜられるよう要望する。

記

1. 育成医療費の所得制限を緩和し、年齢制限を撤廃すること。
2. 手術後の傷跡、ケロイド等の形成外科の費用を給付の対象とすること。
3. 筋拘縮症に適合した、治療方法の研究開発を促進すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年 月 日

北海道議会議長 佐々木 豊

内閣総理大臣、大蔵大臣、  
厚生大臣 } 各通

#### 意見案第5号

(藤井 猛君ほか11人提出)  
3月29日 原案可決

#### 国鉄貨物取扱駅集約化計画の実施に関する要望意見書

道内の国鉄は、これまで本道の開発に大きく寄与しており、今後とも道内各地域の均衡のある発展を推進するうえで、その整備促進は、不可欠の要件である。

国鉄は、昨年8月にも、52.53年度計画として道内の111駅の貨物取扱廃止を決めておりこれらの合理化が終了すると取扱駅は、計画実施前の3分の1、130駅となり全国の取扱廃止駅の37パーセントが本道に集中されることになる。

したがって、道内の貨物輸送体系は大きく変わることとなり、荷主や地域に与える影響、とりわけ、一次産業を基軸とする本道の産業振興に与える影響は極めて大きいものがある。

よって、政府並びに関係当局においては、本道において国鉄の果す役割の重要性を認識され、計画の実施に当っては、地域住民の意向について十分配慮されるとともに、国鉄貨物輸送がより積極的に活用されるよう措置することを強く要望するものである。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年 月 日

北海道議会議長 佐々木 豊

内閣総理大臣、大蔵大臣、運輸大臣、  
自治大臣 } 各通

#### 意見案第6号

(三上 勇君ほか25人提出)  
3月29日 原案可決

#### 北海道新幹線鉄道等の整備に関する要望意見書

1. 我が国の北端に位置する本道にとって、国土の骨格的交通体系を形成する北海道新幹線鉄道の建設は、極めて重要な課題であり、青函トンネルの建設促進とあわせて早期に実現させる必要がある。

2. 面積広大な本道において、道民生活の向上、産業経済の振興をはかるためには、複線化電化など本来線の近代化をすすめるとともに、既設路線の短絡化など新線建設を促進する必要がある。

よって、政府並びに関係当局においては本道における国鉄の果たす役割の重要性を認識され、北海道新幹線鉄道等の整備促進について特段の御配慮を賜りたく要望するものである。右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年 月 日

北海道議会議長 佐々木 豊

内閣総理大臣、大蔵大臣、運輸大臣 } 各通  
自治大臣、国土庁長官

### 意見案第7号

(三上 勇君ほか25人提出)  
3月29日 原案可決)

#### 千歳空港国際化促進に関する要望意見書

近年、本道においても、北方圏をはじめ諸外国との交流が活発化してきているが、道内に国際空港がないため、道民の海外交流は、本州の国際空港を利用せざるを得ない実情にあるので、騒音公害対策の強化などに配慮し、すみやかに千歳空港の国際化を実現されるよう強く要望する。

(理 由)

海外交流の拠点となる国際空港は、東京以南に偏在している現況にあるので、早急に千歳空港を国際化することによってその偏在を是正し、本道における国際交流、特に北方圏交流の拠点を確立するとともに、道民の時間的経済的負担の軽減を図る必要がある。

よって、政府並びに関係機関は、本道における国際空港の必要性を十分に認識され、すみやかに千歳空港の国際化を実現されるよう強く要望するものである。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年 月 日

北海道議会議長 佐々木 豊

内閣総理大臣、法務大臣、大蔵大臣 } 各通  
厚生大臣、農林大臣、運輸大臣  
自治大臣、防衛庁長官

## 請 願 ・ 陳 情

① 今期定例会において常任・特別委員会に付託された請願・陳情は次のとおりである。

### 請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
210	北海道月形高等学校校舎改築に関する件	北海道月形高等学校校舎改築期成会 会長 福居 憲吾	文教林務	継続審査
211	私学教育の充実のための大幅な公費助成に関する件	北海道私立学校教職員組合 中央執行委員長 泉 脩	同	同
212	函館市湯浜町沖さけ定置網参加に関する件	函館市湯川町1丁目2の21 湯浜漁業水産育成部会 代表 渡辺 新一	水 産	同
213	さけ定置網設置に関する件	釧路郡釧路村大字仙鳳趾村字重 蘭窮29番地3号 木村 徳美ほか4人	同	同
214	真駒内地区の地域暖房事業の助成に関する件	札幌市南区真駒内緑町3丁目 五輪団地暖房対策委員会 代表 岩切 暹八	建 設	同
215	65歳以上の老人の医療費無料化の件	札幌市中央区南大通り西12丁目 北海道高等学校教職員組合 中央執行委員長 斎藤 敏夫	厚 生	同
216	北海道立農業大学校分校設置に関する件	空知管内総合開発期成会々長 岩見沢市長 国兼孝治ほか3人	農 務	同
217	営林局・署廃止・機構縮小に反対し、道民のための国有林経営を求める件	営林局・署廃止機構縮小反対北 海道共闘会議議長小納谷幸一郎	文教林務	同
218	道民の生活を守り、道財政の危機打開に関する件	北海道高等学校教職員組合 中央執行委員長 斎藤 敏夫	総 務	同
219	道民の生活を守り、道財政の危機打開に関する件	北海道高等学校教職員組合 中央執行委員長 斎藤 敏夫	文教林務	同
220	市立名寄女子短期大学への道費助成に関する件	名寄女子短期大学内 名寄女子短期大学に道費助成を 進める会 代表 芝田 和子	総 務	同
221	元号の法制化反対に関する件	札幌市南区真駒内泉町2丁目1の6 牧野富士男ほか2人	同	同

② 継続審査中のものであって、今期定例会において採否の決定があったもの。

### 請 願

文書表 番 号	件 名	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
108	医療費の全面無料化に関する件	厚 生	採 択
168	健康保険の改定に反対する件	同	議決不要
176	小型漁船乗組員の船員保険適用範囲拡大に関する件	同	採 択
189	パーキンソン病を道の特定疾患（難病）に指定することに関する件	同	同
197	視力障害者の職域である。はり、きゆう、あん摩、マッサージ、指圧の業権確保に関する件	同	同
79	べルイ川の改修など富良野地方の治山・治水対策の推進に関する件	農 務	同
151	豚直接検定の実施に関する件	同	同
190	さけ、ます増殖拡大事業の実施に関する件	水 産	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会	審査の結果
95	教員採用に関する件	文教林務	取り下げ
133	教員希望者全員採用実現教育予算大幅増に関する件	同	同
143	北海道旭川商業高等学校の校舎改築に関する件	同	採 択
153	教員採用に関する件	同	取り下げ
159	私学教員の充実のために大幅な公費助成の件	同	同
194	道立羽幌高等学校早期改築に関する件	同	採 択

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会	審査の結果
14	重度身障者療護施設設置の件	厚生	採 択

③ 更に継続審査されるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
27	家庭用灯油の値上げに反対の件	総 務
50	灯、重油の離島価格を解消するための緊急対策として燃料油の海上輸送運賃助成を求める件	同
56	藤野地区に警察官駐在所設置に関する件	同
57	伊達火発パイプラインを市街化区域の崎守町市街地の中央を通さないことを求める件	同
70	灯、重油の離島価格を解消するため緊急対策として海上輸送運賃助成を求める件	同
121	国鉄運賃等公共料金値上げ反対に関する件	同
134	千歳警察署庁舎建替えに関する件	同
160	信号機設置に関する件	同
172	積雪、寒冷地特別控除制度の新設に関する件	同
205	業者婦人の地位向上、健康と母性を守る件	同
207	元号法制化促進に関する件	同
18	地域医療センター病院指定の件	厚 生
35	へき地医療センター設置の件	同
46	スモン対策に関する件	同
49	家庭用灯油値上げ反対の件	同
59	インフレ、不況に伴い低所得者学童などにおける教育、福祉制度の拡充に関する件	同
60	インフレ、不況に伴い低所得者、年金生活者などの冬期燃料の確保に関する件	同
127	社会保険等診療報酬の概算払に関する件	同
136	風疹から婦人と子どもを守る対策を要求する件	同
144	道内看護学生の修学資金貸付制度改善に関する件	同
148	家庭用灯油とプロパンガスの値上げ反対に関する件	同



文書表 番 号	件 名	付託委員会
155	道内の民間社会福祉対策改善に関する件	厚 生
162	稚内保健所の支所設置に関する件	同
198	北海道中央市民生活協同組合の留萌進出反対の件	同
201	精神障害者社会復帰訓練施設を江別保健所に設置の件	同
204	業者婦人の地位向上、健康と母性を守る件	同
206	老人医療無料化制度の改善を求める件	同
61	インフレ、不況に伴い低所得者年金生活者などの冬期燃料の確保に関する件	商 工 労 働
100	雇用保険法改正に関する件	同
122	北海道電力の料金値上げに反対の件	同
131	中小企業事業分野確保法の制定に関する件	同
147	家庭用灯油とプロパンガスの値上げに関する件	同
167	季節労働者に対する雇用保険90日給付回復・関係業者の雇用安定仕事確保に関する件	同
170	季節労働者に対する地元就労事業の確保と雇用保険「90日支給」の復活に関する件	同
175	有料道路通行料の減免に関する件	同
181	競輪場誘致に反対するの件	同
203	北海道大型店舗出店調整条例（または指導要綱）早期制定施行に関する件	同
71	畑作後進地域等道費補助上おき削減の復活に関する件	農 務
126	伊達火発パイプライン敷設反対の件	同
202	米の第2次生産調整のおしつけに反対し地域農業の振興と農家経営の安定・自主的発展を求める件	同
209	昭和53年度水田転換面積及び事前売渡し申込み限度数量再配分による適正化に関する件	同
29	市街化区域編入の件	建 設
37	大型車輛の団地内通り抜け防止のための代替道路整備の件	同
38	北区新川西町内の一部を市街化区域編入の件	同
80	べべルイ川の改修など富良野地方の治山、治水対策の推進に関する件	同
94	北区屯田地区の市街化区域編入の件	同
130	国土開発幹線自動車道の路線変更の件（外1件）	同
140	道産カラマツ材の住宅構造用パネル枠材としての利用に関する件	同
152	真駒内地区暖房料金の値上げ反対に関する件	同
156	札幌市東区光星地区における北海道熱供給公社の熱料金値上げ反対に関する件	同
161	道営住宅家賃の値上げをとりやめ、住宅の補修・改修と改築などの促進に関する件	同
163	道営北広島団地地域暖房料金の値上げ抑止に関する件	同
165	道営住宅家賃の大幅値上げをとりやめ、住宅の修理改築の要求に関する件	同
171	道営住宅家賃値上げ実施の延期と住宅の修繕及び環境整備の促進に関する件	同
174	北海道公営住宅家賃の是正に関する件	同
175	島崎川の水害防止工事に関する件	同

文書番号	件名	付託委員会
177	中沼団地地区の市街化区域編入に関する件	建設
185	道道浦河大樹線の改修に関する件	同
208	大麻団地内に体育館建設の件	同
114	秋さけ漁業調整に関する件	水産
115	さけ刺網漁業の認可に関する件	同
7	釧路市に公立普通高校の新設、小学区制の回復（釧路市での総合選抜制）、私立高校生への授業料補助等に関する件	文教林務
19	正規の資格をもった教員希望者の全員採用に関する件	同
30	宿日直の待遇改善に関する件	同
41	標茶町に道立普通科高校設置に関する件	同
42	標茶町に公立普通科間口の新設促進に関する件	同
44	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学への大幅な公費助成に関する件	同
45	小樽市における全日制公立普通高校の新増設、小学区制回復、私学への大幅助成に関する件	同
58	インフレ、不況に伴い低所得者学卒などにおける教育、福祉制度の拡充に関する件	同
74	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学への大幅な公費助成に関する件	同
76	北海道浜益高等学校改築に関する件	同
93	非常勤講師の待遇改善に関する件	同
96	学費値上げをやめさせ、父母負担の軽減をはかり生徒・児童にゆきとどいた教育を保障する件	同
103	稚内市における高校普通科の間口増、学校間の格差解消、私学への大幅公費助成に関する件	同
139	道産カラマツ材の住宅構造用パネル枠材としての利用に関する件	同
141	函館市に道立高校新設に関する件	同
145	道立普通科高校の設置に関する件	同
154	広島町立共栄小中学校の道立養護学校への移管に関する件	同
158	障害児学校寄宿舎に勤務する寮母の勤務条件の改善に関する件	同
166	北海道白糠高等学校校舎改築に関する件	同
182	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学への大幅な公費助成に関する件	同
184	北海道砂川南高等学校校舎改築に関する件	同
195	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学への大幅な公費助成に関する件	同
199	帯広盲学校教育施設設備改善などに関する件	同
200	北海道札幌東高等学校校舎改築に関する件	同
21	大雪山ろく研究学園都市設置に関する件	総合開発特別調査
24	網走研究学園都市建設に関する件	同
31	十勝研究学園都市設置に関する件	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
7	北海道由仁保健所庁舎改築に関する件	厚 生
28	消費生活協同組合法の一部改正に関する件	同
29	北海道中央市民生活協同組合の留萌市出店反対の件	同
27	準大型店舗における小売業の事業活動の調整をはかるための道条例若しくは指導要綱の早期制定に関する件	商 工 労 働
17	ミンク養殖農家の振興に関する件	農 務
12	石山地区豊平川河川敷地における砕石場の早期移転に関する件	建 設
13	道営住宅使用料大幅値上げ反対に関する件	同
15	北海道縦貫自動車道竹浦通過路線の変更に関する件	同
16	札幌圏都市計画の見直しに関する件	同
19	新住宅市街地開発事業による大麻団地あさはた公園に関する件	同
30	道道小樽港線改良工事の早期完成に関する件	同
21	能取漁港建設に伴う網さけ定置第2号の漁場価値激減に対する補償の件	水 産
5	早来町に道立高等学校（普通科）設置に関する件	文 教 林 務
9	真駒内桜山の自然環境保全に関する件	同
18	札幌市南区下藤野白樺団地南側隣接地区の自然林保存に関する件	同
20	札幌市南区藤野地区内に道立高校新設の早期実現に関する件	同
22	札幌市南区藤野地区内に道立高校新設の早期実現に関する件	同
23	札幌市南区藤野地区内に道立高校新設の早期建設の件	同
24	道立高等学校新設に関する件	同
25	札幌市南区藤野に新設予定の道立高校開校促進等に関する件	同

# 委員会の動き

## 議会運営委員会

○2月17日(金) 午後2時12分、議会運営委員会室において開議、午後2時25分散会  
委員長 松浦 義信(自民)

- ① 昭和53年第1回定例会の招集期日について、2月25日とすることを了承。会期については、33日間とすることに決定。
- ② 総務部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 第1回定例会の日程について、次のとおりとすることに決定。

### ▽ 第1回定例会日程

2月25日 本会議(道政執行方針及び提案説明、教育行政執行方針)

2月26日～3月2日 休会

3月3日・4日 本会議(代表質問)

5日・6日 休会

7日～9日 本会議(一般質問)

10日 同(一般質問、追加提案)

11日 同(補正予算議決)

12日～27日 休会

28日・29日 本会議

- ④ 代表質問について、順位は、自民、社会、道政、公明とすることに決定。
- ⑤ 第1回定例会における予算特別委員会分科会について、昭和53年第1回定例会は、従来どおり3分科会審査により行うこととし、将来問題としては、なお継続検討することに異議なく決定。
- ⑥ 公用車及び営業車利用の運行制度改革案について、事務局長から経過報告並びに同改正案の説明があって第1回定例会招集日から実施することに決定し、委員長から、今後の制度運用について発言。
- ⑦ NHK及びHBCの録画撮影の申し出許可について了承。

○2月24日(金) 午後3時11分、議会運営委員会室において開議、午後3時19分散会  
委員長 松浦 義信(自民)

- ① 総務部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 議案調査のための休会について、2月27日から3月2日まで、4日間とすることに決定。
- ③ 代表質問の通告は、3月1日正午まで、一般質問の順位については、従来の例により取り進めること、通

告は、3月3日午後5時までとすることに決定。

- ④ 予算特別委員会について、委員会の構成、各分科会の構成及び正副委員長の配分等については別紙配付(省略)のとおりとすることに決定。設置動議は自民党とし、名簿提出は、3月8日正午までとすることを了承。
- ⑤ 農務委員会における要望意見書の発議について、提出された場合明日の本会議で議決する扱いとすることに決定。

○2月25日(土) 午前10時12分、議会運営委員会室において開議、午前10時14分散会  
委員長 松浦 義信(自民)

- ① 意見案第1号について、本日の本会議において議決することに決定。
- ② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

### ▽ 議事順序

(開会)

日程第1 会議録署名議員の指定

諸般の報告

日程第2 会期決定の件(2月25日から3月29日までの33日間)

日程第3 議案第1号ないし第59号及び報告第1号道政執行方針及び提出議案に関する知事の説明

教育行政執行方針及び北海道寿都高等学校の火災に関する教育長の報告

日程第4 意見案第1号(昭和53年度の畜産物価格等に関する要望意見書)

(説明及び委員会付託省略)

原案のとおり決することについて簡易採決

議案調査のため休会日の決定(2月27日から3月2日まで)

○3月3日(金) 午前10時41分、議会運営委員会室において開議、午前10時44分散会  
委員長 松浦 義信(自民)

- ① 代表質問の通告(4人)について報告の後、本日の代表質問は、1番西尾六七議員(自民)、2番新村源雄議員(社会)とすることに決定。
- ② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

### ▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第59号及び報告第1号質疑並びに一般質問(2人)

○3月4日(土) 午前10時12分、議会運営委員会室において開議、午前10時23分散会

委員長 松浦 義信(自民)

- ① 本日の代表質問は、3番村本三郎議員(道政)、4番高橋鉞議員(公明)とすることに決定。
- ② 議案調査のための休会について、3月6日休会とすることに決定。
- ③ 一般質問の通告(18人)について報告。順位については、従来の例による順位を議事課長から説明の後、別紙(省略)のとおり取り進めることに決定。
- ④ 一般質問の通告の変更について、異議なく了承。
- ⑤ 一般質問の進め方について、7日5人、8日5人、9日4人、10日4人とすることに決定。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第59号及び報告第1号  
質疑並びに一般質問(2人)

議案調査のための休会日の決定

- ⑦ 委員長から、畜産物価格等に関する要望意見書に関し、中央折衝のため農務委員4人が上京する旨報告、異議なくこれを了承。

○3月7日(火) 午前10時9分、議会運営委員会室において開議、午後4時53分散会

委員長 松浦 義信(自民)

- ① 特別委員の辞任許可及び補欠選任について、委員長から、笠島保議員(社会)の総合開発調査特別委員辞任許可について報告の後、補充委員に青木延男議員(社会)を本日の本会議において選任することに決定。
- ② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 特別委員補欠選任の件

総合開発調査特別委員笠島保君の辞任を許可したことに伴い、青木延男君を補欠選任することについて簡易採決

日程第2 議案第1号ないし第59号及び報告第1号  
質疑並びに一般質問(5人)

○3月8日(水) 午前11時43分、議会運営委員会室において開議、午後1時31分散会

委員長 松浦 義信(自民)

- ① 昨日の本間喜代人議員の措置要求発言の取扱いについて、総務部長から、なお時間を要する旨の説明の後、午前11時44分休憩、午後1時25分再開し、総務部長か

ら、経緯等について説明があり、佐々木豊議長から、発言があって、異議なく了承。

② 一般質問の通告変更について、異議なく了承。

③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第59号及び報告第1号  
質疑並びに一般質問(6人)

○3月9日(木) 午前10時40分、議会運営委員会室において開議、午後6時16分散会

委員長 松浦 義信(自民)

① 一般質問の通告変更について、異議なく了承。

② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定し、午前10時44分休憩、午後4時7分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第59号及び報告第1号  
質疑並びに一般質問(5人)

- ③ 休憩前の本会議における不規則発言等について、一野坪勉委員(社会)、伊藤知則委員(自民)、新沼浩委員(自民)、青木延男委員(社会)、中田繁夫委員(社会)及び石山直行委員(自民)から、それぞれ意見があり、議長及び委員長から応答があり、本日の本会議はこの程度で延会することに決定し、午後4時41分休憩、午後6時15分再開し、直ちに散会。

○3月10日(金) 午後4時14分、議会運営委員会室において開議、午後7時50分散会

委員長 松浦 義信(自民)

① 取りあえず時間延長を行うことに決定し、午後4時17分休憩、午後7時45分再開。

② 佐々木豊議長から、昨日の本会議における不規則発言問題について発言。

③ 本日の本会議について、日程を延期し延会することに決定。

④ 一般質問の通告変更について、異議なく了承。

○3月11日(土) 午前10時24分、議会運営委員会室において開議、午前10時29分散会

委員長 松浦 義信(自民)

① 一般質問の今後の進め方及び本日の本会議について本日は4名、13日は本会議を開会し、一般質問4名行うことに決定。

② 総務部長から、追加提出予定案件について説明。

③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第59号及び報告第1号  
質疑並びに一般質問(8人)

○3月13日(月) 午前11時9分、議会運営委員会室において開議、午後2時39分散会  
委員長 松浦 義信(自民)

- ① 総務部長から、追加提出予定案件について説明。
- ② 議案第60号ないし第67号、第72号ないし第75号及び報告第1号を先議することをはかり、異議なくそのことに決定。
- ③ 本日の本会議について、一般質問4名、14日2名行うことに決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定し、午前11時14分休憩、午後2時37分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第60号ないし第75号  
追加提出議案に関する知事の説明  
日程第1の議案第60号ないし第75号にあわせ  
日程第2 議案第1号ないし第59号及び報告第1号  
質疑並びに一般質問(6人)

- ⑤ 総務部長から、追加提出予定案件について説明。

○3月14日(火) 午前11時17分、議会運営委員会室において開議、午後3時10分散会  
委員長 松浦 義信(自民)

- ① 総務部長から、追加提出予定案件について説明。議案第76号を公害対策特別委員会に付託することをはかり、異議なく決定。
- ② 本日の本会議について、一般質問3人行うことに決定。
- ③ 補正予算案等の先議について、議案第60号ないし第67号、第72号ないし第75号及び報告第1号は、質疑終了後、各関係委員会に付託し、審査終了後、15日の本会議で議決することに決定。
- ④ 予算特別委員会について、各分科会の構成は、第1分科会自民10人、社会5人、道政、公明各1人、第2分科会自民9人、社会5人、道政、公明、共産各1人、第3分科会自民10人、社会4人、道政2人、公明1人とすること、委員の指名は、配付の名簿のとおりとすること、設置動議は、伊藤知則議員(自民)に提出願うことを了承。
- ⑤ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定し、午前11時23分休憩、午後3時7分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第76号  
追加提出議案に関する知事の説明

日程第1の議案第76号にあわせ

日程第2 議案第1号ないし第75号及び報告第1号  
質疑並びに一般質問(3人)

(質疑終了宣言)

予算特別委員会設置

予算特別委員の指名

議案の特別委員会付託

議案第54号を総合開発調査特別委員会に、議案第76号を公害対策特別委員会にそれぞれ付託することについて簡易採決

残余の議案の各委員会付託

- ⑦ 総務部長から、追加提出予定案件の説明。

- ⑧ 総務部長から、知事の畜産振興審議会出席のため15日の本会議欠席について説明があり、異議なく了承。

- ⑨ 再開後の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1にあわせ日程第2の議事継続

質疑並びに一般質問(1人)

(日程第1及び日程第2の議事中止を行い)

追加日程 議案第77号

追加提出議案に関する知事の説明

(日程第1及び日程第2にあわせ追加日程を一括議題とし議事を継続)

(質疑終了宣言)

予算特別委員会設置

予算特別委員の指名

議案の特別委員会付託

議案第54号を総合開発調査特別委員会に、議案第76号を公害対策特別委員会にそれぞれ付託することについて簡易採決

残余の議案の各委員会付託

○3月15日(水) 午後3時58分、議会運営委員会室において開議、午後5時35分散会  
委員長 松浦 義信(自民)

- ① 委員長から、各委員会付託先議議案の審議状況について報告。
- ② 本日の本会議について、取りあえず時間延長することに決定。
- ③ 総務部長から、出納長の本会議欠席について説明、異議なく了承の後、午後3時59分休憩、午後5時29分

再開。

- ④ 特別委員の辞任許可及び補欠選任について、委員長から、高橋正四郎議員（自民）、西尾六七議員（自民）及び高橋賢一議員（自民）の公害対策特別委員辞任許可について報告の後、補充委員に岩本允議員（自民）、川口常人議員（自民）及び和田勝之議員（自民）を本日の本会議においてそれぞれ選任することに決定
- ⑤ 委員長から、各委員会付託先議案の審議状況について報告。
- ⑥ 舟山広治議員（社会）ほか34人提出の議案第60号及び第66号に対する修正動議について、本日の本会議に上程することに決定。
- ⑦ 意見案第2号の取扱いについて、本日の本会議において議決することに決定。
- ⑧ 各委員会付託議案審査のための休会について、3月16日から27日までの12日間とすることに決定。
- ⑨ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

#### ▽ 議事順序

（諸般の報告）

##### 日程第1 特別委員補欠選任の件

公害対策特別委員高橋正四郎君、西尾六七君、高橋賢一君の辞任を許可したことに伴い、岩本允君、川口常人君、和田勝之君をそれぞれ補欠選任することについて簡易採決

##### 日程第2 議案第60号ないし第67号、第73号及び第77号

堀田予算特別委員長の報告  
舟山議員の議案第60号及び第66号の修正案に関する説明  
（採決）

舟山議員ほか34人提出の議案第60号及び第66号に関する修正案を問題とし起立により採決（自民、道政反対）

議案第60号及び第66号の予算特別委員長の報告中、修正案にかかわる部分を問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについて起立により採決（社会、公明、共産反対）

議案第60号及び第66号の予算特別委員長の報告中、すでに決定した部分を除く残余の部分を問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについて簡易採決  
議案第61号ないし第65号、第67号、第73号及び第77号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて簡易採決

##### 日程第3 議案第72号、第74号、第75号及び報告第1号

吉田総務副委員長の報告  
野村文教林務副委員長の報告  
（採決）

本件をいずれも委員長報告（議案はすべて可決、報告は承認議決）のとおり決することについて簡易採決

##### 日程第4 意見案第2号

意見案第2号 日ソ漁業協力協定交渉の促進に関する要望意見書  
（説明及び委員会付託省略）  
（採決）

本件を原案のとおり決することについて簡易採決

各委員会付託議案審査のため休会の決定（3月16日から3月27日まで）

○3月28日（火） 午後4時27分、議会運営委員会室において開議、午後4時30分散会  
委員長 松浦 義信（自民）

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告。
- ② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

#### ▽ 議事順序

（諸般の報告）

##### 日程第1 請願、陳情審査の件（採択8件）

（委員長報告省略）

（採決）

本件をいずれも請願、陳情審査報告書（採択）のとおり決することについて簡易採決

- ③ 総務部長から、知事の畜産振興審議会酪農部会出席について、並びに寺田副知事の知事同行のため本会議欠席について説明、異議なく了承。

○3月29日（水） 午後4時、議会運営委員会室において開議、午後9時21分散会  
委員長 松浦 義信（自民）

- ① 取りあえず時間延長を行うことに決定して、午後4時1分休憩、午後9時18分再開。
- ② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告。
- ③ 委員長から、公害対策特別委員会における議案第76号北海道環境影響評価条例案並びに決算特別委員会における前会より継続審査中の報告第1号昭和51年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件の継続審査の申し

出決定について報告。

- ④ 有珠山噴火災害対策特別委員会における現在までの調査経過の概要について、本日の本会議において中間報告を行うことに決定。
- ⑤ 湯本芳志議員ほか25人提出の議案第1号、第14号及び第16号について撤回のうえ組替えを求めるとともに議案第18号、第32号、第39号及び第41号の撤回を求める動議について、本日の本会議に上程することに決定。
- ⑥ 意見案第3号ないし第7号の取扱いについて、本日の本会議において議決することに決定。
- ⑦ 総務部長から、道税条例の一部を改正する条例案について、地方税法改正案の審議との関連による専決処分について説明、異議なく了承。
- ⑧ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

#### ▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第59号及び第68号ないし第71号

予算特別、総務、厚生、建設、農地開発、文教林務、総合開発調査特別各委員長の報告

湯本芳志議員の議案第1号、第14号及び第16号について撤回のうえ組替えを求めるとともに議案第18号、第32号、第39号、及び第41号の撤回を求めるの動議に関する説明

(討論)

伊藤知則議員の湯本議員ほか25人提出の動議に関する反対討論

一野坪勉議員の湯本議員ほか25人提出の動議に関する賛成討論

工藤啓二議員の議案第1号、第18号、第32号及び第39号並びに湯本議員ほか25人提出の動議に関する反対討論

本間喜代人議員の議案第1号、第14号ないし第18号、第32号、第39号、第41号、第68号ないし第71号に関する反対討論並びに湯本議員ほか25人提出の動議に関する賛成討論

(採決)

湯本議員ほか25人提出の動議を問題とし起立により採決(自民、道政、公明反対)  
議案第1号、第18号、第32号及び第39号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおりに決することについて、起立により採決(社会、公明、共産反対)  
議案第14号、第16号及び第41号を問題と

し、委員長報告(すべて可決)のとおりに決することについて、起立により採決(社会、共産反対)

議案第15号、第17号及び第68号ないし第71号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおりに決することについて、起立により採決(共産反対)

議案第2号ないし第13号、第19号ないし第31号、第33号ないし第38号、第40号及び第42号ないし第59号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおりに決することについて簡易採決

日程第2 有珠山噴火災害対策に関する件

有珠山噴火災害対策特別委員長の間接報告

日程第3 意見案第3号ないし第7号

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

本件をいずれも原案のとおりに決することについて簡易採決

日程第4 請願審査の件(採択2件)

(委員長報告省略)

(採決)

本件をいずれも請願審査報告書(採択)のとおりに決することについて簡易採決

閉会中継続審査の件

公害対策特別委員長から議案第76号について、決算特別委員長から前会より継続審査中の報告第1号について、申し出のとおりに閉会中の継続審査に付することについて簡易採決

閉会中請願、陳情継続審査及び事務調査の件

各常任委員長並びに総合開発調査特別委員長から、申し出のとおりに閉会中継続審査又は調査に付することについて簡易採決

議長の閉会あいさつ



# 常任委員会

開議、午後2時49分散会、委員長事故のため副委員長 吉田 英治（社会）

## 総務委員会

〇2月6日（月） 午後零時4分、第5委員会室において開議、午後1時10分散会  
委員長 藤井 猛（自民）

### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した地方財源の充実強化並びに寒冷地手当の増額に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 生活環境部長から、「環境影響評価の制度化について」北海道自然環境保全審議会からの答申に関して報告の後  
湯本 芳志委員（社会）から、条例案策定の時期について  
質疑があり、生活環境部長から答弁。
- ③ 道警本部警ら部長から、ロックバンド公演をめぐる死亡事故の経過について報告。  
湯本 芳志委員（社会）から、スポーツセンターを貸すことになった経過、死亡事故発生後の措置及び対策、スポーツセンターを催しものに使用すること等について  
藤井 猛委員長（自民）から、スポーツセンターと警察側の連携、会場整備の責任所在などについて  
質疑及び要望があり、生活環境部長、道警本部長及び警ら部長から答弁。
- ④ 舟山 広治委員（社会）から、国鉄貨物の第2次合理化案に対する道の対応について  
質疑及び要望があり、開発調整部長から答弁。

〇2月24日（金） 午前10時42分、第5委員会室において開議、午前11時7分散会  
委員長 藤井 猛（自民）

開議に先だち、人事異動に伴う道及び道警本部幹部職員  
の紹介があった。

### 一般議事

- ① 総務部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- 〇3月13日（月） 午前10時39分、第5委員会室において開議、午前10時45分散会 委員長事故のため副委員長 吉田 英治（社会）
- ### 一般議事
- ① 総務部長から、第1回定例会追加提出予定案件について説明。
- 〇3月14日（火） 午前10時23分、第5委員会室において

### 一般議事

- ① 総務部長及び生活環境部長から、第1回定例会追加提出予定案件について説明。議事進行の都合により午前10時30分休憩、午後2時47分再開。
- ② 総務部長から、追加提出予定案件について説明。

〇3月15日（水） 午後4時22分、第5委員会室において開議、午後4時24分散会、委員長事故のため副委員長 吉田 英治（社会）

### 付託案件の審査

- ① 議案第72号（育児休業の許可を受けた職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- 〇3月29日（水） 午後6時38分、第5委員会室において開議、午後8時13分散会  
委員長 藤井 猛（自民）

### 付託案件の審査

- ① 議案第18号（札幌医科大学条例の一部を改正する条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、舟山広治委員（社会）から反対の意見があって、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（反対社会、公明）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第20号（北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案）、議案第21号（北海道土地開発基金条例の一部を改正する条例案）、議案第22号（北海道空港条例の一部を改正する条例案）、議案第35号（北海道警察組織条例の一部を改正する条例案）、議案第37号（北海道交通巡視員に対する被服の支給及び装備品の貸与に関する条例の一部を改正する条例案）及び議案第38号（北海道公安委員会及び方面公安委員会の行なう許可等に関する手数料条例の一部を改正する条例案）を順次議題とし、総務部長、開発調整部長、道警総務部長及び警務部長からそれぞれ説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第39号（北海道自動車保管場所証明手数料条例の一部を改正する条例案）を議題とし、道警総務部長から説明の後、舟山広治委員（社会）から反対の意見があって、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（反対社会、公明）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ④ 議案第53号（礼文空港（第3種空港）の設置及び管理に関する協議の件）、議案第48号（北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案）及び議案第70号（北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部

を改正する条例案)を順次議題とし、開発調整部長、総務部長及び道警警務部長からそれぞれ説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ⑤ 議案第71号(北海道職員等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案)を議題とし、総務部長から説明の後、

舟山 広治委員(社会)から、条例改正の基本的な意図、札幌市の高令者事業団についての受けとめ方、退職者と欠員補充の考え方、人事委員会がこの条例を適当と判断した根拠について

質疑及び要望があり、総務部長及び人事委員会事務局長からそれぞれ説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 一般議事

- ① 付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること及び地方行財政対策の件ほか3件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

- ② 国鉄貨物取扱駅集約化計画の実施に関する要望意見書の発議についてはかり、異議なくそのことに決定。

- ③ 総務部長から、北海道青少年会館温水プールにおける児童の水死事故についての概要を報告の後、

吉田 英治委員(社会)から、温水プールの巡視体制、安全対策、指導員に対する指導、事故の責任の所在について

質疑及び要望があり、総務部長及び青少年婦人事務局長から答弁。

- ④ 舟山 広治委員(社会)から、道内の右翼の動きと釧路市役所庁舎内での暴力行為について

質疑及び要望があり、道警警備部長から答弁。

- 3月30日(木) 午前10時44分、第5委員会室において開議、午前11時20分散会

委員長 藤井 猛(自民)

#### 一般議事

- ① 委員長から、地方行財政調査のため道外調査の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- ② 総務部長から、北海道税条例の一部を改正する条例案を専決処分することについて説明。

- ③ 湯本 芳志委員(社会)から、(1)3月25日の北全病院における入院患者の傷害事件に関し、警察への届け出の有無、警察の調査結果と見解、(2)樫原副知事の3月22日及び23日の出張の有無とその目的及び議会審議との関連、帯広へ出張の必要性及び帯広市長選との関連等について

質疑及び意見があり、道警本部長及び総務部長から答

弁。

## 厚生委員会

- 2月24日(金) 午前11時35分、第9委員会室において開議、午後零時19分散会

委員長 村上 舜明(自民)

#### 一般議事

- ① 民生部長及び衛生部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

- ② 衛生部長から、インフルエンザ様疾患の発生状況について報告。

#### 本日聴取した陳情

「業者婦人の地位向上、健康と母性を守る件」について  
北海道民主商工団体連合会婦人部協議会部長

- 3月29日(水) 午後6時25分、第9委員会室において開議、午後6時38分散会

委員長 村上 舜明(自民)

#### 付託案件の審査

- ① 議案第23号(北海道青少年保護育成条例の一部を改正する条例案)、議案第24号(北海道保母修学資金貸付条例の一部を改正する条例案)、議案第25号(北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例案)、議案第26号(北海道看護職員養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例案)、議案第27号(精神衛生鑑定医の報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例案)及び議案第28号(公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例案)を順次議題とし、民生部長及び衛生部長からそれぞれ説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした

#### 一般議事

- ① 筋拘縮症患者の医療給付制度の拡充及び乳幼児医療費公費負担制度の確立に関する要望意見案について、配付の案文によりそれぞれ発議することをはかり、異議なくそのことに決定。

- ② 付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること及び社会福祉対策の件ほか1件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

- 3月30日(木) 午前10時49分、第9委員会室において開議、午前10時55分散会

委員長 村上 舜明(自民)

#### 一般議事

- ① 委員長から、乳幼児医療費公費負担制度の確立及び

筋拘縮症患者の医療給付制度の拡充に関する要望のため、中央折衝の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- ② 民生部長から、大沼大規模年金保養基地の建設について報告。

## 商工労働委員会

○2月24日(金) 午前10時52分、第8委員会室において開議、午前11時50分散会

委員長 影山 豊(社会)

### 一般議事

- ① 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 労働部長から、雇用保険の不正受給事件について説明。

○3月29日(水) 午後6時24分、第8委員会室において開議、午後6時26分散会

委員長 影山 豊(社会)

### 一般議事

- ① 付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること及び商業、鉱工業並びに観光振興対策の件ほか2件について閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

○3月30日(木) 午前10時43分、第8委員会室において開議、午前11時2分散会

委員長 影山 豊(社会)

### 一般議事

- ① 商工観光部長から、最近の円相場の高騰と輸出関連中小企業対策について説明。
- ② 労働部長から、最近の雇用失業情勢について説明。

## 農務委員会

○2月24日(金) 午前11時、第7委員会室において開議  
午前11時50分散会

委員長 大平 秀雄(自民)

### 一般議事

- ① 農務部長から、昭和53年度農業関係予算主要事項の概要及び第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 昭和53年度の畜産物価格等に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議

なくそのことに決定。

- ③ 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした

- ④ 工藤 啓二委員(公明)から、53年度水田利用再編対策に関し、転作目標未達成の場合のペナルティー、市町村における転作目標達成状況について

津川 直一委員(道政)から、転作目標未達成農家に対するペナルティーについて

質疑、意見及び要望があり、農務部長、同部次長及び稲作園芸課長から答弁。

○3月29日(水) 午後6時18分、第7委員会室において開議、午後6時23分散会

委員長 大平 秀雄(自民)

### 請願、陳情の審査

#### 請願

第79号 ベペル川の水改修など富良野地方の治山、治水対策の推進に関する件(採択)

第151号 豚直接検定の実施に関する件(採択)

残余の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

### 一般議事

- ① 農業振興対策の件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

○3月30日(木) 午前10時54分、第7委員会室において開議、午前10時58分散会

委員長 大平 秀雄(自民)

### 一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した道外農業事情調査の結果及び昭和53年度の畜産物価格等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承
- ② 農務部長から、昭和53年度の畜産物価格等に関し畜産振興審議会における答申内容について説明。

## 建設委員会

○2月24日(金) 午前11時8分、第4委員会室において開議、午前11時35分散会

委員長 小沢 栄吉(自民)

### 一般議事

- ① 委員長から、北海道住宅供給公社運営委員として、高橋鉦副委員長と伊藤知則委員を選出し、議長に報告することをはかり、異議なくそのことに決定。

- ② 土木部長及び住宅都市部長から、第1回定例会提出予定案件について、それぞれ説明。

○3月29日(水) 午後6時22分、第4委員会室において開議、午後6時29分散会  
委員長 小沢 栄吉(自民)

#### 付託案件の審査

- ① 議案第29号(北海道立都市公園条例の一部を改正する条例案)、議案第55号(北海道公営住宅のうち、福祉住宅及び共同施設(集会所に限る。)並びに北海道寡婦住宅に関する災害共済委託の件)、議案第56号ないし第59号(財産の処分に関する件)を順次議題とし住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

#### 一般議事

- ① 付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること及び地方道整備促進の件ほか3件について閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

○3月30日(木) 午前10時31分、第4委員会室において開議、午前10時35分散会  
委員長 小沢 栄吉(自民)

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した建設事情の道外調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承  
② 委員長から、道外における建設事情調査の実施についてははかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任とした。  
③ 土木部長から、石狩湾新港管理組合の設立について説明。

### 農地開発委員会

○2月24日(金) 午前10時35分、第2委員会室において開議、午前10時51分散会  
委員長 小野 秀夫(道政)

#### 一般議事

- ① 農地開発部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

○3月29日(水) 午後6時24分、第2委員会室において開議、午後6時29分散会  
委員長 小野 秀夫(道政)

#### 付託案件の審査

- ① 議案第30号(北海道有土地改良財産の譲与に関する条例の一部を改正する条例案)を議題とし、農地開発部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決するこ

とに決定。付託案件に対する委員長報告については委員長に一任することとした。

#### 一般議事

- ① 付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の扱いとすること及び農業基盤整備推進の件ほか1件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

○3月30日(木) 午後1時14分、第2委員会室において開議、午後1時15分散会  
委員長 小野 秀夫(道政)

#### 一般議事

- ① さきを実施した他府県における農業基盤整備事業等事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

### 水産委員会

○2月24日(金) 午後2時4分、第6委員会室において開議、午後2時30分散会  
委員長 吉田 政一(自民)

#### 一般議事

- ① 水産部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。  
② 川崎 守委員(共産)から、第6次さけ定置漁業権切替えの基本姿勢、漁民に対する周知方について質疑及び要望があり、水産部長から答弁。

○3月29日(水) 午後6時20分、第6委員会室において開議、午後6時22分散会  
委員長 吉田 政一(自民)

#### 一般議事

- ① 付託の請願、陳情については、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること及び水産業振興対策については、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

○3月30日(木) 午前10時58分、第6委員会室において開議、午前11時25分散会  
委員長 吉田 政一(自民)

#### 一般議事

- ① 委員長から、ロソ漁業協力協定交渉に係る緊急中央折衝の概要について、口頭により報告、異議なくこれを了承。  
② 砂原 清治委員(社会)から、3月28日の色丹沖における洋上会談の内容、沖合底引網漁業(かけ回し漁法)の今後の対応策について

奥野 一雄委員（社会）から、道の新造取締船の建造業者選定について

川崎 守委員（共産）から、利尻島、礼文島周辺3海里内における、さけ・ます漁業を12海里に拡大する考えについて

質疑及び要望があり、水産部長から答弁。

## 文教林務委員会

〇2月10日（金） 午後2時47分、第10委員会室において開議、午後6時15分散会  
委員長 原 清重（社会）

### 一般議事

- ① 教育長から、北海道寿都高等学校火災及び昭和53年度北海道公立高等学校入学志願状況について説明。
- ② 林務部長から、北海道木材市場協同組合の経営状況について説明の後

若狭 靖委員（自民）から、昭和51年4定で予算措置を行った製材流通安定資金の目的、資金貸付時に不正を察知出来なかった理由、現役員体制による再建の見通し、再建に対する道の協力姿勢等について

山家 勇委員（社会）から、貸付限度額を越えた貸付の認識、道木連に係る監査で制度資金の運用の問題点を把握出来なかった理由、経営悪化の理由及びその内容、2億円の貸付を緊要とした理由、不正融資及び背任行為の疑いを知った時期、渡辺前理事長の辞任の理由等について

藤井 虎雄委員（社会）から、過大貸付の判断について

伊藤 豪委員（道政）から、焦げ付き金額及び回収状況並びに指導内容について

本間 喜代人委員（共産）から、北海道木材市場への天下り道職員数について

平野 明彦委員（自民）から、(1)53年度の高等学校卒業生の就職見込み状況、(2)教職員の採用に関し、教職員の52年度の登録者の採用状況、53年度の採用見込み及び採用登録者に欠員が生じた場合の対応措置、(3)主任制度化に対する手当てに関し、制度化の実施状況、人事委員会が勧告を行った場合の対処方針、制度化実施の凍結に対する方針、(4)公立高等学校の入学選抜方法の改善に関し、教育基本法にいう「能力に応ずる教育を受ける機会の確保」に対する見解、学校間格差及び学校内格差の解消策、通学時間の範囲、試案発表の時期等について

若狭 靖委員（自民）から、新学習指導要領の法的拘束力の有無、要領改正の手引を発行した理由、52年度の教育課程研究協議会の終了が遅れている理由、研

究協議会への参加についての道教委と北教組との確認書取り交わしの理由等について

山家 勇委員（社会）から、定時制高等学校に関し新年度を間近にした学級減の計画作成の理由、監査の指摘による計画実施の有無、計画実施の基本姿勢、関係者との話し合いによる実施の必要性等について

本間 喜代人委員（共産）から、定時制高校に関し旭川西、函館西、函館商業及び小樽潮陵からの学級減再検討の要請に対する考え、卒業年次にある4年生の学級編成替えの適否、学年進行ごとに学級編成を行っている都府県の事例の有無等について  
質疑及び要望があり、教育長及び林務部長から答弁。

〇2月24日（金） 午前11時59分、第10委員会室において開議、午後零時37分散会  
委員長 原 清重（社会）

### 一般議事

- ① 教育長、林務部長及び学事課長から、第1回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。

### 本日聴取した陳情

広島町立共栄小学校の道立移管について

富岡学園父母の会代表

〇3月15日（水） 午後4時25分、第10委員会室において開議、午後4時30分散会、委員長事故のため副委員長野村 権作（自民）

### 付託案件の審査

- ① 議案第74号（財産の取得（羅臼高等学校建設用地）に関する件）、議案第75号（財産の取得（白石高等学校ほか16校の用に供する校舎等）に関する件）を一括議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 報告第1号（専決処分報告につき承認を求める件（札幌市東地区新設高等学校建設用地の取得の件））を議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり承認議決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

### 請願、陳情の審査

#### 請 願

- |         |                          |       |
|---------|--------------------------|-------|
| 第 95 号  | 教員採用に関する件                | （取下げ） |
| 第 133 号 | 教員希望者全員採用実現、教育予算大幅増に関する件 | （取下げ） |
| 第 153 号 | 教員採用に関する件                | （取下げ） |
| 第 159 号 | 私学教育の充実のための大幅な公費助成の件     | （取下げ） |
| 第 143 号 | 北海道旭川商業高等学校の校舎改築に関する件    | （採択）  |
| 第 194 号 | 道立羽幌高等学校早期改築に関する件        |       |

(採択)

## 特別委員会

○3月29日(水) 午後6時40分、第10委員会室において  
開議、午後6時47分散会  
委員長 原 清重(社会)

### 付託案件の審査

- ① 議案第32号(北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例案)を議題とし、教育長から説明の後、直ちに採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数(反対社会、共産)をもって原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第69号(北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案)を議題とし、教育長から説明の後、直ちに採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数(反対共産)をもって原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第31号(北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案)、議案第33号(北海道公立高等学校生徒学資金貸付条例の一部を改正する条例案)及び議案第34号(北海道公立高等学校定時制課程及び通信制課程生徒学資金貸付条例の一部を改正する条例案)を一括議題とし、教育長からそれぞれ説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

### 一般議事

- ① 付託の請願、陳情については、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること及び学校教育並びに社会教育の充実促進の件ほか1件について閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

○3月30日(木) 午前11時51分、第10委員会室において  
開議、午後零時2分散会  
委員長 原 清重(社会)

### 一般議事

- ① 教育長から、昭和53年度公立高等学校入学者選抜第二次募集状況説明の後  
伊藤 豪委員(道政)から、二次募集で定員に見合った生徒の確保見通し、二次募集の状況を明年度の適正配置に考慮することについて  
質疑及び意見があり、教育長から答弁。

### 総合開発調査特別委員会

○12月7日(水) 午後2時50分、第1委員会室において  
開議、午後4時50分散会  
委員長 三上 勇(自民)

- ① 委員長から、12月5日付をもって、奈良敬蔵議員が辞職した旨報告。
- ② 委員長から、さきに実施した道内及び道外開発事情調査の概要について、報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ③ 開発調整部長から、苫小牧東部工業基地における石油備蓄計画について説明の後  
吉田 英治委員(社会)から、石油備蓄基地立地に関し、立地予定地区、苫東港湾計画及び環境アセスメントの見直し等について  
熊谷 克治委員(社会)から、石油備蓄基地立地要請に対する道の対処方、石油備蓄のメリット、石油精製企業の立地促進への国の保障、立地地区決定の考え方道の意思表示の時期等について  
川崎 守委員(共産)から、石油備蓄法に基づく年度別石油備蓄量及び備蓄方式、苫東基地建設に係る道独自で実施する事業及び財政計画、石油備蓄基地立地に伴う港湾計画等の変更について、(関連して、吉田 英治委員(社会)から、石油備蓄基地立地に伴う港湾計画の変更等について)  
質疑、意見及び要望があり、開発調整部長、大規模工業基地開発事務局長から答弁。

○1月26日(木) 午後3時、第1委員会室において開議  
午後5時30分散会  
委員長 三上 勇(自民)

- ① 開発調整部長から、昭和53年度北海道開発関係予算の概要について説明の後  
川崎 守委員(共産)から、昭和53年度開発関係予算に関し、直轄事業と補助事業の比率及び道、市町村の負担額、新千歳空港用地及び苫東関連住宅団地の売渡し見通し等について  
奥野 一雄委員(社会)から、昭和53年度公共事業に係る道負担分の予算計上の見通し及び市町村負担分に対する財源措置について  
質疑及び要望があり、開発調整部長、大規模工業基地開発事務局長から答弁。
- ② 開発調整部長から、新北海道開発計画案の概要について説明の後  
吉田 英治委員(社会)から、新北海道開発計画の閣議決定の時期等、発展計画・新開発計画・三全総の

整合性に関し、天然ガス開発計画、公共投資額算出の根拠、経済成長率、石炭生産量、水田面積、工業生産額、地域振興計画諸指標の相違等について

川崎 守委員（共産）から、北海道開発審議会に要望する内容について

熊谷 克治委員（社会）から、発展計画と新開発計画指標の関連性について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長、開発調整部次長から答弁。

## 石炭対策特別委員会

○2月24日（金） 午後2時22分、第8委員会室において開議、午後3時6分散会、委員長事故のため副委員長 高江 良男（社会）

① 委員長から、さきに実施した石炭専焼火力発電所に関する道外調査並びに本道の石炭鉱業及び産炭地振興対策に関する中央折衝の概要について、報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 商工観光部長及び労働部長から、第1回定例会提出予定案件について、それぞれ説明。

③ 工藤 万砂美委員（自民）から、2,000万トン体制の維持に関し、知事の中央要請の実施、砂川4号機の現状と建設の促進及び北電の電力用炭引取量の確保について

山家 勇委員（社会）から、北電に対する道の指導の早期実施について

質疑及び要望があり、商工観光部長から答弁。

## 北方領土対策特別委員会

○2月24日（金） 午後2時52分、第5委員会室において開議、午後2時58分散会  
委員長 若狹 靖（自民）

開議に先だち、新任の領対本部長の紹介があった。

① 委員長から、さきに実施した北方領土復帰促進に関する他県への議決要請の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 領対本部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

## 公害対策委員会

○2月23日（木） 午後3時11分、第2委員会室において開議、午後3時50分散会

委員長 田莉子政太郎（自民）

## 一般議事

① 生活環境部長から、第1回定例会提出予定案件について説明

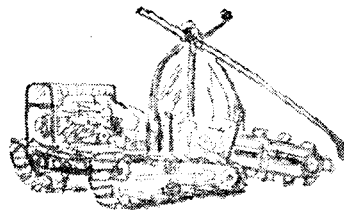
② 野中 冨雄委員（社会）から、環境影響評価に係る条例案に関し、提案の時期及び国の法案が遅れた場合の考え方について

保格 博夫委員（社会）から、議事日程上からみた提案時期の考え方について

池島 信吉委員（社会）から、提案について道としての考え方について

小野 秀夫委員（道政）から、国の法案が示された場合の条例案調整の考え方について

質疑があり、生活環境部長から答弁。



## 予算特別委員会

○3月14日(火) 午後4時55分、第1委員会室において  
開議、午後5時9分散会  
委員長 堀田 毅(自民)

### 正副委員長の互選

- ① 堀田 毅臨時委員長(自民)から、委員長の互選の方法については、舟山広治委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって、堀田毅委員(自民)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、伊藤知則委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって、青木延男委員(社会)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後5時1分休憩、午後5時3分再開。休憩中協議の結果、付託案件のうち昭和52年度補正予算関係議案については、本委員会において先議することとし、その他の案件については、3分科会を設置して審議を行うこととし第1分科会は委員17人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局及び監査委員、第2分科会は委員17人、所管は民生部、衛生部、土木部、住宅都市部、企業局及び教育委員会、第3分科会は委員17人、所管は農務部、農地開発部、水産部、林務部、商工観光部及び労働部とすること、各分科会に付託する案件は配付のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に係る総括質疑は本委員会において行うことをはかり、異議なくそのことに決定。
- ④ 各分科会の委員については、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

### ○第1分科委員

青山 正男(自民)	岩田 徳弥(自民)
佐々木利昭(自民)	中崎 昭一(自民)
岩崎 守男(社会)	渋谷 澄夫(社会)
牧野 唯司(公明)	池島 信吉(社会)
米田 忠雄(自民)	伊藤 知則(自民)
村本 三郎(道政)	武部 勤(自民)
吉田 政一(自民)	東 典俊(自民)
藤井 虎雄(社会)	山家 勇(社会)
天谷 平信(自民)	

### ○第2分科委員

一野坪 勉(社会)	石山 直行(自民)
木村 喜八(道政)	川口 常人(自民)
寺崎 政朝(自民)	工藤 啓二(公明)
舟山 広治(社会)	吉田 英治(社会)
中田 繁夫(社会)	林 勝(自民)

平野 明彦(自民)	岩本 政光(自民)
小沢 栄吉(自民)	藤井 猛(自民)
本間喜代人(共産)	砂原 清治(社会)
三上 勇(自民)	

### ○第3分科委員

青木 延男(社会)	岩本 允(自民)
伊藤 豪(道政)	松崎 義雄(道政)
佐藤 静雄(自民)	高木 繁光(自民)
柳谷 正一(公明)	和田 勝之(自民)
小笠原 孝(自民)	工藤万砂美(自民)
高木 正明(自民)	水沼徳一郎(自民)
村上 穉明(自民)	阿部恵三男(自民)
星野 健三(社会)	湯本 芳志(社会)
野中 富雄(社会)	

- ④ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長各1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことをはかり、異議なくそのことに決定。
- ⑤ 審査日程については、異議なく配付の日程表のとおり決定。
- ⑥ 質疑の方法は、先議案件については一括して行う、質疑は、通告の形式によることとし一括して行い、ただし、一問一答方式の場合は委員長にその旨申し出ること、発言の順位は、本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ⑦ 議席については、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑧ 本委員会の運営については、正副委員長及び各分科会正副委員長をもって構成する理事会において協議のうえ、これを行うこと、なお、正副委員長の配付のない会派及び諸派についても理事会に出席願うことをはかり、異議なくそのことに決定。

○3月15日(水) 午前11時13分、第1委員会室において  
開議、午後5時20分散会  
委員長 堀田 毅(自民)

- ① 昭和52年度補正予算関係議案(議案第60号ないし第67号、第73号及び第77号)に対する質疑に入り、  
吉田 英治委員(社会)から、(1)財政問題に関し、減額補正が年々増加している要因並びに国庫支出金の減の理由、地方債における政府関係資金と繰上債の比率、地方債の消化見通し、52年度決算の見通し、市町村の繰上債消化の見通しと遅れている理由、(2)医療問題に関し、小児総合保健センターの診療費用についての減額理由と今後の通院患者数見込みの考え方及び予算編成のあり方、(3)物価対策に関し、物価安定資金貸付金におけるLPガス関連の資金利用率の悪い原因



並びに共同配送センターに係る貸付条件緩和の検討方  
(4)工業団地開発事業会計に関し、一般会計からの13億  
円余の長期借入れに至った経緯、苫東工業基地関連  
の住宅団地の進行状況並びに企業立地との関連、地域  
振興整備公団への団地用地売却の見通し、(5)体育施設  
に関し、真駒内屋内及び屋外競技場と中島スポーツセ  
ンターに係る収入減の理由、体育施設における収益に  
ついての基本的考え方、(6)教育問題に関し、新設養護  
学校の設計費を補正減した理由と今後の見通し等につ  
いて

質疑、意見及び要望があり、総務部長、衛生部長、商  
工観光部長、企業局長、開発調整部長、生活環境部長  
及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後零時  
39分休憩、午後1時52分再開。ついで

牧野 唯司委員（公明）から、(1)工業団地開発事業  
会計に関し、償還計画の現状、資金不足による一般会  
計からの長期借入れに至った責任と今後の対処策、  
苫東住宅団地に係る開発調整部、住宅都市部及び企業  
局の協力体制、(2)新千歳空港先行取得用地に関し、52  
年度における国の再買収の積算根拠、道への再買収計  
画の通知時期、土地代において利率についての超過負  
担の有無、53年度以降の再買収計画、(3)道路問題に関  
し、道路除雪の現状と今後の方針、除雪作業における  
安全対策、特別豪雪地帯の指定基準と指定市町村の現  
況及び基準改正についての考え方、(4)小児総合保健セ  
ンターに関し、職員の人員配置等の十全性と53年度に  
おける診療実績向上についての考え方、今後の職員の  
充実及び病床の拡大等の進め方等について

本間 喜代人委員（共産）から、(1)苫東住宅団地に  
関し、地域振興整備公団における基本計画作成に当っ  
ての道の対応、同公団に対する事業要請する時期、同  
公団の53年度予算と売却見通し、売却に当っての価格  
決定のあり方、(2)苫小牧西港の湧払埠頭に関し、工事  
のやり直しに係る管理組合負担金支出の考え方、地質  
の事前調査の方法、調査費及び調査の施工業者、請負  
業者に対するペナルティーの有無、(3)建設労働者の賃  
金問題に関し、建設業界の協定単価と三省協定の単価  
の格差に係る行政指導方、(4)老人医療に関し、公費負  
担の拡大に伴う国民健康保険財政への波及分に対する  
道の助成方法の是正方、(5)財政運営に関し、市町村の  
事業に焦点を当てた運営の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、企業局長、開発調整部長  
住宅都市部長、土木部長、総務部長、衛生部長及び民  
生部長から答弁があつて、先議案件に対する質疑を終  
結。ついで、先議案件に対する意見調整は、各派代表  
者会議において行うことをはかり、異議なくそのこと  
に決定。意見調整のため午後3時50分休憩、午後5時  
12分再開。

② 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結  
果、議案第60号及び第66号について意見の一致をみる  
に至らなかった旨及び議案第60号及び第66号について  
舟山広治委員（社会）ほか17人から修正動議が提出さ  
れている旨を報告。

ついで、議案第60号及び第66号を一括議題とし、舟  
山広治委員（社会）から、社会、公明、共産3党提出の  
修正案について趣旨説明があり、質疑及び討論なしと  
認め、直ちに採決に入り、まず、修正案を問題とし、  
起立採決の結果、起立少数（反対自民、道政）をもつ  
て否決と決定し、次に、修正案に係る原案部分を問題  
とし、起立採決の結果、起立多数（反対社会、公明、  
共産）をもって原案のとおり可決することに決定。

次に、修正案に係る部分を除く原案部分の問題とし、  
異議なく原案のとおり可決することに決定。ついで、舟  
山広治委員（社会）から、議案第60号及び第66号に対  
する修正案について少数意見として留保する旨を発言

次に、議案第61号ないし第65号、第67号、第73号及  
び第77号を一括議題とし、異議なくいずれも原案のと  
おり可決することに決定。先議案件に対する審議経過  
及び結果報告については、委員長に一任することとし  
た。

## 第 1 分 科 会

○3月14日（火） 午後5時11分、第1委員会室において  
開議、午後5時20分散会  
第1分科委員長 伊藤 知則（自民）

### 正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長には伊藤知則委  
員（自民）、分科副委員長には渋谷澄夫委員（社会）  
をそれぞれ選出。
- ② 付託案件に対する審査日程、質疑方法等について協  
議、決定した。
- ③ 本分科会の運営についてはかり、自民、社会、道政  
及び公明各1名、計4名の理事を選び、その協議によ  
りこれを行うことをはかり、異議なくそのことに決定  
理事には、中崎昭一委員（自民）、岩崎守男委員（社  
会）、村本三郎委員（道政）及び牧野唯司委員（公明）  
をそれぞれ選出。

○3月17日（金） 午前10時41分、第1委員会室において  
開議、午後3時50分散会  
第1分科委員長 伊藤 知則（自民）

- ① 公安委員会所管に対する質疑入り、  
渋谷 澄夫委員（社会）から、サラリーマン金融に  
関し、道内における業者数、小樽におけるサラ金をめ  
ぐる事件と刑事責任との関連、サラ金をめぐるトラブル

ルの特徴とその原因、利息制限法及び出資法に対する見解、暴力団関係の事件の実態と今後の対処方針等について

岡本 栄太郎委員（社会）から、(1)凶悪事件に関し過去5年間の凶悪事件の発生状況と未検挙事件の実態及び捜査の状況並びに早期解決策、(2)交通対策に関し交通安全施設の整備計画、市町村道の安全施設整備の進め方、信号機の連動化の進め方、除雪車による死亡事故発生についての考え方並びに道路管理者、請負業者等への指導強化方、(3)警察署庁舎の整備に関し、今後の整備改築計画の進め方、(4)少年犯罪に関し、少年をめぐる有害環境の実態と非行との関連及び環境浄化対策、家出少年と非行との関連、非行対策のあり方、(5)道営競馬に関し、昨年の不祥事件の早期解決方等について

質疑、意見及び要望があり、道警本部長、防犯部長、刑事部長及び交通部長から答弁。議事進行の都合により午後零時35分休憩、午後1時50分再開し、ついで、

山家 勇委員（社会）から、(1)駐在所及び派出所に関し、勤務環境の現状に対する見解と今後の対策、駐在所の家族に対する配慮、(2)警察官の不祥事件に関し防止対策のこれまでの成果と今後の対策、職員間のコミュニケーションのあり方、昨年7月の警察学校教育による酒気帯び運転について、事案の概況と処分内容自動車学校指導員の資格審査内容と当該元教官の指導員合格認定の道義的妥当性等について

工藤 啓二委員（公明）から、(1)シンナー遊びに関し、青少年のシンナー乱用の実態、シンナー販売の規制の実態、学校等への指導内容とPR方法のあり方、(2)旭川警察署の2署分轄問題に関し、分轄の時期、現在の施設の実態に対する考え方、(3)警察職員の家族レクリエーション等の実施状況、家族旅行等を企画する考え、(4)暴力事件に関し、暴力団の武装化傾向と取り締まりの状況、対立抗争事件の取り締まり状況、暴力団による犯罪絶滅の決意等について

質疑、意見及び要望があり、道警本部長、警務部長、交通部長、防犯部長及び刑事部長から答弁。

○3月18日（土） 午前10時52分、第1委員会室において開議、午後零時19分散会

第1分科委員長 伊藤 知則（自民）

① 生活環境部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、川崎守第2分科委員（共産）の本分科会への出席及び生活環境部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終結後これを許可することをはかり、異議なくそのことに決定。ついで

湯本 芳志委員（社会）から、(1)北電の送電停止問

題に関し、本問題と道民生活安定条例との関連、北電の態度と同条例26条との関連、不払い者から道へ苦情申し出があった場合の対応、送電再開を北電に申し入れる考え、(2)プロパンガス問題に関し、プロパンガスの北海道価格の現状認識と生活環境部の対応、本道の特事情の有無、エネルギー業界に係る技術革新の情報提供の必要性等について

川崎 守委員（共産）から、(1)網走小清水原生花園の工事問題に関し、本工事請負業者による賃金等の未払いの実態と発注者としての責任、(2)苫東基地の環境保全に関し、これまでの環境保全対策費、費用負担の考え方、監視測定体制の整備計画の有無と今後の方針等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があって、生活環境部所管に対する質疑を終結。

○3月22日（水） 午前10時50分、第1委員会室において開議、午後4時42分散会

第1分科委員長 伊藤 知則（自民）

① 開発調整部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第2分科委員（共産）の本分科会への出席及び開発調整部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終結後これを許可することをはかり、異議なくそのことに決定。ついで

砂原 清治委員（社会）から、エネルギー問題に関し、発展計画における総合エネルギー対策の進め方、「ガス系燃料による発電」の内容、LPGの発電についての北電の検討内容、LPGの経済性と安定供給についての問題点等について

質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁。議事進行の都合により午前11時34分休憩、午前11時40分再開し、引き続き午前11時41分休憩、午後1時36分再開し開発調整部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

砂原 清治委員（社会）から、LPGに対する道の取り組み内容、新潟県のLNG輸入プロジェクトへの道の参加についての検討結果とその問題点、エネルギー政策に対する道の機構のあり方、新潟県との具体的話し合いの有無等について

質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁。議事進行の都合により午後2時11分休憩、午後2時18分再開し、開発調整部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、砂原清治委員（社会）から意見があり、ついで、

藤井 虎雄委員（社会）から、発展計画と総合開発計画に関し、広域生活圏の機能の十分性、広域生活圏構想における「人口の定着、増加」等の発想の有無、総合開発計画における総合環境圏と広域生活圏及び4

ブロック構想の相違点、53年度予算における低開発地帯への投資の傾斜配分状況、従来のブロック別の投資状況、道央への投資偏重と道央地区新産都市建設基本計画との関連、均衡ある発展のための傾斜配分の具体的方法、発展計画に係る個別計画策定の考え方、4ブロック構想と関連して支庁の地域区分是正の今後の検討方針等について（関連して、武部 勤委員（自民）から、「過疎」の意味、地域振興の強力な推進方等について）

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長及び我孫子同部次長から答弁。議事進行の都合により午後3時54分休憩、午後4時5分再開し、ついて

山家 勇委員（社会）から、本道における鉄道の新線の工事状況に関し、新線建設の現状と目途及び根本的打開策、従来の建設促進運動の反省方、石勝線の開業に伴う影響と対策、関係市町村及び鉄建公団等の話し合いの状況、工事線11線の完成目途策定方等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。

○3月23日（木） 午前10時36分、第1委員会室において開議、午後4時4分散会  
第1分科委員長 伊藤 知則（自民）

① 開発調整部所管に対する質疑に入り、

影山 豊委員（社会）から、苫東開発問題に関し、マスタープラン見直しの進捗状況と高山委員会（苫東全体構想調査委）報告における完成目標年次、苫東第1段階計画における企業立地の遅れに対する見解、第1段階計画と道との関連等について

質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁。議事進行の都合により午前11時3分休憩、午前11時54分再開し、開発調整部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

影山 豊委員（社会）から、54年以降の実行計画の有無並びに第1段階計画との関連、第1段階計画達成不能についての見解、苫小牧市の54年以降計画についての考え方と道の考え方との相違、54年以降の扱いに係る今後の関係者間協議の方法と時期等について

質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁。議事進行の都合により午後零時41分休憩、午後2時21分再開し、開発調整部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

影山 豊委員（社会）から、54年以降計画の進め方石油備蓄受け入れに当たっての計画見直しの考え、防災対策及び環境アセスメントの進め方、苫東火発の進捗状況と運転開始の見通し、中国産原油に係る重質油分解装置の苫東設置問題についての国の姿勢及びやり方に対する見解、石油備蓄基地問題等における地方自治

体への事前連絡なしの国のやり方についての見解等について

質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁。議事進行の都合により午後3時17分休憩、午後3時22分再開し、開発調整部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

影山 豊委員（社会）から、国への事前連絡についての要請方、中国産原油問題についての通産省への問い合わせ内容と環境保全上の問題についての考え方、苫東開発に係る地元自治体の財政負担問題への取組み方並びに特別立法の必要性についての考え方等について質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。議事進行の都合により午後3時52分休憩、午後4時3分再開し、本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

○3月24日（金） 午前10時31分、第1委員会室において開議、午後4時13分散会  
第1分科委員長 伊藤 知則（自民）

① 開発調整部所管に対する質疑を続行、

伊藤 武一委員（公明）から、(1)公共事業に関し、公共事業の経済的波及効果、事業費に占める用地費の割合、道公共事業等推進本部の設置目的とその役割、工事の適期発注に対する考え方、地元中小企業に対する従来の発注実績と53年度の計画、分割発注の対象業種、建設資材の値上がり状況の実態把握、資材価格の地域間格差に対する今後の方針、公共事業の大幅増への市町村の対応、(2)石狩湾新港に関し、石狩開発株式会社の経営状況と増資の理由及び今後の経営見通し、関係市町の出資動向、石狩湾新港開発と地域の均衡ある発展との関連、新港の供用開始の目途、企業立地の見通し、工業用水確保の見通し、用地の売却状況、道内からの進出希望企業、管理組合の過年度経費の額とその負担、企業選定基準の有無と策定目途、道央以外の地域の発展への取り組みと道の機構のあり方、企業誘致連絡協議会等の設置による連携及び調整の必要性、工業団地の地価対策、(3)陸運行政のあり方に関し、道の基本姿勢、陸運事務所の許認可業務の実態等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長及び石狩湾地域開発事務局長から答弁。議事進行の都合により午後零時46分休憩、午後2時40分再開し、開発調整部長から休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

伊藤 武一委員（公明）から、陸運行政に係る権限の地方への移譲に対する取り組み方等について

本間 喜代人委員（共産）から、(1)石狩湾新港に関し、48年の道と漁協の覚書に関連して航路問題等についての法体系の改善整備要請の状況、船舶の航行によ

る漁業被害についての救済制度の構想内容、石狩湾新港で取扱う石油量と苫東石油備蓄基地との関連等について

質疑及び意見があり、開発調整部長及び石狩湾地域開発事務局長から答弁。議事進行の都合により午後3時24分休憩、午後3時28分再開し、開発調整部長から休憩前の質疑に対する答弁の後、本間喜代人委員から、発言があって、開発調整部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため午後3時31分休憩、午後3時37分再開。

② 各種委員会所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、川崎守第2分科委員（共産）の本分科会への出席及び各種委員会所管に対する発言の申し出について、これを許可することををはかり、異議なくそのことに決定。ついで

川崎 守委員（共産）から、下請保護問題に関し、道の下請保護についての考え方、下請保護に係る規則の明確化、建設工事標準下請約款について元請と道の契約に織り込む考え、建設工事執行規則等改正に対する見解等について

質疑及び意見があり、副出納長から答弁。議事進行の都合により午後4時1分休憩、午後4時6分再開し、副出納長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、川崎守委員（共産）から、発言があって、各種委員会所管に対する質疑を終結。

○3月25日（土） 午前10時30分、第1委員会室において開議、午後4時20分散会

第1分科委員長 伊藤 知則（自民）

① 総務部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第2分科委員（共産）の本分科会への出席及び総務部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終結後これを許可することををはかり、異議なくそのことに決定。ついで、

渋谷 澄夫委員（社会）から、(1)地方事務官制度に関し、同制度に対する道の考え方、制度改正についての働きかけとその結果、陸運関係の地方事務官制度の廃止決定の内容と全国知事会の要望事項の実現見通し厚生省関係及び労働省関係の地方事務官制度への対処方針、(2)雑居ビルの防災対策に関し、道内の雑居ビル火災の状況と防災体制の現状及び道の指導内容、消防法改正に係る消防用設備の改善状況と改善促進のあい路、小規模ビルの規制強化の必要性、雑居ビルの安全性に係る一般市民への周知策、消防用設備改善に係る資金対策、(3)道東沖地震の際の浜中町における防潮堤水門の操作状況、道と浜中町の施設管理委託関係と水門管理に係る責任、管理委託費の十分性、市町村の防災計画及び施設管理体制に対する指導、水門の操作を電

動式にする考え、施設設備の総点検の考え等について質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。議事進行の都合により午後零時42分休憩、午後2時16分再開し、ついで

一野坪 勉委員（社会）から、道政の執行体制に関し、管理職の配置基準と職務内容、主幹の大幅増員の理由とその業務内容及び課長補佐との関係、参事の増員理由とその業務内容及び課長との関係、管理職に係る所属職員数のアンバランスに対する考え方、管理職の増加と一般職員の労働強化及び労務管理強化との関連、職制に係る分担事務の明確化等について

藤井 虎雄委員（社会）から、伊達火発パイプライン工事に関し、消防法の許可と工事の施工との関連、工事の施工の実態と施工要領書及び工事仕様書との関連、消住地区の張り芝ののり面亀裂等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。議事進行の都合により午後3時11分休憩、午後3時14分再開し、総務部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後引き続き、

藤井 虎雄委員（社会）から、舗装道路の亀裂とパイプライン埋設との関連、工事施工に伴う水道管破損に対する見解、開削部の埋め戻し工事の状況等について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁。議事進行の都合により午後3時27分休憩、午後3時34分再開し、総務部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

藤井 虎雄委員（社会）から、埋め戻し工事と湧水との関連、排水に使用したくり石の処理、地下水の高い所における鋼矢板打ち込みの効果、地下水についての工事の計画段階の見通しと現状、工事に伴う住民に対する「迷惑」についての考え方等について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁。議事進行の都合により午後4時2分休憩、午後4時3分再開し、総務部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

藤井 虎雄委員（社会）から、環境保全対策における鉄砲水対策としての側溝整備の進め方、道路を横断してパイプを敷設する場合の埋め戻し方法並びに道路法施行令17条との関連等について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁。議事進行の都合により午後4時13分休憩、午後4時19分再開し、本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

○3月27日（月） 午前11時27分、第1委員会室において開議、午後7時38分閉会

第1分科委員長 伊藤 知則（自民）

① 総務部所管に対する質疑を続行、

総務部長から、3月25日の藤井虎雄委員（社会）の質疑に対する答弁の後、引き続き、

藤井 虎雄委員（社会）から、道路の埋め戻しに係る道路法施行令と北電の土木工事仕様書との関連、仕様書の提出方、電気設備技術基準の省令とパイプラインに係る通信ケーブルとの関連、パイプの道路斜め横断と消防法との関連、地下水についての予想と現実の差に対する見解、胆振線の線路付近工事における出水についての考え方等について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁。議事進行の都合により午前11時54分休憩、午前11時58分再開し、総務部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

藤井 虎雄委員（社会）から、地下水とパイプラインの安全性との関連等について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁。議事進行の都合により午後零時17分休憩、午後3時17分再開し、総務部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、藤井虎雄委員（社会）から、発言があり、ついで

岩崎 守男委員（社会）から、地方債に関し、発行条件決定の要因、発行者としての本道の財政力の地位本道における金融事情、発行形式等が本道と同じ府県の有無並びに金利に差がある理由、金利引き下げに係る努力方、シジケート団引き受け以外の縁故債利率のあり方等について

伊藤 武一委員（公明）から、(1)天下り問題に関し天下りの実態と年齢別の状況、外郭団体の職員の年齢制限に対する考え方、天下り職員に係る給与等に対する要綱等を検討する考え、外郭団体設立のあり方、道青少年会館温水プールにおける水死事故に対する道の責任、(2)財政問題に関し、52年度の道税の決算見込みと増収見込み額、52年度の収支見通し、53年度道税収入の見積もり根拠、今後の補正要因と交付税の年間見通し、53年度における本道の交付税の全国に占める割合が従来より低い理由とその積算根拠、開発公共事業に充当した道債における通常分と特別分、今後の国の財源補てん対策の要請方、起債の早期決定の必要性、53年度の一時借入金の利子所要額の算出根拠、交付税の交付時期についての制度改正の必要性、超過負担解消への努力内容及び国の超過負担解消計画との関連等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長及び財政課長から答弁。議事進行の都合により午後6時11分休憩、午後6時21分再開し、ついで

本間 喜代人委員（共産）から、(1)社会環境浄化対策に関し、道警主体の浄化運動の妥当性、重点地区選定の考え方、(2)婦人行動計画に関し、婦人の定年制問題及び賃金格差問題への取り組み、労働基準法の見直し要請についての表現のあり方、母子家庭の就労機会

拡大対策、女子職業訓練所への保育所設置方、芸術大学設置との関連、「衛生大学の設置構想の推進」の考え方、前半期計画策定の考え、道の各種審議会等への婦人の登用方、道庁における婦人の役付人数、(3)46年の全日空と自衛隊機の衝突事故に関連して、自衛隊機乗組員の減刑嘆願署名運動への自治体職員の関与の事実関係、自衛隊協力会事務局等の町村役場内設置に対する道の指導方等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があった。総務部所管に対する質疑を終結。

② 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

③ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

## 第 2 分 科 会

○3月14日（火） 午後5時11分、第2委員会室において開議、午後5時20分散会

第2分科委員長 舟山 広治（社会）

### 正副委員長の互選

① 指名推選の方法により、分科委員長には舟山広治委員（社会）、分科副委員長には石山直行委員（自民）をそれぞれ選出。

② 付託案件に対する審査日程、質疑方法等について協議、決定した。

③ 本分科会の運営についてはかり、自民、社会、道政及び公明各1名、計4名の理事を選び、その協議によりこれを行うことをはかり、異議なくそのことに決定。理事には、平野明彦委員（自民）、吉田英治委員（社会）、木村喜八委員（道政）及び工藤啓二委員（公明）をそれぞれ選出。

○3月17日（金） 午前10時38分、第2委員会室において開議、午後5時26分散会

第2分科委員長 舟山 広治（社会）

① 民生部所管に対する質疑に入り、

一野坪 勉委員（社会）から、老人医療問題に関し「福祉的観点」の意味と国の現行制度に対する考え方老人福祉に対する基本的考え方と無料化拡大提案の背景、老人医療給付特別対策事業の受給対象者の推計方法と推計誤りの責任、昭和45年の厚生行政基礎調査を推計資料としたことの妥当性、1月25日現在の「受給対象者数4,573名」の内容、2月15日の市長会の老人医療担当者会議の目的とそこででの主な意見及び道の対応姿勢並びに各市から報告された対象見込み数、家族

条件に係る特例拡大措置の考え方及び従来の姿勢との関連、特例拡大についての総合医療協議会との関係並びに道民の意向との関連、特例拡大に伴う対象見込み数の積算根拠と内訳及び今後の推移への対処方針、市町村財政への十分な配慮の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。議事進行の都合により午後零時6分休憩、午後1時17分再開し、ついで

吉田 英治委員（社会）から、(1)札幌市身体障害者福祉センターに関し、建設費に係る道費補助の有無と今後の取扱い、(2)社会福祉長計に関し、養護老人ホーム入所希望者の待機状況と空床の原因及び特別養護老人ホームの状況、ローリングシステムによる実態に対応した計画修正の有無、保育所整備の進行状況と保育所未設置の市町村数、公私立保育所の実態、保育所の事務職員の定数化についての考え方、(3)脳性麻痺対策に関し、昭和43年の道児童福祉審議会の意見提出以来の施策内容、早期発見対策と予算の措置内容、(4)福祉のあり方に関し、「開かれた福祉」の意義と身障者福祉村のあり方及び職員養成の進め方、職員住宅のあり方福祉村の施設費及び運営費の額と対象者数との関連、身障者の雇用問題に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。議事進行の都合により午後2時47分休憩、午後3時24分再開し、ついで、

伊藤 武一委員（公明）から、老人問題に関し、現行の老人医療無料化拡大制度を再検討する考え並びに国保財政への波及に対する道費助成増額の考え、国民健康保険の全国一本化に対する見解、老人健康診査の受診率が低い原因とその向上策及び医療過疎地における受診機会の確保、訪問医療看護制度への今後の取り組み方、リハビリテーション施設に対する基本的考え方、特別養護老人ホームの整備状況と今後の方針並びに医療の確保への取り組み方、国の療護型特別養護老人ホームの実現見通し、軽費老人ホームの今後の整備計画、老人生きがいづくり懇話会の論議内容と今後の反映方法、在宅老人援護対策に対する今後の取り組み家庭奉仕員派遣制度の実態と今後の改善策及び奉仕員への待遇のあり方、寝たきり老人の介護手当引き上げの考え、ひとり暮らし老人対策としての福祉パトロール制度に対する検討結果、寝たきり及びひとり暮らし老人の実態と今後の取り組み方、老人対策についての各部の連絡調整の進め方等について

川崎 守委員（共産）から、(1)病院の差額ベット及び付添看護料問題に関し、本道における徴収の現状、基準看護実施病院に対する指導のあり方、患者に対する周知徹底方、看護料に係る告示料金の改定方、(2)高額療養費の受給委任方式についての医師会との協議の現状、道自体として貸付制度実施の考え方及びその時期

(3)身体障害者住宅整備貸付資金の貸付対象者と利率のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があって、民生部所管に対する質疑を終結。

○3月18日（土） 午前10時46分、第2委員会室において開議、午後3時12分散会

第2分科委員長 舟山 広治（社会）

① 衛生部所管に対する質疑に入り、

吉田 英治委員（社会）から、(1)スモン対策に関しスモン患者専用の病床整備と薬害防止に対する取り組み姿勢、スモンを難病に含めることの妥当性、スモンの会の代表と知事との会見方、カルテの保存期間が過ぎて証明のない者に対する措置、(2)筋拘縮症対策に関し、本道における患者の実態、医療給付制度における年令制限の改善と形成外科の医療費給付に対する取り組み方、(3)衛生大学に関し、基本構想、早期設立の必要性、衛生大学設立後の札幌衛生学院の扱い、理学療法士及び作業療法士修学資金貸付額の引上げ方等について

藤井 虎雄委員（社会）から、廃棄物処理法の適用に関し、市町村の清掃事業に対する道の責務、一般廃棄物の収集運搬等についての委託の法律関係、浜益町における受託業者の委託基準への妥当性、当該業者の不法投棄に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。議事進行の都合により午前11時57分休憩、午後零時3分再開し、引き続き、藤井虎雄委員（社会）から、発言があって午後零時10分休憩、午後零時12分再開し、議事進行の都合により午後零時13分休憩、午後1時18分再開し、ついで、

湯本 芳志委員（社会）から、(1)非喫煙者を守る運動に関し、守る会からの要望のその後の措置、53年度における当該運動についての予算措置、道立病院及び保健所等での禁煙措置方と医療機関等への指導方針、公衆衛生全般からみたたばこの害の認識と今後の方針(2)北全病院に関する諸問題に関し、精神衛生法に基づく同病院に対する48年の審査内容と審査のあり方、同病院に対する増床許可の妥当性、同病院の運営実態の把握状況等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。議事進行の都合により午後2時42分休憩、午後2時47分再開し、衛生部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後引き続き、

湯本 芳志委員（社会）から、医療法における政令指定市長の権限及び立入検査等の権限と道との関連、北全病院に対する医療法に基づく今後の対処方針等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。

○3月22日(水) 午前10時38分、第2委員会室において開議、午後4時56分散会

第2分科委員長 舟山 広治(社会)

① 衛生部所管に対する質疑を続行、

高橋 勉委員(公明)から、(1)旭川高等看護学院に関し、旭川大学から建物を借受けた理由と契約解除の申入れの経緯、借上料が53年度予算で大幅増となる理由、新校舎建設に伴い定数減とする理由及び看護婦需要への対応策、旭川医科大学へ将来移管する考え、(2)水道問題に関し、簡易水道及び専用水道における飲用不適の実態とその措置、未認可、未確認水道の実態と対策、飲用不適に対する改善命令とその結果、石狩開発会社の専用水道について、飲用不適の状態が今日まで改善されていないことの責任と今後の十分な指導方(3)道立病院の整備に関し、地域センター病院について53年度の指定見通し、各医療圏へそれぞれ設置する考え及び発展計画との関連、道立病院の整備の考え方、道立松前病院及び寿都病院の町立移管をする考え並びにその妥当性等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。議事進行の都合により午後零時4分休憩、午後1時37分再開し、ついで

本間 喜代人委員(共産)から、(1)精神衛生に関し道立精神病院の設置状況と新設の方針、道立と市町村立の割合及び精神衛生法4条との関連、市町村立精神病院に対する運営費助成の考え方、(2)難病対策に関し難病センター建設についての考え方、53年度の難病患者の実態調査内容、(3)道立病院医師の医学研究調査手当の増額に関し、支給額を4ランクに分けた理由とランク別病院数、従来財政負担をしていた市町村への対処等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって、衛生部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため午後2時24分休憩、午後2時28分再開。

② 土木部所管に対する質疑に入り、

一野坪 勉委員(社会)から、(1)車輛計測所の設置に関し、道内における国道及び道道の道路延長状況並びにトラックの通行台数と道外大型車輛の把握、制限重量超過車の実態と違反車に対する措置の状況、車輛計測所設置の実情と道道に設置していない理由及び今後の計画、(2)除排雪及び融雪災害対策に関し、積寒法における特別措置の内容、指定道路に対する措置内容第8次道路整備5カ年計画の考え方、融雪対策に取り組む道路管理者としての姿勢と排水路等に対する考え方、除雪車格納庫等に係る市町村に対する助成制度の確立、融雪災害防止対策の進め方と融雪災害増高の原因、急傾斜地の指定状況、(3)公共事業施行に伴う未処理用地に関し、未処理用地の実態と今後の処理計画等について

吉田 英治委員(社会)から、(1)道建設審議会に関し、審議会の設置目的と諮問に対する答申の見通し、下請の実態、建設工事標準下請契約約款の普及努力方業者間の代金支払遅延解消策、分離、分割発注の考え方と下位ランク業者への発注目標、公共事業施行対策北海道地方協議会による地元業者への配慮、(2)公共事業の執行に関し、事業の消化に当たっての技術・用地職員の補充計画、建設資材の需給見通し、労務者確保の見通し、(3)道路管理に関し、道々におけるパトロールの実態、歩道整備及び道路照明整備の進め方等について

小野 秀夫委員(道政)から、海岸環境整備事業に関し、53年度の海岸環境整備事業費の内訳、室蘭汐見地区事業の全体計画と進捗状況及びレクリエーション基地の供用開始時期、同事業の漁業への影響とイタンキ漁港改修事業の進め方、汐見公園の整備状況等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁。

○3月23日(木) 午前10時37分、第2委員会室において開議、午後5時37分散会

第2分科委員長 舟山 広治(社会)

① 土木部所管に対する質疑を続行、

川崎 守委員(共産)から、公共事業に関し、分離・分割発注の考え方、分離・分割発注件数の減少原因と53年度における見通し、共同企業体の結成目的と指導のあり方、下請届提出の実態と道のチェック体制のあり方、下請届等の内容改善の必要性、前払い金等の下請への支払いについて工事執行規則に規定する考え一般競争入札をしない理由と地方自治法施行令等との関連、建設業者の実態調査をする考え等について質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって、土木部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により午前11時56分休憩、午後1時24分再開。

② 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

吉田 英治委員(社会)から、(1)公団、公社関係の住宅問題に関し、公団及び公社の分譲住宅の実態と理想価格についての考え方、本道における公団住宅の実態と家賃値上げ対象戸数、家賃の適正負担率と公団住宅の値上げ後の負担率、家賃の建築原価制度見直しに対する見解、(2)公営住宅に関し、二種住宅の要望が高まっている理由、第3期住宅建設5カ年計画の目標とその進捗状況及び公営住宅の建設見通し、(3)持ち家住宅に関し、寒住法防寒基準適用の実態と今後の行政指導の進め方、寒地住宅建設費用の補助についての考え方、宅地対策についての考え方、建築基準法施行条例の雪どめ設置についての検査及び確認の実態、宅地建物紛争の増加に対する対策、スノーダクト方式の普及の進め方、住宅ローンについての相談窓口等のあり方

等について

中田 繁夫委員（社会）から、道管北広島団地に関し、分譲不振の原因と対策内容、分譲促進のための新住法改正要請の考え、分譲価格の決定方法と今後の見通し及び近郊地価に与える影響、分譲促進のための地価対策のあり方、集合住宅用地の処分対策とその見通し、公団住宅の空家状況と未募集住宅の理由及び建設に当たっての住宅需要の事前調査の方法、公団の未分譲住宅の分譲開始の見通し、熱供給事業の再編対策の進捗状況と見通し、北広島団地における熱供給事業の当初計画と今後の経営改善見通し及び道の責任等について

柳谷 正一委員（公明）から、公営住宅に関し、第3期5カ年計画における公営住宅の日標達成の見通しと53年度の建設計画、53年度において道管住宅建設戸数が減少している理由、計画見直しの考え、道管と市町村営の比率根拠と今後の方針、前年度繰越し分消化の計画、建替え事業の現状と今後の計画、居住水準の現状と改善の見通し等について  
質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。

○3月24日（金） 午前10時58分、第2委員会室において  
開議、午後零時10分散会

第2分科委員長 舟山 広治（社会）

① 住宅都市部所管に対する質疑を続行、

分科委員長から、川崎守委員（共産）の質疑取り下げについて報告があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

② 企業局所管に対する質疑に入り、

吉田 英治委員（社会）から、(1)基本問題に関し、公営企業の今後の運営方針、苫東開発についての見解と先行投資のあり方、(2)電気事業に関し、ポンテジオ発電所建設の理由と計画の内容及び維持管理の方法、電力料金改訂の時期、電力事業近代化による経済効果(3)工業用水事業に関し、経営状況、内部留保資金の性格と規模、第2苫小牧工業用水道の給水予定対象と料金設定のあり方、(4)工業団地開発事業に関し、苫小牧市農協の買収地の利用実績と旧開拓農協用地に係る訴訟の経過、苫東基地における用地買収の現状と今後の方針、苫小牧市有地の買収交渉の経過、(5)有料道路事業に関し、支笏湖畔有料道路の料金無料化の時期等について

質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者及び企業局長から答弁があって、企業局所管に対する質疑を終結。

○3月25日（土） 午前10時50分、第2委員会室において  
開議、午後4時24分散会

第2分科委員長 舟山 広治（社会）

① 教育委員会所管に対する質疑に入り、

一野坪 勉委員（社会）から、(1)高等学校授業料値上げに関し、地方財政計画準拠の考え方及び教育的配慮との関連、他府県の改定状況、値上げ幅についての見解、授業料値上げに関する経緯と教育委員会の主体性、値上げによる増収額と教育費への還元内容、公費の父母負担調査に係る公費負担対象額の考え方、父母負担解消の具体策、(2)教職員の研修旅費に関し、普通旅費を増額しない理由と今後の方針、自主研修と計画研修の性格、自主研修旅費増額の考え、(3)公立高校入学者選抜方法改善試案に関し、入選協答申以後試案決定までの経過、実施時期の考え方、道民の意見反映の考え方、入選協答申に対する基本的見解と試案との関連、発展計画及び教育長計を通じての学校の条件整備推進と学区制との関連、試案における学区規模と答申の精神との関連、「収容率の均衡化」の考え方と今後の新增設計画、55年度の公立高校全日制の収容率の考え方、空知第2学区と第5学区において総合選抜制を採用しなかった理由、学力検査の科目数の考え方、「引き続き検討すべき事項」における「大学進学希望者に対する学力向上対策」と「一定の学力水準に到達できない生徒に対する留年、退学等の措置の拡大」の考え方等について、（関連して、平野 明彦委員（自民）から、改善試案と教育委員会との関連、道民の意見を聞く会における総合選抜制導入についての意見聴取等について）

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。議事進行の都合により午後零時53分休憩、午後3時12分再開し、ついで、

吉田 英治委員（社会）から、スポーツの振興に関し、スポーツ課新設の目的、派遣社会教育主事（スポーツ担当）の配置状況と業務内容及び今後の計画並びに資格取得のあり方、道立高校の格技場及び水泳プールの整備状況と今後の計画、体育指導委員の人数とその地位及び事故補償の考え方、体育指導委員総合保険制度発足の有無、指導委員の養成と増員計画、スポーツ少年団の育成事業、公共スポーツ施設の増設方と高校及び大学等の学校開放の進め方、北海道青少年スポーツセンターの設置経過と現状、体育研修総合センターの設置構想等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。

○3月27日（月） 午前11時37分、第2委員会室において  
開議、午後2時51分閉会

第2分科委員長 舟山 広治（社会）

① 教育委員会所管に対する質疑を続行、

工藤 啓二委員（公明）から、(1)道立近代美術館に関し、開館以来の入館状況、作品収集の基本方針、現在までの収集状況と購入財源のあり方及び今後の計画



(2)PTA活動に関し、道立学校の記念事業の実施状況と寄付受納の実態及びそのあり方並びに今後の指導策謝恩会に対する見解とその実態及び今後の指導方針等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。議事進行の都合により午後零時20分休憩、午後零時21分再開し、引き続き午後零時22分休憩、午後1時45分再開。ついで、

本間 喜代人委員（共産）から、(1)公立学校の記念事業に係る住民負担に関し、鶴川町立田浦小学校における記念事業の内容、寄付金集めのあり方、記念事業による校内整備の妥当性と教育予算のあり方、(2)幼稚園就園奨励費補助金の実態、小中学校就学援助費におけるスキー、スケート補助の実態と未実施市町村に対する指導策、就学援助関係の手引書を改定出版する考え、(3)公立高校入学選抜に関する改善試案に関し、試案の主眼、実施時期の考え方、56年度以降の考え方等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があって教育委員会所管に対する質疑を終結。

② 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

③ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

### 第 3 分 科 会

○3月14日（火） 午後5時13分、第8委員会室において開議、午後5時24分散会  
第3分科委員長 工藤万砂美（自民）

#### 正副委員長の互選

① 指名推選の方法により、分科委員長には工藤万砂美委員（自民）、分科副委員長には野中富雄委員（社会）をそれぞれ選出。

② 付託案件に対する審査日程、質疑方法等について協議、決定した。

③ 本分科会の運営についてはかり、自民、社会、道政及び公明各1名、計4名の理事を選び、その協議によりこれを行うことをはかり、異議なくそのことに決定。理事には、岩本允委員（自民）、星野健三委員（社会）松崎義雄委員（道政）及び柳谷正一委員（公明）をそれぞれ選出。

○3月17日（金） 午前11時7分、第8委員会室において開議、午後4時48分散会  
第3分科委員長 工藤 万砂美（自民）

① 農地開発部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第2分科委員の本分科会への出席及び農地開発部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終結後これを許可することををはかり、異議なくそのことに決定。ついで

星野 健三委員（社会）から、工事発注に関し、52年度のランク別工事発注状況、A、Bクラス業者への下位等級工事発注の理由とその妥当性、53年度における中小業者に対する工事発注の考え方、発注状況に係る資料収集方、紅葉山第2地区橋梁工事における元請と下請及び孫請との契約月日並びに契約金額に係る事実関係等について

質疑及び意見があり、農地開発部長から答弁。議事進行の都合により午後零時15分休憩、午後4時2分再開し、農地開発部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、星野 健三委員（社会）から、発言があり、ついで、

柳谷 正一委員（公明）から、(1)予算執行に当たっての基本的考え方に関し、予算増加に伴う執行体制の整備の考え方、格づけ業者数と受注業者数及び新規業者の取扱い方針、(2)水田転作推進に伴う土地基盤整備に関し、条件の悪い地域における今後の取り組み方、用排水路未整備水田に対する事業の進め方、(3)公共事業に関し、農業基盤整備事業による労働者の吸収見込みと事業費に占める労賃、道南地方における農業基盤整備事業推進に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。議事進行の都合により午後4時30分休憩、午後4時32分再開し、ついで、関連して、青木 延男委員（社会）から、Cクラス以下業者に対する発注シエアの考え方等について

質疑及び意見があり、農地開発部長から答弁。

○3月18日（土） 午前10時46分、第8委員会室において開議、午後1時42分散会  
第3分科委員長 工藤 万砂美（自民）

① 農地開発部所管に対する質疑を続行、

本間 喜代人委員（共産）から、森町濁川地区防災ダムに関し、防災ダムにかわる河川改修についての検討の有無、ダム築造に係るコア材の材質の安全性、コア型フィルダム以外の工法検討の考え等について（関連して、阿部 恵三男委員（自民）から、関係農民との十分な打合せ方について）

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって、農地開発部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため午前11時16分休憩、午前11時21分再開。

② 林務部所管に対する質疑に入り、

青木 延男委員（社会）から、道内営林局の統廃合

問題に関し、林業行政に対する基本的考え方、農林省設置法一部改正の意図の受けとめ方、道内営林局統廃合による赤字解消効果に対する考え方、設置法66条の改正による影響等について

質疑及び意見があり、林務部長から答弁。議事進行の都合により午前11時44分休憩、午前11時46分再開し、林務部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

青木 延男委員（社会）から、営林署及び支局統廃合の省令による自由化に対する考え方等について

質疑及び意見があり、林務部長から答弁。議事進行の都合により午前11時56分休憩、午後零時再開し、林務部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き

青木 延男委員（社会）から、市町村における統廃合反対決議の状況等について

質疑及び意見があり、林務部長から答弁。議事進行の都合により午後零時10分休憩、午後零時12分再開し、林務部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

青木 延男委員（社会）から、統廃合反対請願の受けとめ方、営林局の支局化による地域への影響、54年度以降の営林署統廃合問題への道の対応、50万人の反対署名の内容把握等について

質疑及び意見があり、林務部長から答弁。議事進行の都合により午後零時50分休憩、午後零時52分再開し、林務部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、青木延男委員（社会）から、発言があり、ついで、

牧野 唯司委員（公明）から、(1)造林の振興に関し53年度予算編成の考え方、人工林育成特別対策事業の内容、有珠山噴火災害関連造林対策事業の内容と今後の計画、外材輸入等による厳しい情勢にある本道林業について国への強力な施策の要請方、今後の施策展開の考え方及び発展計画との関連、(2)森林土木事業に関し、第4次治山事業の実績と第5次計画の概要、事業費の伸び率と事業費消化の見通し及び労働者の吸収見込み等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって、林務部所管に対する質疑を終結。

○3月22日（水） 午前10時43分、第8委員会室において開議、午後3時4分散会

第3分科委員長 工藤 万砂美(自民)

① 水産部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、川崎守第2分科委員（共産）の本分科会への出席及び水産部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終結後これを許可することをはかり、異議なくそのことに決定。ついで、

湯本 芳志委員（社会）から、人工魚礁に関し、魚礁設置による資源増大への効果と調査研究状況、適地

調査の方法と設置場所の有効範囲、設置の方法と拡散の度合及び効果確認方法、事業の施行方法と工事監督の体制及び職員の増員見通し、沿岸漁場整備開発事業の進捗と将来見通し等について

星野 健三委員（社会）から、流通魚価対策に関し水産物の流通動向調査の目的と調査結果に対応する施策、51年の調査における調査対象品目の考え方と今後の調査対象品目のあり方及び調査計画の確立、物価モニターの人員と報告方法及び報酬内容並びにモニター制度のあり方、モニターの対象魚種等について

質疑及び意見があり、水産部長から答弁。議事進行の都合により午前11時55分休憩、午前11時57分再開し、水産部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

星野 健三委員（社会）から、消費地、産地市場価格の情報提供の仕組み、魚価の異常高騰要因とその対応策、魚転がし及び便乗値上げ等の実態把握、冷蔵庫の設備能力の現状と水産物の在庫状況等について

質疑及び意見があり、水産部長から答弁。議事進行の都合により午後零時28分休憩、午後1時46分再開し、水産部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

星野 健三委員（社会）から、売り惜しみ等の実態調査のあり方等について

柳谷 正一委員（公明）から、栽培漁業の推進に関し、事業推進体制の確立についての考え方、種苗生産施設設置事業についての事業費と負担区分及び建設計画並びに設置場所選定の考え方、アワビ種苗の生産量と成員の生産量、アワビ中間育成事業の現状と今後の方向、大成及び奥尻の天然種苗との競合関係、有珠山噴火に伴うはたて貝養殖施設の沖出し事業の状況及び融雪の影響と対応策、サケ・マス資源増大再生産計画の増殖目標、稚内市に建設予定の道立水産ふ化場の概況、日本海地域の道立増養殖施設の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって、水産部所管に対する質疑を終結。

○3月23日（木） 午前10時48分、第8委員会室において開議、午後5時2分散会

第3分科委員長 工藤 万砂美(自民)

① 商工観光部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第2分科委員（共産）の本分科会への出席及び商工観光部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終結後これを許可することをはかり、異議なくそのことに決定。ついで

藤井 虎雄委員（社会）から、(1)石炭問題に関し、道内炭の貯炭増見通しと今後の需給関係、貯炭増に伴う石炭企業に対する影響、道の貯炭増加対策と貯炭基

地についての考え方、(2)電力問題に関し、今後の電力需給動向と電源立地の見通し、道東火発建設に対する考え方及び釧路の新鉾開発との関連、道東火発と共和・泊原発の運転時期との関連、共和・泊原発の59年運転開始の可能性、岩内郡漁協に対する原発問題の説明の考え方、北電の環境影響評価公表の時期、軽水ガに係る事故及び故障についての考え方等について  
質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。議事進行の都合により午後零時9分休憩、午後1時28分再開し、ついで

湯本 芳志委員（社会）から、プロパンガス価格に関し、北海道価格解消のための今日までの具体策、道の経営調査の具体的内容と調査結果、プロパンガス業界に対する金融措置の状況等について

質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。議事進行の都合により午後1時58分休憩、午後2時2分再開し、商工観光部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

湯本 芳志委員（社会）から、融資制度が価格安定に効果が上がらない原因とその分析調査の考え方等について

質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。議事進行の都合により午後2時15分休憩、午後2時53分再開し、商工観光部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

湯本 芳志委員（社会）から、充てん施設及び配送センターの協業化の具体的内容とその効果、深川市における配送センター協業化の効果と価格状況等について

質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。議事進行の都合により午後3時16分休憩、午後3時28分再開し、商工観光部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

湯本 芳志委員（社会）から、北海道プロパンガス問題協議会の開催状況とその内容、新規開発燃焼器具に対する道の対応、北海道価格解消の見通しと自信等について

青木 延男委員（社会）から、中小企業振興対策に関し、53年度中小企業振興対策の重点施策、信用保証制度の目的と道信用保証協会の推移及び道との関係、同協会における元道職員、無担保無保証人保証等の保証額が限度額を大幅に下回っている理由、企業規模別の信用保証実績の資料提出方、保証承諾の業種別状況無担保無保証人保証及び無担保保証の保証実績等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。議事進行の都合により午後4時53分休憩、午後5時1分再開し、本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

○3月24日（金） 午前10時53分、第8委員会室において開議、午後5時31分散会

第3分科委員長 工藤 万砂美（自民）

① 商工観光部所管に対する質疑を続行、

商工観光部長から、昨日の青木委員の質疑に対する答弁の後、引き続き、

青木 延男委員（社会）から、中小企業振興対策に関し、信用保証協会における保証内容の業種別及び規模別等の資料収集の必要性、小口保証の十分な活用方中小企業に対する指導事業の内容、商工会及び商工会議所等からの53年度道予算に対する経営指導員の増員等の要望と対処内容、商工会等の青年部・婦人部の実態と育成指導費の目的と助成額についての見解、経営指導員の金融あっせんの実態と融資申込みの際の企業に対する指導員の関与のあり方及び道の指導、中小企業金融に係る信用保証協会の運営のあり方等について質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。議事進行の都合により午後零時49分休憩、午後2時12分再開し、商工観光部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

青木 延男委員（社会）から、道と信用保証協会との損失補償契約の経過と目的、代位弁済の状況及び求償権行使の方針と実態、求償権放棄の基準とその公平性、求償権放棄の最高額と時期等について  
質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。議事進行の都合により午後3時8分休憩、午後4時8分再開し、商工観光部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

青木 延男委員（社会）から、零細企業に対する信用保証協会の債権取り立ての実態調査と指導方、金融円滑化の手段としての中小企業従業員の給料の銀行振込の実態把握と金融機関に対する善処要望方、歩積み両建て預金に対する現状認識、公定歩合引下げに伴う制度資金金利引下げの考え、旭川等における大型店進出と既存商店との関係に対する見解と「共存共栄」を図る施策の内容、旭川商店街に対する道の大型店進出対策特別診断報告書とイトーヨーカ堂進出計画との関連、商調協の指導能力及び大店法等改正の動きとの関連等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。議事進行の都合により午後5時29分休憩、午後5時30分再開し、本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

○3月25日（土） 午前10時44分、第8委員会室において開議、午後4時3分散会

第3分科委員長 工藤 万砂美（自民）

① 商工観光部所管に対する質疑を続行、

小野 秀夫委員（道政）から、工業立地に関し、工

業団地の需給状況と今後の見通し、最近の工業立地の動向、本道の問題点と今後の工業立地政策樹立のあり方、工業団地の造成に対する道独自の利子補給金制度及び団地の取得造成に対する長期低利の資金制度の創設並びに国の制度における本道に対する傾斜措置の要請等に対する考え方、道独自の工業団地供給計画作成に対する考え方、工業再配地促進法に基づく室蘭市の誘導地域追加指定の見通し、北海道工鉱業開発促進条例に基づく団地指定の考え方と室蘭及び函館等の取扱い等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。議事進行の都合により午後零時2分休憩、午後1時17分再開し、ついで、

牧野 唯司委員（公明）から、中小企業振興対策に関し、商工会、商工会議所の経営指導員の配置状況と国の補助基準の緩和要請方、指導員の給与水準、円高等による倒産の現状認識とその防止対策、政府の円高対策についての道の推進策、中小企業高度化資金の貸付率に対する見解、中小企業機械等購入資金及び設備近代化資金の貸付枠拡大についての考え方、(2)商業流通対策に関し、野菜の出荷奨励事業の内容とその効果野菜確保に関する今後の考え方、発展計画における施設園芸団地等の進め方、卸売市場の実態と機構及び道の指導方針等について

本間 喜代人委員（共産）から、(1)旭屋書店の進出経過と商調法に基づく協定に対する考え方、(2)道火災共済協同組合に関し、日高文化幼稚園の火災共済金の支払いについての経過と商法631条との関連及び今後の対応策、(3)岩内原発に関し、岩内郡漁協の反対決議の受けとめ方、北電と漁協との話し合い等に対する道の指導と原発の事故例についての報告のあり方、温排水が稚魚等に与える影響に対する考え方、岩内新港の建設計画と海水浴場との関連、原子力発電広報事業予算の内容等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁が、商工観光部所管に対する質疑を終結。

○3月27日（月） 午前11時28分、第8委員会室において開議、午後6時22分閉会

第3分科委員長 工藤 万砂美（自民）

① 労働部所管に対する質疑に入り、

青木 延男委員（社会）から、雇用対策に関し、北海道春闘共闘会議の要望への対処及び知事と田村議長の見解に対する考え方、本道の特性に即し雇用対策に臨む基本姿勢、新設課の執行体制とその実効性、公共事業の雇用創出効果と今後の雇用機会拡大策、雇用保険50日給付に関する季節労働者の実態把握、53年度における雇用創出計画、労働債権の不遅払に關連して賃金立替え払いの実情と雇用基金制度等創

設に対する考え方、失業多発地域雇用特別措置法（仮称）の制定働きかけに対する考え方、雇用対策協議会の設置促進方等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁。議事進行の都合により午後1時26分休憩、午後2時34分再開し、ついで

牧野 唯司委員（公明）から、(1)中小企業従業員福祉資金に関し、末端融資利率とその妥当性、貸付け手続のあり方、(2)雇用問題に関し、国の雇用政策に対する見解、中高年齢者対策の構想、(3)季節労働者問題に関し、基礎資料のあり方、積算給付金制度の運用に係る手続問題及び賃金立替え払い問題等に対する見解、市町村の特別就労事業についての財源対策、道外への出稼労働者対策、(4)職業訓練に関し、本道の職業訓練の実態と施設の整備状況、高学歴化に対応する設備及び内容の充実対策、離職者に対する職業訓練としての弾力的受け入れ体制の確立、季節労働者に対する短期訓練の枠の拡大、中高年齢者の職業訓練期間における訓練手当の現状と今後の対策、職業訓練指導員の資質向上と待遇改善の進め方、公共職業訓練と事業内訓練との役割分担の今後の進め方、技能検定職種との拡大と技能士の社会的位置づけに対する考え方等について質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁が、労働部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため午後3時58分休憩、午後4時2分再開。

② 農務部所管に対する質疑に入り、

星野 健三委員（社会）から、(1)米穀の小売販売に関し、小売業者の登録の仕方と営業所新設の手続、地域指定方式と支店方式との関連、(2)財団法人北海道農業開発公社の運営に関し、同公社の事業内容及び農業振興に果たす役割、道職員の公社役員兼務についての考え方及び寄付行為との関連、公社の農業機械に係る減価償却に比例法を採用している理由、資本金に対し借入金金が過大であることに対する見解、借入金の金利等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁。議事進行の都合により午後5時7分休憩、午後5時9分再開し、農務部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

星野 健三委員（社会）から、制度資金導入の可否今後の借入金額の見通し、農業開発公社の財団法人としての適格性等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁。議事進行の都合により午後5時20分休憩、午後5時30分再開し、農務部長から、休憩前の質疑に対する答弁の後、引き続き、

星野 健三委員（社会）から、決算書における従業員の預かり金の取扱い、決算書の作成方法の改善方等について

藤井 虎雄委員（社会）から、(1)稲作問題に関し、末端農家に対する転作目標面積割当ての状況と転作の難易度及び土地条件等との関連、基準等作成による割当て再検討の考え、青粘土及び重粘土水田の面積と転作指導及び土地改良の進め方、転作促進対策特別事業の需要と予算配分の時期、特別事業の趣旨の徹底と追加希望に対する対処、転作が中小規模農家経済に与える影響調査の実施方、農協の貸付金利引下げの指導方等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があって、農務部所管に対する質疑を終結。

- ③ 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。
- ④ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

〇3月28日（火） 午前11時6分、第1委員会室において開議、午後5時44分散会  
委員長 堀田 毅（自民）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 知事に対する総括質疑に入り、

星野 健三委員（社会）から、農地開発部関係の工事発注に関し、上位ランク業者の請負基準外受注の実態と厳格な請負基準による中小業者の受注拡大方、空知支庁の紅葉山第2地区道管開拓地整備事業橋梁下部工事における下請及び孫請の契約関係、下請に対する手形払いの妥当性、元請の施工管理費のあり方と道の指導方、下請人選定通知書に支払い方法を明記させる考え等について

岩崎 守男委員（社会）から、縁故債に関し、道の縁故債金利の他府県との比較及び発行方式との関連、シソケット団引受額以外の縁故債の発行条件のあり方、道の財政状況及び金融事情等の客観的条件を加味した縁故債発行条件の決定方、シソケット団結成による金利の高値安定についての見解、市町村縁故債の金利引下げに係る指導方、市町村の連携による銀行との交渉の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁。議事進行の都合により午後零時44分休憩、午後2時25分再開。ついで

一野坪 勉委員（社会）から、老人医療の無料化に関し、福祉的観点の理念と福祉のあり方、老人医療無料化拡大の根拠法、老人福祉対策における医療費問題のあり方、国の現行制度に対する評価、市町村における無料化拡大制度に対する見解、全国に先駆け65歳以上上全面無料化を行う考え、今回の家族条件緩和提案の

考え方及び議会の決議案、市町村の意向等との関連、家族条件緩和措置と総合医療協議会との関連並びに受給該当者からの意見聴取の有無、受給対象者の見込み数、老人医療対策の方向転換への決意等について

青木 延男委員（社会）から、道内営林局、署の統廃合に関し、国からの事前相談の有無とその内容、農林省設置法の一部改正による支局及び営林署統廃合の容易化についての見解、国有林野事業の赤字経営に対する見解、本道における森林の公益機能、営林署の統廃合計画が明らかになった場合の対応策、統廃合問題に対する関係自治体の反対決議の状況と受けとめ方、営林署統廃合に関する閣議決定についての考え方等について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁。本会議開会のため午後4時21分休憩、午後4時45分再開し、引き続き、

青木 延男委員（社会）から、(1)営林署等統廃合に関する反対決議及び署名の受けとめ方と今後の対応策(2)雇用対策に関し、雇用安定に対する基本的姿勢、雇用保険90日給付復活についての考え方、53年度における雇用創出のための具体的計画、公共事業及び民間事業による吸収見込み人員、失業多発地帯雇用特別措置法の制定についての働きかけ方等について

川崎 守委員（共産）から、建設工事執行規則の改正に関し、下請保護についての考え方、工事執行規則改正の必要性、前払い金の下請への支払い及び下請負契約書写しの提出の義務づけ等の規則制定の考え等について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって、知事に対する総括質疑を終結。

- ③ 付託案件に対する意見調整について、各派代表者会議において行うことをはかり、異議なくそのことに決定。

〇3月29日（水） 午後5時59分、第1委員会室において開議、午後6時8分閉会  
委員長 堀田 毅（自民）

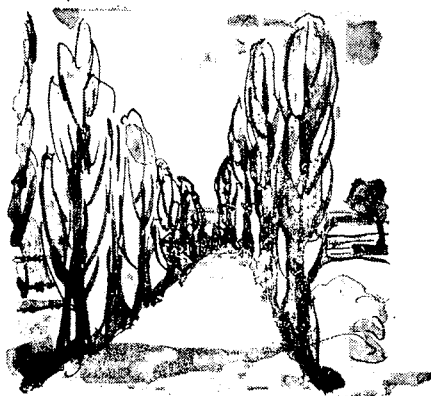
- ① 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果、湯本芳志委員（社会）ほか13人から、議案第1号第14号及び第16号については、これを撤回し、組み替えの上、再提出し、議案第41号については撤回されたいとの動議が提出されている旨を報告の後、湯本芳志委員（社会）から提出者の説明を行い、本動議を議題とし、起立採決の結果、起立少数（自民、道政、公明反対）をもって否決と決定。次に、議案第1号を議題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって原案のとおり可決することに決定。ついで、議案第14号、第16号及び第41号を一括議題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、共産反対）をもつ

て、いずれも原案のとおり可決することに決定。次に議案第15号及び第17号を一括議題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって、いずれも原案のとおり可決することに決定。ついで、議案第2号ないし第13号、第19号、第36号、第40号及び第42号ないし第52号を一括議題とし、異議なくいずれも原案可決と決定。

次に、湯本芳志委員（社会）から、議案第1号、第14号、第16号及び第41号について少数意見を留保する旨を発言。

- ② 付託案件に対する審議経過及び結果報告について、委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。
- ③ 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。

注 決算特別委員会については、委員長報告を行う定例会特集号に一括掲載いたします。



# 資 料

## 第1回定例道議会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
育児休業の許可を受けた職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	3. 15	3. 22	北海道条例第1号
札幌医科大学条例の一部を改正する条例	3. 29	3. 31	北海道条例第2号
北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第3号
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第4号
北海道土地開発基金条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第5号
北海道空港条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第6号
北海道青少年保護育成条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第7号
北海道保母修学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第8号
北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第9号
北海道看護職員養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第10号
精神衛生鑑定医の報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第11号
公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第12号
北海道立都市公園条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第13号
北海道有土地改良財産の譲与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第14号
北海道立学校設置条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第15号
北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第16号
北海道公立高等学校生徒学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第17号
北海道公立高等学校定時制課程及び通信制課程生徒学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第18号
北海道警察組織条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第19号
北海道地方警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第20号
北海道交通巡視員に対する被服の支給及び装備品の貸与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第21号

件名	議決月日	公布月日	公布番号
北海道公安委員会及び方面公安委員会の行なう許可等に関する手数料条例の一部を改正する条例	3. 29	3. 31	北海道条例第22号
北海道自動車保管場所証明手数料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第23号
北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第24号
北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第25号
北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第26号
北海道職員等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第27号



### 3 月 の メ モ

- 1 ○北陸スモン第1次訴訟、金沢地裁で提訴以来4年10カ月ぶりに判決。被告の国、製薬会社の法的責任を厳しく裁断する一方、原告側が求めた慰謝料を低めに抑え、認容額1億8,000万円。
  - 3 ○政府、黒字減らし策の目玉として4月1日から予定していた電算機、自動車、カラーフィルムなどの関税引下げの繰り上げ実施を決定。
    - 共和・泊発電所（岩内原発）に対する絶対反対路線の修正をめぐる岩内郡漁協の臨時総代会が開かれ、条件付き賛成への路線変更提案を反対多数で否決。
    - 昭和53年度政府予算修正問題、自民党の総額3,400億円（戻し税減税3,000億円、年金一時金400億円）の最終回答で、事実上決着。
  - 4 ○滝川虎三京都市知事、知事選の告示をひかえ、今期限りで引退することを表明。
    - 自治省、57年度までの地方財政を展望した新しい地方財政収支試算（53年度ベース）を衆院予算委に提出。
  - 6 ○ロッキード事件全日空ルート公判、副島元丸紅秘書課長が、佐藤孝行被告、佐々木秀世氏、福永一臣氏加藤六月氏らの現金授受を証言。
  - 10 ○カネミ油症事件全国民事訴訟、提訴以来7年4カ月ぶりに原告側勝訴の判決。被告のカネミ倉庫と鐘淵化学工業に総額60億8,000万円の支払いを命じ国や北九州市の行政責任を追究した原告主張を退けた。
  - 11 ○政府、急激な円高に対応して、貿易の黒字減らしをねらう輸入促進措置についての関係閣僚会議を開き民間航空機の輸入促進、原油のタンカー備蓄推進などの緊急輸入4項目を決定。
  - 12 ○フランス総選挙、第1回投票で、左翼48.6%、与党46.5%、19日の決選投票の結果、与党連合が291議席を獲得、91議席の差をつけ左翼連合に楽勝。
  - 13 ○米、西ドイツ、為替安定策を発表。両国間スワップ倍増、特別引き出し権（SDR）の売却など。
  - 14 ○道、道環境影響評価（環境アセスメント）条例案を道議会に追加提案。
  - 15 ○政府、日銀、公定歩合0.75%引き下げと為替管理の強化を決定。これにより、公定歩合は3.5%となり戦後最低の水準。公定歩合引き下げに伴い、預金金利は0.5～0.75%、長期金利も0.5%引き下げ決定
  - 16 ○イタリア、ローマ、前首相のアルド・モロ氏が極左武装ゲリラ「赤い旅団」に誘かいさる。
  - 19 ○環境庁、2月下旬から同庁ロビーに座り込みを続けていた水俣病患者らに対し、警官隊を導入し排除。公害陳情に初の強制手段。
  - 20 ○白ろう病患者や全林野労組が営林局長、営林署長ら
- を傷害罪で告訴、告発していた事件で、東京地検など全国15地検は、関係者全員を不起訴。
- 動力炉・核燃料開発事業団が建設した初の国産発電用原子炉「ふげん」が「原子の火」をともす臨界に達した。
  - 22 ○道教委、公立高校の入試改善試案を発表。全道38学区に再編、このうち都市部の18学区で総合選抜制を実施。
  - 23 ○北海道と東北地方の一部を中心に、根室沖を震源にした地震が4回続発、太平洋岸に2度の津波警報25日にも、道東中心にM7.7の地震。
  - 24 ○円相場、1ドル＝230円の大台を割り込み、228円台に急騰。29日には、日銀が積極的な市場介入を放棄したため、一気に1ドル＝220円70銭まで急騰。
  - 26 ○成田空港、過激派ゲリラが管制室を占拠、破壊。空港周辺でも過激派と機動隊が激しい衝突を繰り返し50人以上負傷、115人逮捕。28日、閣議で、成田空港の開港延期を決定。
    - 社会民主連合の結成大会開く。同党を「新革新」と位置づけ、同党の目ざす連合政権を「社・社（社民連）・公・民」4党の「革新・中道路線」と想定した政治方針を決定。
  - 28 ○岡山スモン訴訟の原告31人、岡山地裁の決定に基づき、被告の田辺製薬会社に対し損害賠償の仮差押え強制執行を行い、同社預金も含め、認容された計6,100万円全額を差押えた。
  - 29 ○グアム島を観光旅行中の長野県の保母3人が強盗に襲われ、2人死亡、1人重傷。
  - 30 ○人事院、「天下り白書」（営利企業への就職の承認に関する年次報告書）を国会と内閣に提出。過去最高の197人が関係企業へ。
    - 東京地裁、予防接種禍をめぐる訴訟で、国などの行政機関にも賠償責任を認める判決。